東芝調光操作卓

TOLSTAR III

形名　TRDM3－20M

取扱説明書

この度は東芝ライテック製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
安全にご愛用いただくために、ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。

東芝ライテック株式会社

2014.05　　233248D

目　次

２３３２４８Ｄ

２３３２４８Ｄ

ご使用の前に

233248D

はじめに

東芝調光操作卓　ＴＯＬＳＴＡＲⅢをお買い上げいただきありがとうございます。本製品は、演出照明用の小型調光操作卓です。ボタンでのシーン再生、シーンの自動再生などの簡単な灯りから、クロス再生、サブマスタ、チェイス再生、客席調光などの演出用の灯りまで幅広い用途に使用いただけます。

ＴＯＬＳＴＡＲⅢの主な特徴

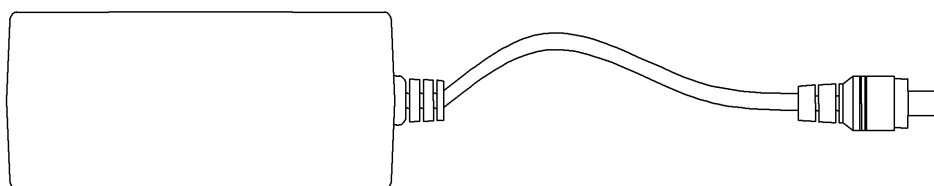
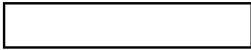
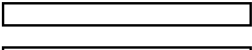
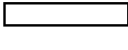
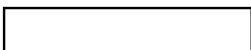
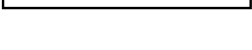
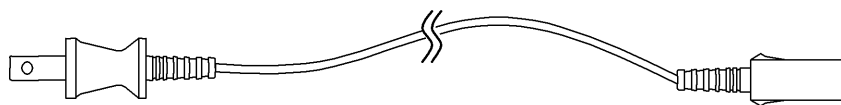
●小型、軽量、多機能な調光操作卓です。
●３場面とデフォルト場面を用意しています。３場面に負荷５１２回路をパッチできます。
●場面ごとにシーン、サブマスタ、チェイスを記憶できます
●２０本フェーダを様々な用途でご使用いただけます
　　１０本×２段および２０本１段のプリセットフェーダとして
　　１０本をサブマスタ、１０本をプリセットフェーダとして
　　２０本のサブマスタとして　使用できます。
●シーン数は２０シーン×１０ページ　合計２００シーン
●サブマスタ数は、２０本×１５ページ　合計　３００シーン
●チェイスは　３パターン×２５ステップ、３パターンの同時再生が可能です
　ボタンとサブマスタの２種類の操作で再生します
●シーン再生は、ボタン再生、自動再生、クロス再生の３パターン
　ボタン再生のフェード時間は、0.0 秒～999.9 秒
　自動再生時間は、シーン毎に
　　フェード時間　0.1 秒～９時間５９分 59.9 秒
　　ウエイト時間　0.0 秒～９時間５９分 59.9 秒　の設定が可能です
●ユーザーパネルは、客席調光、ＯＮ／ＯＦＦ再生、ワンタッチシーン再生の１つを選択して
　使用できます。
●その他、フリーフェーダ、＋／－タッチ再生機能やコピー、修正などの編集機能など
　快適な仕込みと多様な演出を実現します。
●調光出力信号は、業界標準のＤＭＸ５１２／１９９０
●別売の拡張ユニット（ＰＦユニット、客席調光ユニット）を組み合わせることで、機能の拡張、
　操作性の向上をすることができます。
　詳しくは、「拡張ユニットを使用する」（→Ｐ94）をご参照ください

２３３２４８Ｄ

付属品を確認する

本製品には以下の付属品があります。ご確認ください。

※　調光出力（ＤＭＸ）用のＤＭＸケーブルは付属しておりません。
　　使用時にＤＭＸケーブルをご用意ください。
　　別売：ＤＭＸ５１２ケーブル（２ｍ）
　　型名　ＡＬ－ＥＸＳＲ－２Ｄ－２（東芝ライテック製）
　　　　ケーブル長は上記以外３ｍ、５ｍ、１０ｍ、２０ｍ、３０ｍ、５０ｍがあります。

ＡＣアダプタ　（１個）

電源ケーブル（２ｍ）　（１本）

コネクタ抜け防止金具およびネジ　（金具　１個、ネジ　２本）

仕込記入板　　（各種　７枚）

取扱説明書（本書）　（１部）

２３３２４８Ｄ

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため
必ずお守りしていただきたいことを、次のように説明しています。
表示内容の確認なしで、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、
次の表示で区分し、説明しています。

警告表示内容の説明

取扱説明書に警告表示をしています。
装置の使用前に警告内容を必ず確認の上、安全にご使用ください。

シグナル用語の意味

警告　この表示の欄は、「使用者が取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される」また、「軽傷または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

注意　この表示の欄は、「使用者が取扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性が想定される」また、「物的損害のみの発生が想定される」内容です。

絵文字の例

記号は警告や注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

警告表示例

233248D

警　告

・装置の通風口をふさぐ物が置かれていないか確認してください。
ふさがれていると装置内部温度が上昇し、火災・故障の原因になります。

・装置の通電点検は、電気工事士などの有資格者が行ってください。
感電の恐れがあります。

・装置の分解、改造は行わないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。

注　意

1．設置・取付けについて

・装置は屋内用です。屋外に設置しないでください。
屋外で使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

・装置は発熱します。必ず換気された場所に設置してください。
火災・感電・故障の原因になります。

・直射日光・高温・多湿・塵埃・腐食性ガス・振動・衝撃等の環境は避けて設置してください。
火災・感電・故障の原因になります。

・装置の設置・取付に方向性のある装置があります。取扱説明書に従って正しく設置してください。
装置の転倒や火災・感電・故障の原因になります。

・装置の設置・取付時は、不安定な場所に設置しないでください。
装置の転倒や火災・感電・故障の原因になります。

・装置の入力電源は正しく選定して接続してください。
火災・感電・故障の原因になります。

・電源ケーブル、ＤＭＸケーブル等のケーブル類を無理に引っ張らないでください。
感電・故障の恐れがあります。

・電源ケーブル、ＤＭＸケーブル等のケーブル類は、コネクタに確実に接続してください。
コネクタがゆるんでいると火災・故障の原因になります。

・装置の移動は電源を切ってから行ってください。
火災・感電・故障の恐れがあります

・装置に強い衝撃を与えないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。

・装置に濡れた手で触れないでください。
感電の恐れがあります。

注　意

・遮断器がトリップした時は、必ず原因を取り除いてから再投入してください。
　火災・感電・故障の恐れがあります。

・ＡＣアダプタ（ＤＣ　ＩＮ　１２Ｖ）、調光出力のケーブルを抜き挿しする前に主電源スイッチを
　切ってください。火災・感電・故障の原因になります。

・ＡＣアダプタ本体は、安定した場所に設置してください。
　火災・感電・故障の原因になります。

２. 使用前の準備について

・装置の使用前に必ず取扱説明書または注意書をお読みください。
　お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用してください。

・装置の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行って
　ください。
　未熟練者だけでの対応は、間違いの原因になるおそれがあります。

・装置の日常点検を実施してください。
　点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置を
　してください。

・装置は発熱します。換気されているか確認してください。
　火災・感電・故障の原因になります。

・直射日光・高温・多湿・塵埃・腐食性ガス・振動・衝撃等がないか確認してください。
　火災・感電・故障の原因になります。

・装置の設置・取付が不安定な場所に設置されていないか確認してください。
　装置の転倒や火災・感電・故障の原因になります。

・装置の入力電源が正しく接続されているか確認してください。
　火災・感電・故障の原因になります。

・電源ケーブル、ＤＭＸケーブル等のケーブル類が無理に引っ張られていないか点検してください。
　感電・故障の原因になります。

・装置に強い衝撃を与えないでください。
　火災・感電・故障の原因になります。

・装置に濡れた手で触れないでください。
　感電のおそれがあります。

・電源ケーブル、ＤＭＸケーブル等のケーブル類がコネクタに確実に接続されているか
　確認してください。
　コネクタがゆるんでいると火災・故障の原因になります。

・操作卓の上に灰皿・飲食物等を置かれていないか、確認してください。
　感電・故障の原因になります。

⚠　注　　意

３．使用方法について

・装置を取り扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因になります。

・装置に強い衝撃を与えないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

・装置に濡れた手で触れないでください。
感電のおそれがあります。

・操作ケーブルを無理に引っ張らないでください。
感電・故障の原因になります。

・操作卓の上に灰皿・飲食物等を置かないでください。
感電・故障の原因になります。

・ＡＣアダプタは、メーカー指定の純正部品を使用してください。
火災・感電・故障の原因になります。

・地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が点検を行ってください。

・背面のＰＣ、拡張、リモコンの各コネクタは使用できません。

・塗装色、表示色は、同一製品内及びトルスターⅢシリーズの機器内であっても
違いが生じることがあります。

４．保守点検について

・装置の日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。

・装置の点検（整備）は「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけでの対応は・火災・感電・故障の原因になります。

・装置の点検・清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電するおそれがあります。

・操作ケーブルを無理に引っ張らないでください。
感電・故障の原因になります。

・装置に強い衝撃を与えないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

・装置に濡れた手で触れないでください。
感電のおそれがあります。

２３３２４８Ｄ

・装置の安全で正常な動作を維持するため、定期的に製造業者、専門家の点検・調整を受けてください。

・交換部品は、メーカー指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。装置の火災・感電・故障の原因になります。

5．異常時の対処について

・煙が出る、変な臭いがするなどの異常事態には、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因になります。

・装置の異常と思われるときには、異常の原因を究明してください。容易に原因の究明ができない場合は、メーカーに修理依頼をしてください。

・地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン技術者技能認定者」などの専門家が点検を行ってください。
未熟練者だけでの対応は、火災・感電・故障の原因になります。

6．保管時について

・直射日光・高温・多湿・塵埃・腐食性ガス・振動・衝撃等の環境に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。

・再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。火災・感電・故障の原因となるおそれがあります。

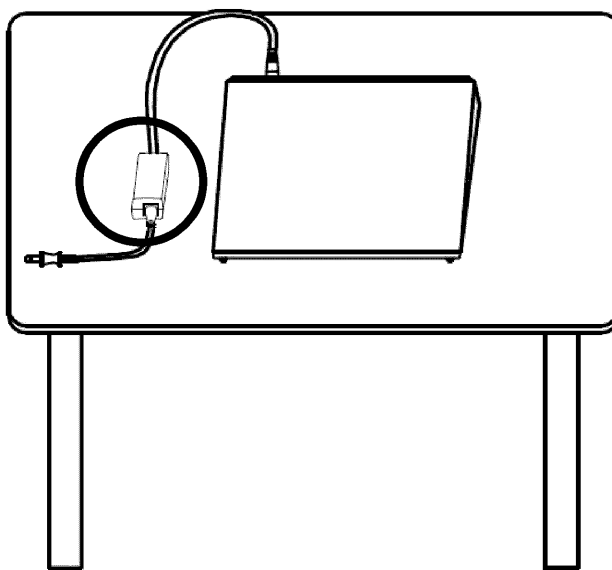
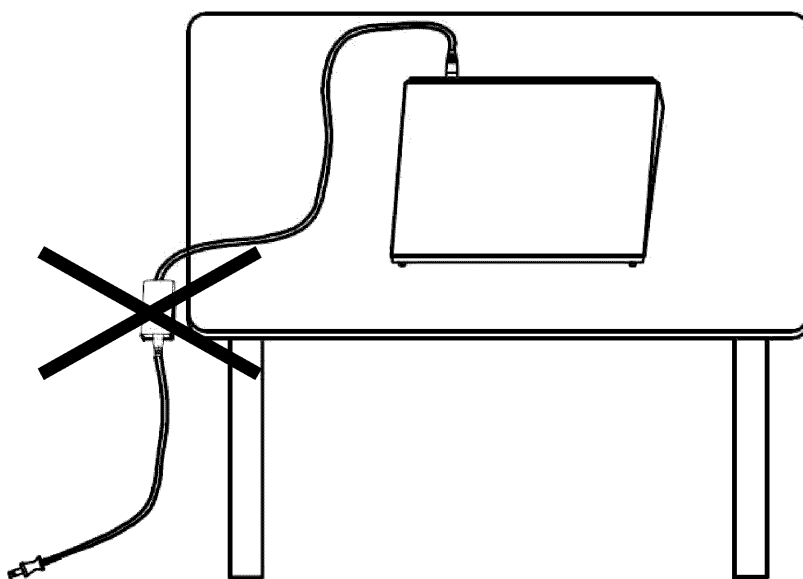
ＴＯＬＳＴＡＲⅢを設置する

ＴＯＬＳＴＡＲⅢは、安定した平らな机などの上に設置してご使用ください。

電源ケーブル、信号ケーブルなどのケーブルがひっぱられていないように十分ご注意ください。
ＡＣアダプタ本体をケーブルで支えるような設置はしないでください。

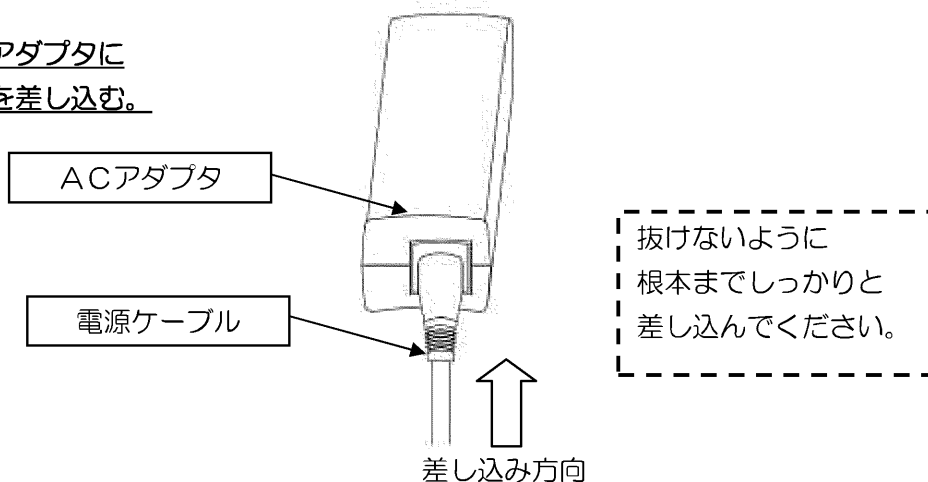
正しい設置例

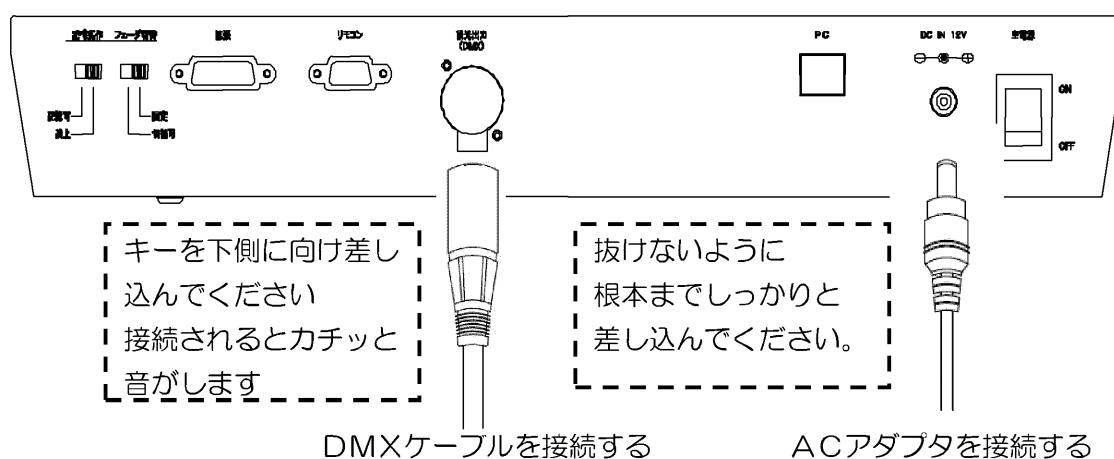
誤った設置例

２３３２４８Ｄ

配線を接続する

⚠　警　　告

・配線を接続するときは、電源ケーブルをコンセント（ＡＣ１００Ｖ）につながないでください。
感電・故障の恐れがあります。

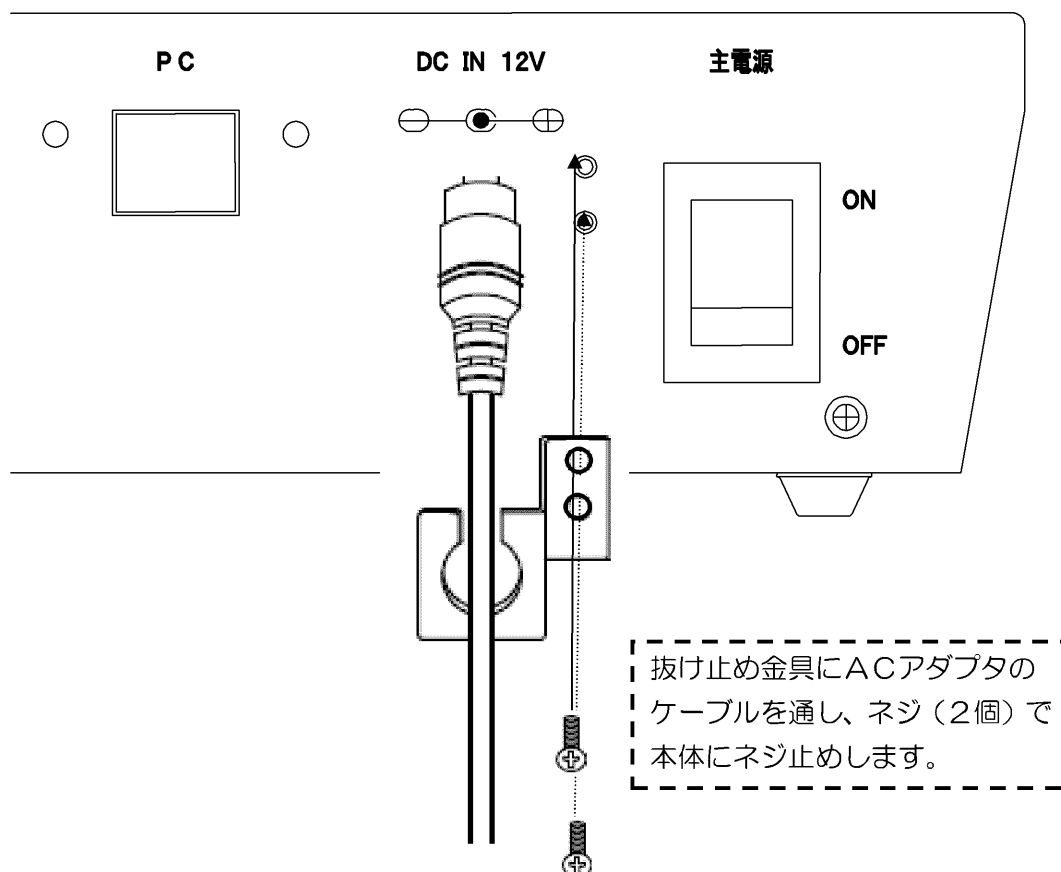
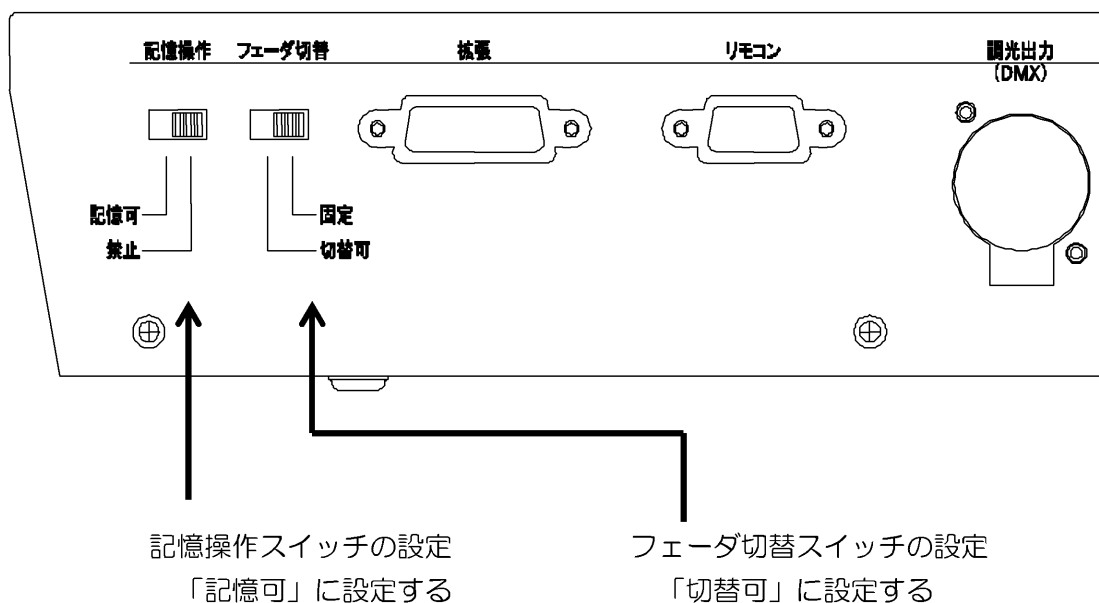
付属品のＡＣアダプタに
電源ケーブルを差し込む。

ＡＣアダプタをＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体に差し込む。
調光出力にＤＭＸケーブルを差し込む。

２３３２４８Ｄ

抜け止め防止金具を取り付ける

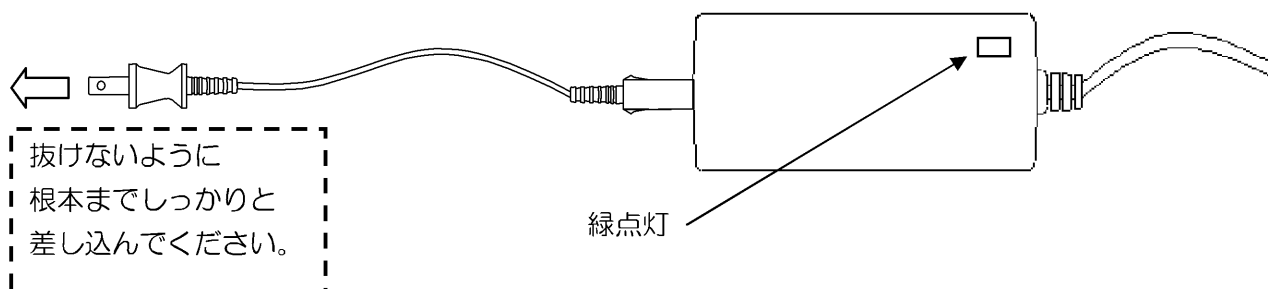
ＡＣアダプタのコネクタが本体から外れないように付属品の抜け止め金具で
固定することができます。

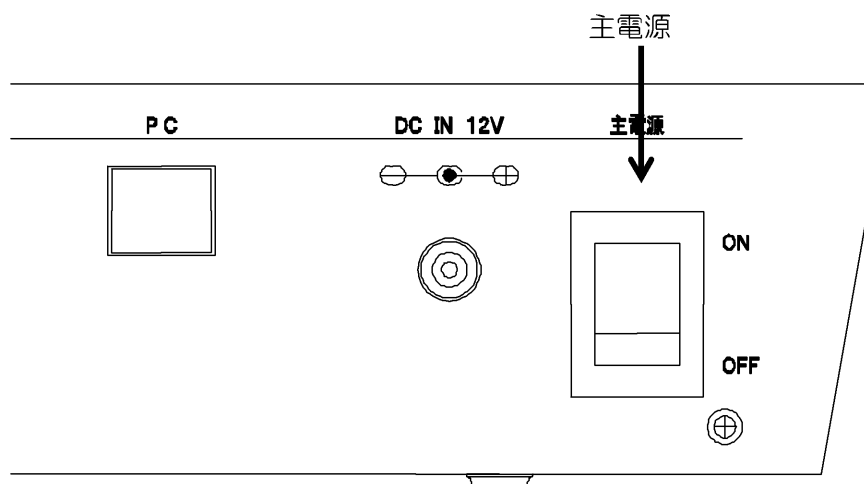
２３３２４８Ｄ

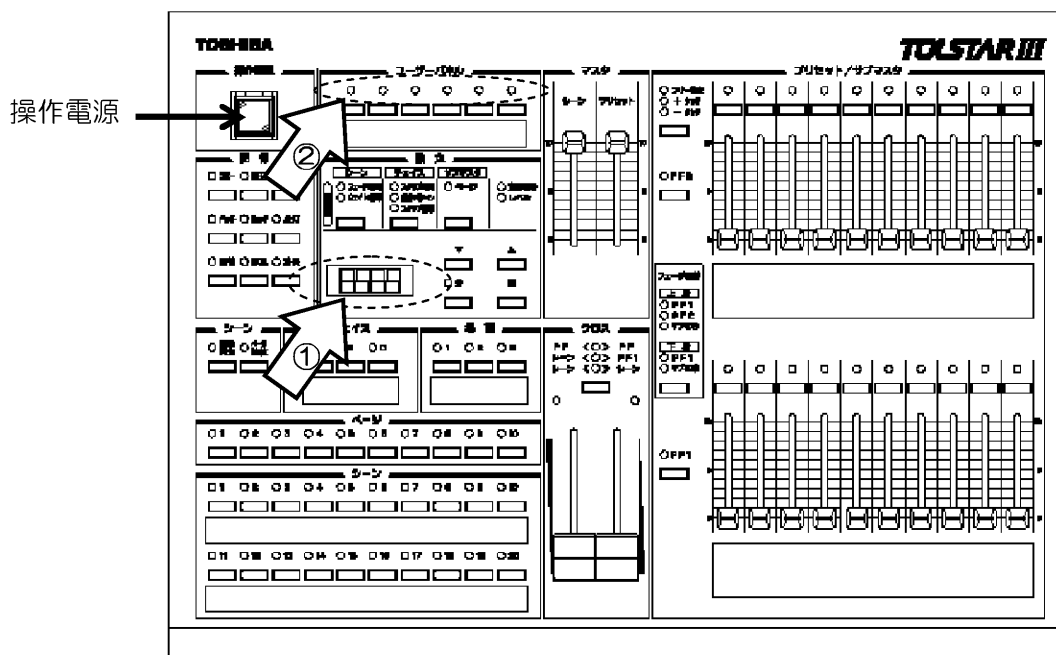
背面のスイッチを設定する

233248D

主電源を入れる・切る

配線が正しく接続されていることを確認してください。

電源ケーブルをＡＣ１００Ｖコンセントに差し込む。

主電源をＯＮにする。

通常、主電源はＯＮのままで使用してください。
長期間使用しない場合は、主電源をＯＦＦにしてください。

注意：
　操作電源ＯＮの状態で主電源をＯＦＦしないでください。
　卓に保存しているデータが壊れる場合があります。

操作電源を入れる・切る

<u>操作電源ON</u>

操作電源をONすると、操作電源のスイッチが点灯します。

①７セグ表示にソフトウェアのバージョンを２秒間表します。
②ユーザーパネルの設定を２秒間表示します。
　左から１番目が点灯：ON／OFF
　左から２番目が点灯：ハウスライト
　左から３番目が点灯：ワンタッチシーン

主電源を入れてから１０秒程度は、
操作電源を入れてもすぐに操作電源スイッチが点灯しない場合があります。

<u>操作電源OFF</u>

操作電源をOFFすると、操作電源スイッチが消灯します。
内部データ保護のため操作電源スイッチが消灯するまでしばらくかかる場合があります。

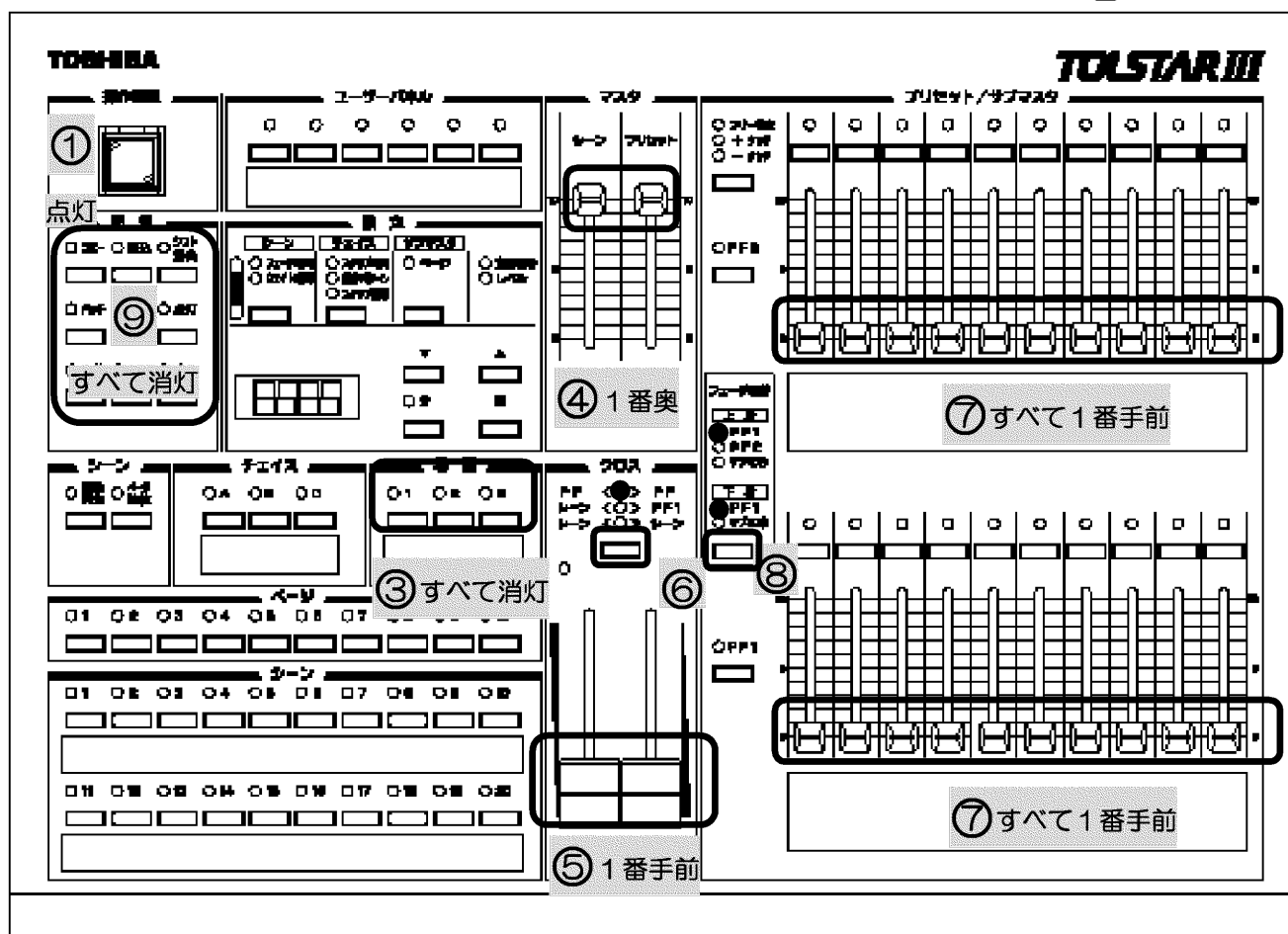
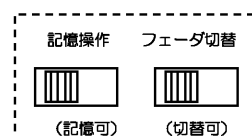
233248D

ちょっと操作してみましょう

＊パネルの状態を確認します

① 操作電源をＯＮします。（「操作電源」ＬＥＤが点灯）
② 背面のスイッチを記憶可、切替可側に設定します。
③ 場面のＬＥＤが消灯していることを確認します。
　点灯している時は、点灯している場面（1、2、3）ボタンを２回ゆっくりと押します。
④ プリセットマスタとシーンマスタを一番奥に動かします。
⑤ クロスフェーダを２本とも一番手前に動かします。
⑥ クロスフェーダ切替ボタンを押して、「ＰＦ－ＰＦ」のＬＥＤを点灯させせます。
⑦ 20 本のフェーダを一番手前に動かします。
⑧ フェーダ切替ボタンを押して上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」にします。
⑨ 記憶パネルのＬＥＤがすべて消灯していることを確認します。
　点灯している時は、点灯しているボタンを一回押します。（ＬＥＤが消えます）

TOSHIBA
TOLSTAR III
①
点灯
⑨
すべて消灯
④１番奥
⑦すべて１番手前
③すべて消灯
⑥
⑧
⑦すべて１番手前
⑤１番手前

233248D

＊灯りをつけてみます

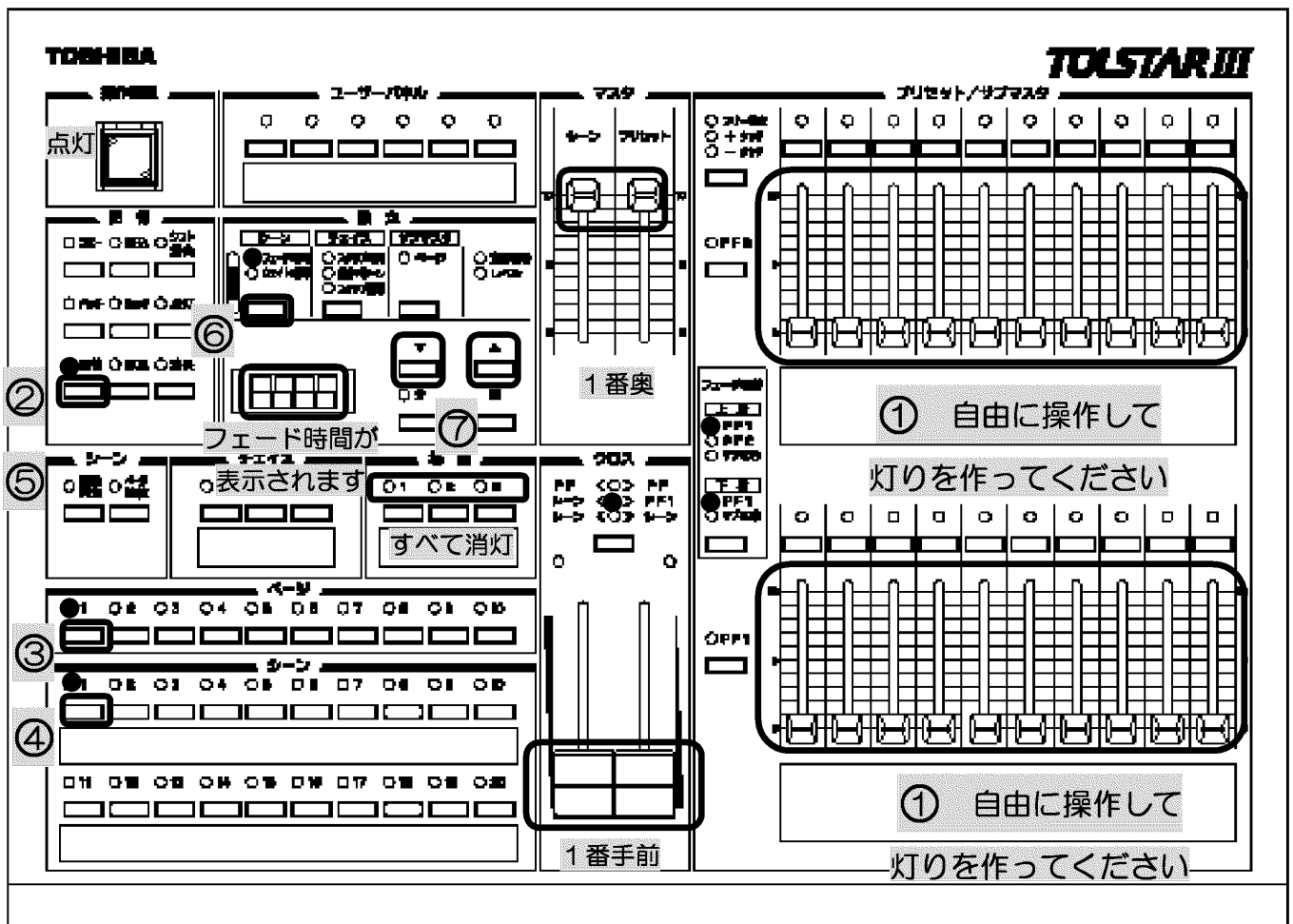
① ２０本のフェーダを奥側に動かします。
灯りがつくはずです。２０本のフェーダで自由に灯りを操作してください。
→灯りが付かない場合には、背面の調光出力コネクタにＤＭＸケーブルが差さっていることを確認してください。

＊灯り（シーン）を記憶します

② 好きな灯りができたら、記憶パネルの記憶ボタンを一回押します。「記憶」ＬＥＤが点灯します。
③ ページパネルの1のボタンを押します。（赤点灯していれば押す必要はありません）
④ シーンパネルの1のボタンを押します。
・・・「1」のＬＥＤが橙色に点灯したら、記憶ができました。
・・・「1」のＬＥＤが赤点滅していたら、もう一度、１のボタンを押します。（上書き）
⑤ 記憶パネルの記憶ボタンを一回押します。「記憶」ＬＥＤが消灯します。

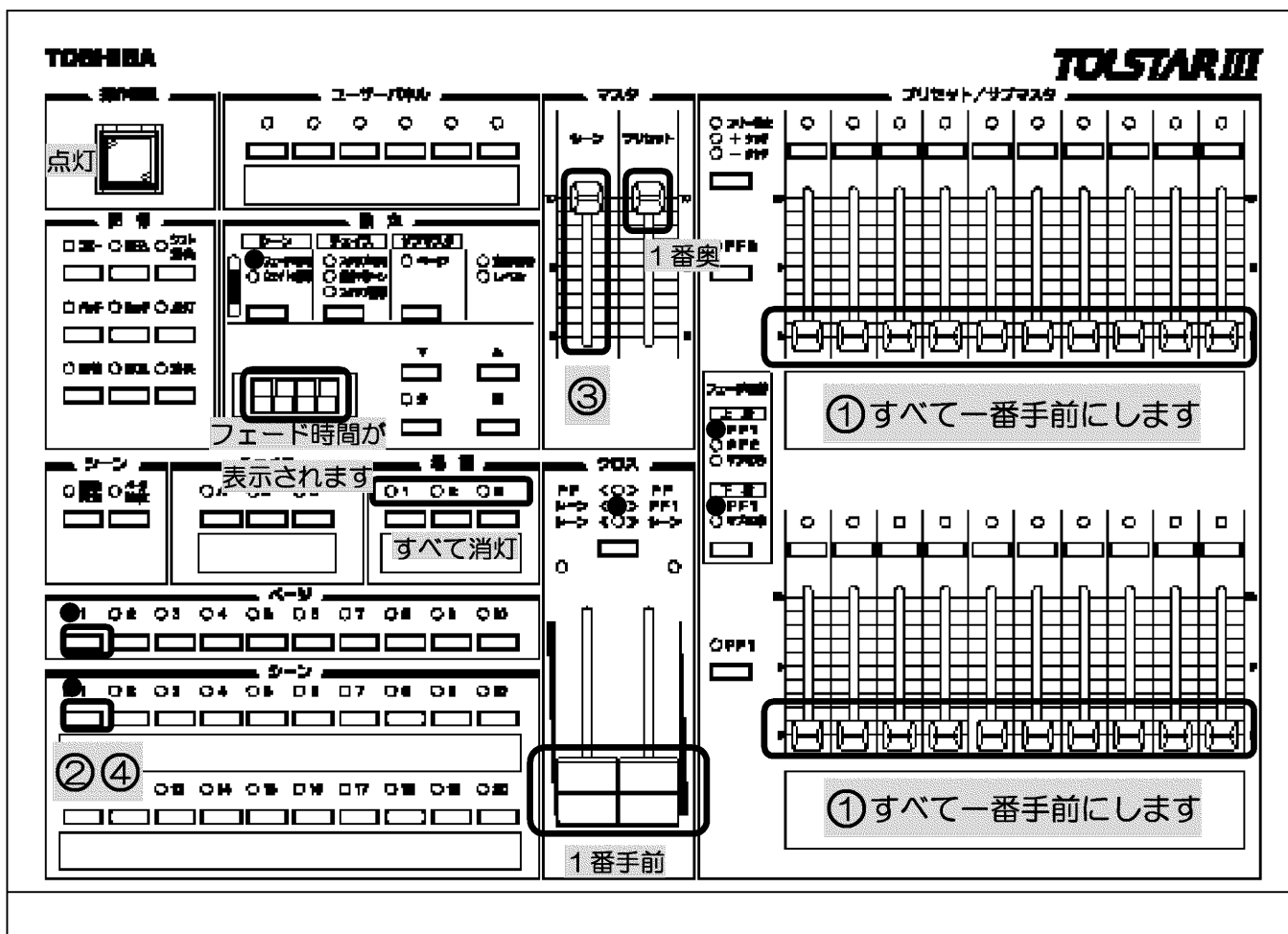
＊フェード時間を設定します。（シーン灯りの移り変わる時間です）

⑥ 設定パネルのシーンボタンを一回押します。「フェード時間」ＬＥＤが点灯します。
⑦ ▼ ▲ ボタンを押すと７セグ表示の数字がＵＰ／ＤＯＷＮします。
７セグ表示の数字がフェード時間です。例えば３．０の場合３秒間を示しています。

233248D

＊灯り（シーン）を再生します

① ２０本のフェーダをすべて、手前にします。（フェーダの灯りが全て消えます）
② 先ほど記憶した１のボタンを押します。１のＬＥＤが赤点灯します。
　・・・・先ほど記憶した灯りが再現されます。
③ シーンマスタを動かしてみます。・・・シーンの灯りが全体的に変化します。
　シーンマスタを一番奥側に戻します。
④ もう一度、１番のボタンを押します。１のＬＥＤが橙点灯します。・・・シーンの灯りが消えます。

＊＊　シーンの灯りとプリセットフェーダの灯りは同時に点灯することができます。
　（その灯りをシーンに保存することもできます）
＊＊　いろいろな灯りをシーンパネル１～２０のボタンに保存して、再生してください。
＊＊　ページ（１～１０）を切替えることでさらに多くのシーンをつくることができます。
＊＊　シーンの複数同時再生はできません。
　シーンを再生している時に別のシーンボタンを押すと
　　再生していたシーンの灯りはフェード時間で０レベルへ移り変わり
　　再生するシーンは、０レベルからフェード時間でシーンの灯りに移り変わります。

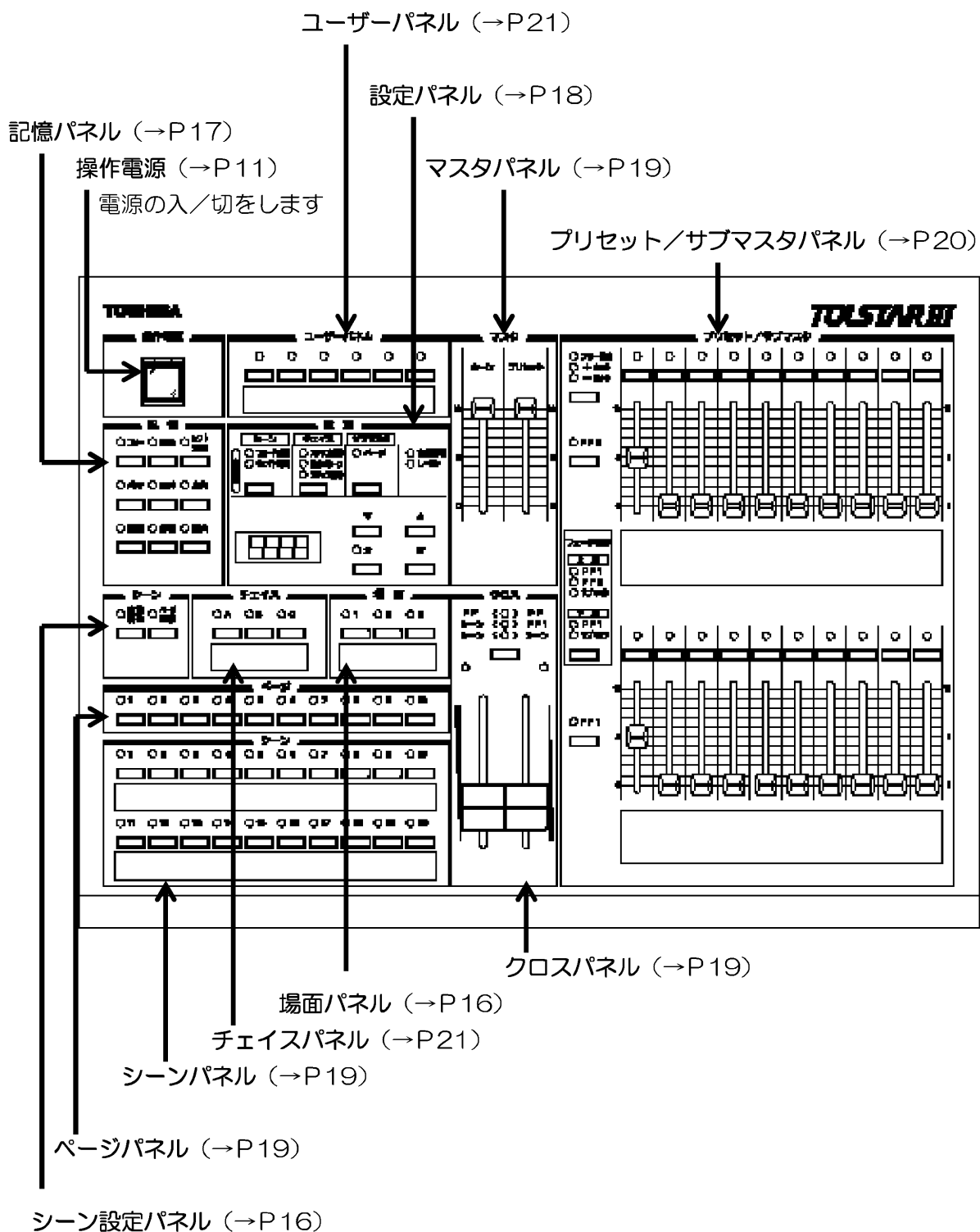
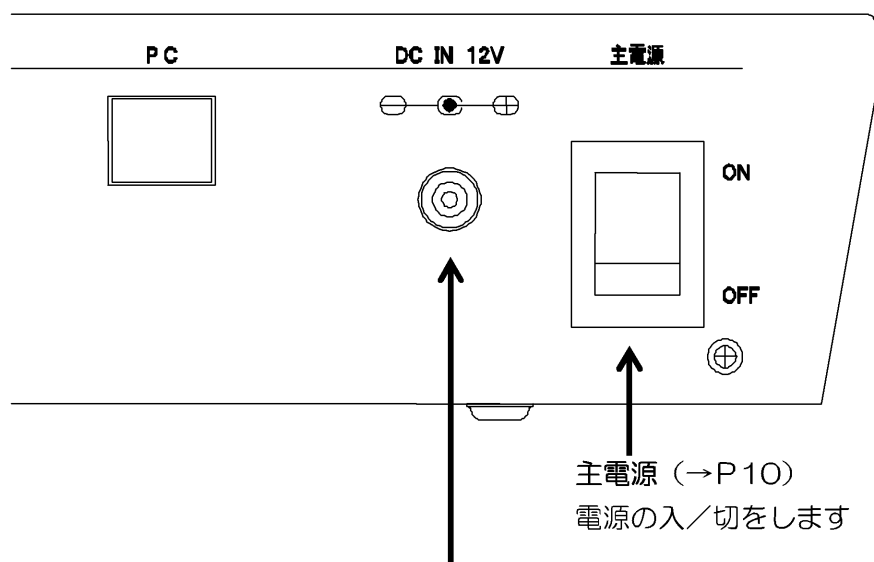
233248D

各部の名前と使い方

操作パネル

※　パネル個別の詳細は各ページを参照してください。

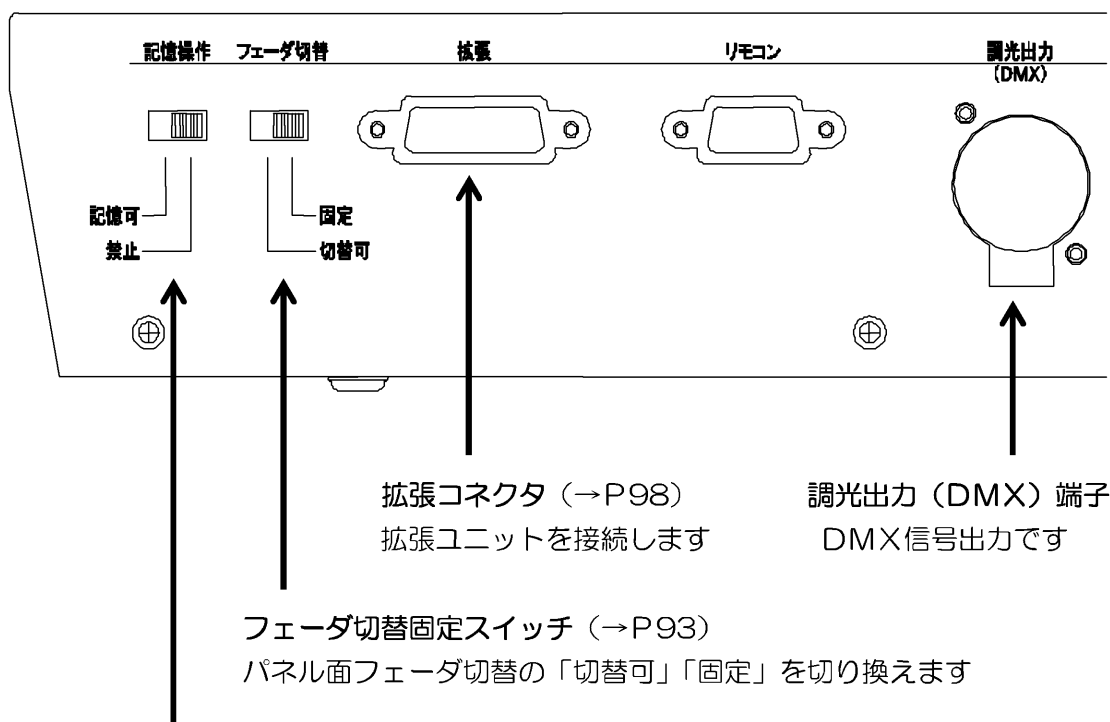
233248D

背面パネル

主電源（→Ｐ10）
電源の入／切をします

ＡＣアダプタ入力端子
ＤＣ１２ＶのＡＣアダプタ入力端子です

拡張コネクタ（→Ｐ98）
拡張ユニットを接続します

調光出力（ＤＭＸ）端子
ＤＭＸ信号出力です

フェーダ切替固定スイッチ（→Ｐ93）
パネル面フェーダ切替の「切替可」「固定」を切り換えます

記憶操作禁止スイッチ（→Ｐ93）
記憶操作の記憶可／禁止を切り換えます。

233248D

場面／シーン設定パネル

場面パネル

場面選択ＬＥＤ

選択している場面のＬＥＤが点灯します
すべて消灯の時はデフォルト場面が選択されています

場面選択ボタン（→Ｐ28）

場面を選択するボタンです
現在選択している場面のボタンを２回押すとデフォルト場面になります

シーン設定パネル

自動再生ＬＥＤ

シーンの自動再生が
行われている時に
点灯します。

ページ連続ＬＥＤ

シーン再生がページをまたいで
連続して行われる場合に点灯
します。

自動再生ボタン（→Ｐ47）

シーンを自動再生する場合の
選択ボタンです。

ページ連続ボタン（→Ｐ51）

シーンの再生をページ単位か
ページをまたいで連続で再生するか
を選択するボタンです。

233248D

記憶パネル

２３３２４８Ｄ

設定パネル

233248D

ページ／シーンパネル

ページパネル（→P41）

ページ番号ＬＥＤ

シーンの再生ページまたは選択状態を表示します。

ページ番号ボタン

使用するページを選択します。

シーンパネル（→P41）

シーン番号ＬＥＤ

シーンの再生状態、または選択状態を表示します。

シーン番号ボタン

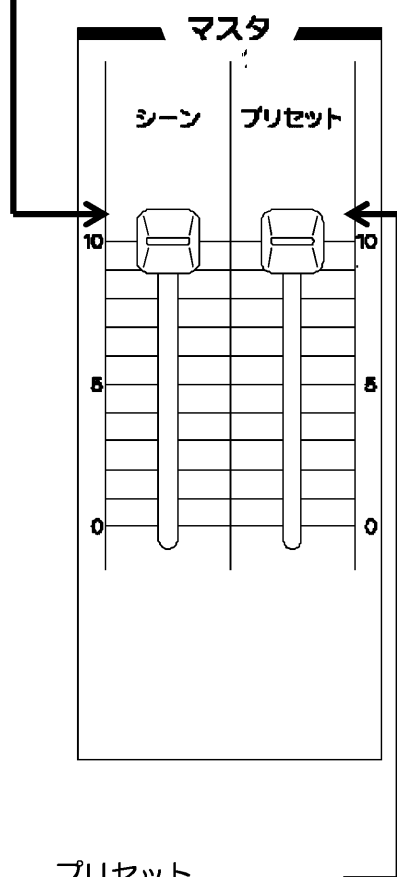
使用するシーンを選択します。

２３３２４８D

マスタ／クロスパネル

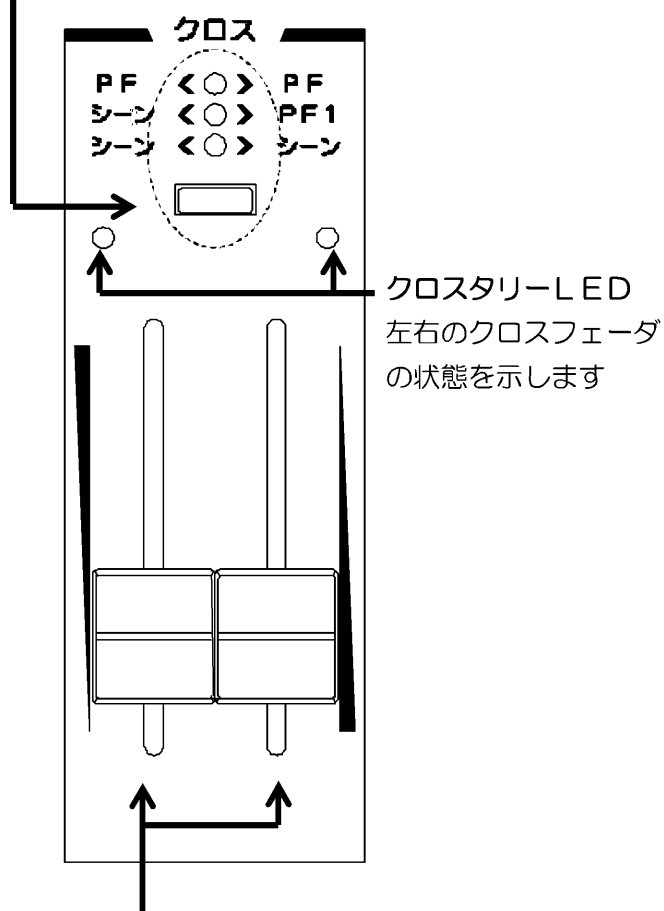
マスタパネル

シーンマスタフェーダ（→Ｐ41）
シーン再生、チェイス再生時の
全体の明るさを調整します

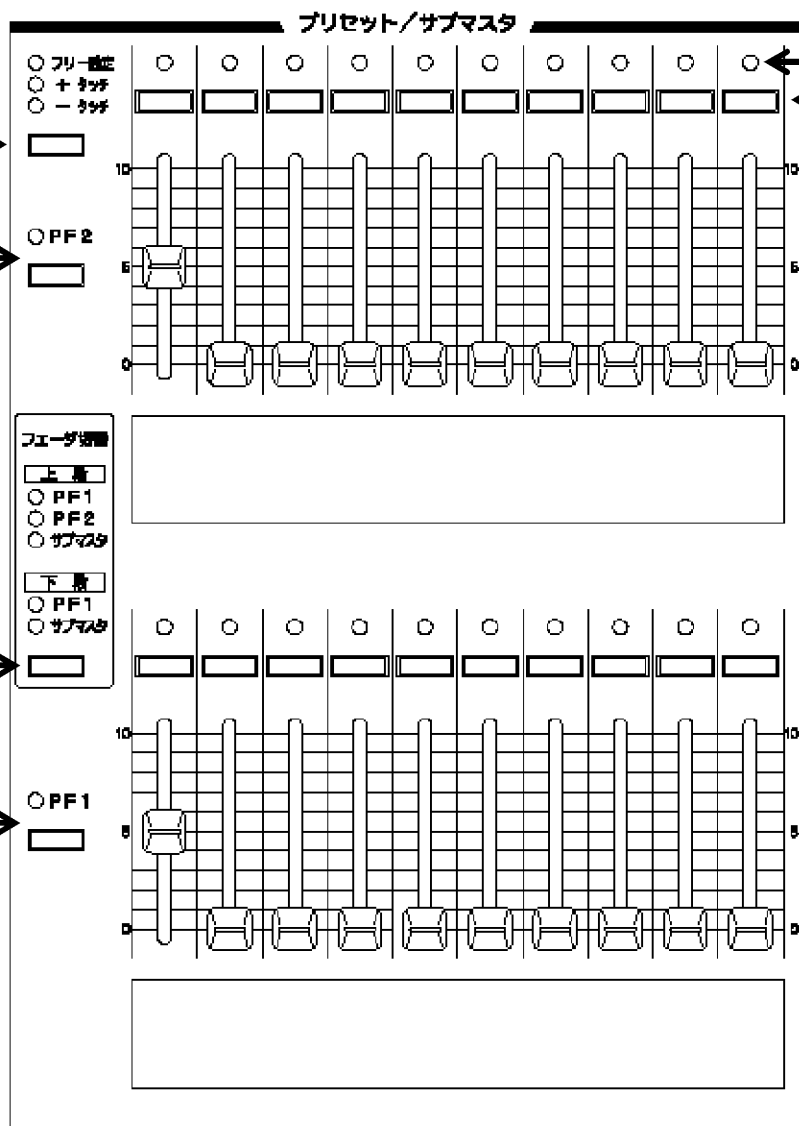
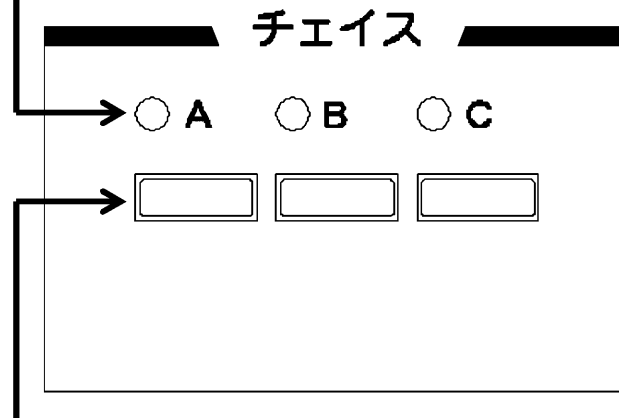
マスタ
シーン　プリセット
10
5
0

プリセット
マスタフェーダ（→Ｐ35）
プリセットフェーダ
再生時の全体の明るさを
調整します

クロスパネル

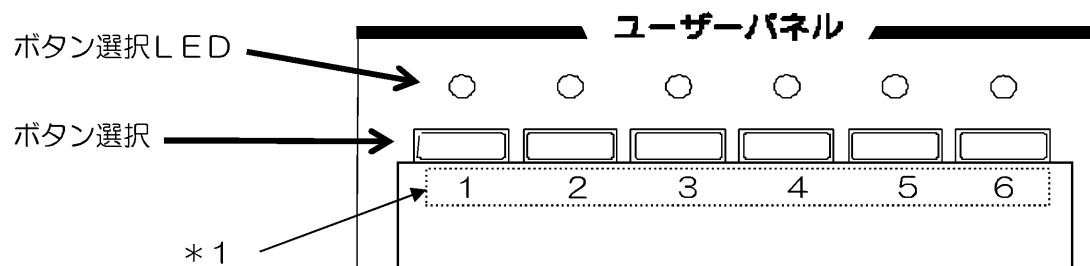
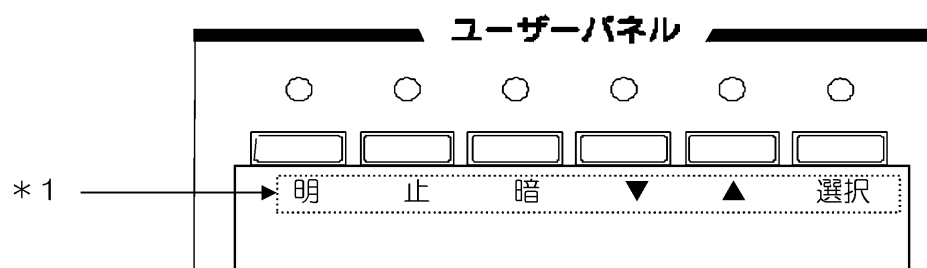
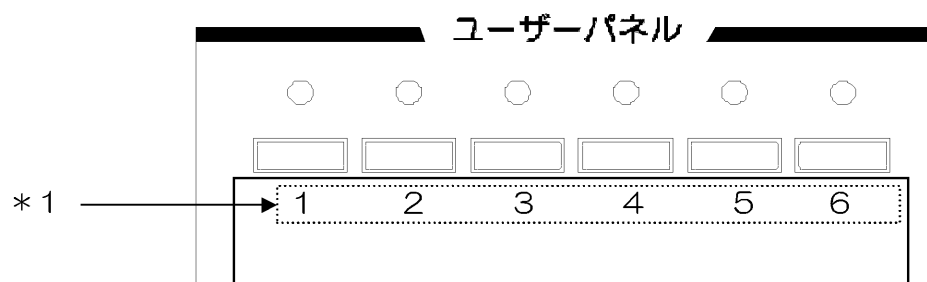
クロスモード切替（→Ｐ51）
ボタン／ＬＥＤ
クロスフェーダへ割り付けを切替えます

クロスタリーＬＥＤ
左右のクロスフェーダ
の状態を示します

クロスフェーダ（左・右）
左側に割りついている灯りは上側でフル点灯
右側に割りついている灯りは下側でフル点灯

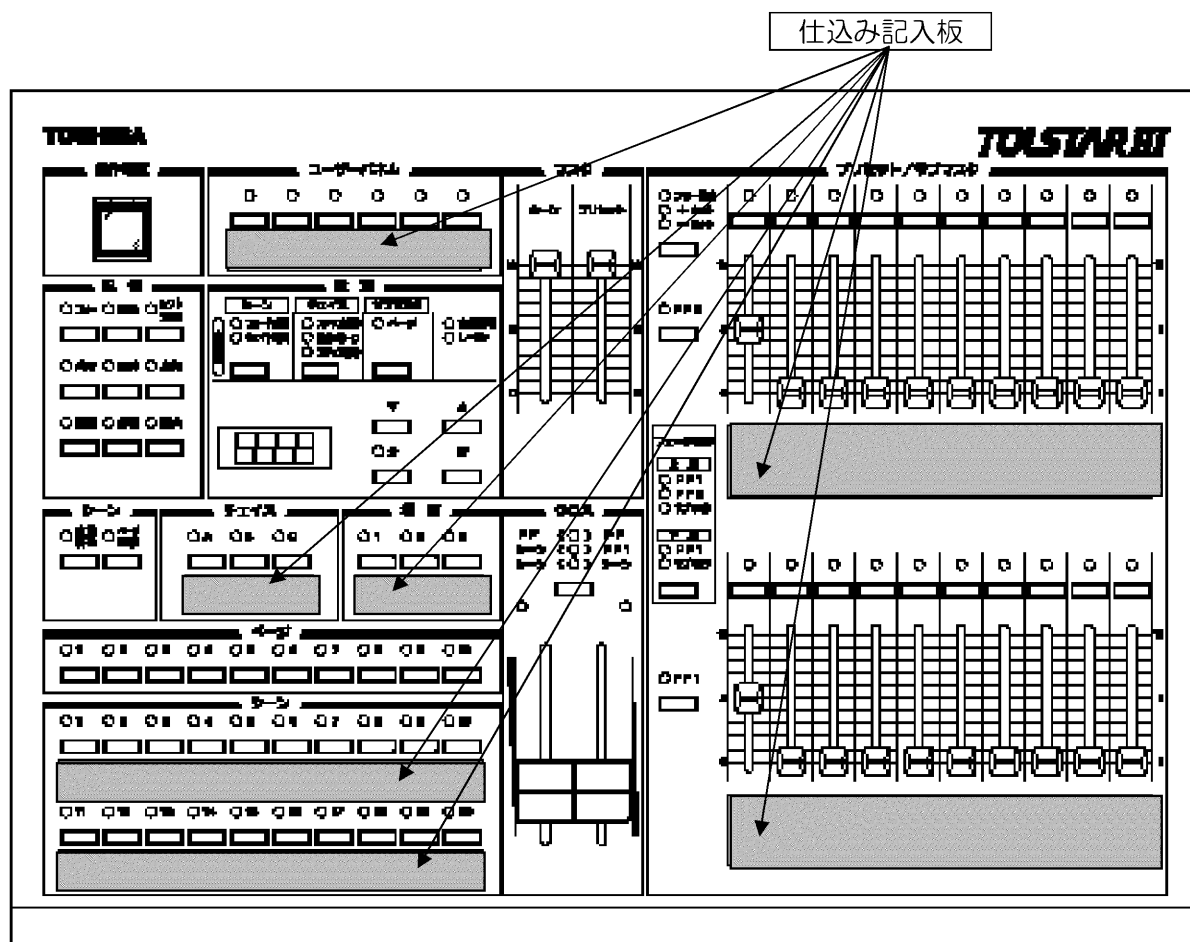
２３３２４８Ｄ

プリセット／サブマスタパネル

チェイスパネル

ユーザーパネル

ユーザーパネルは３つの機能から一つ選択します。（選択のしかた→Ｐ81）

ＯＮ／ＯＦＦパネル

客席パネル

ワンタッチシーン再生パネル

＊１　ご使用になるパネルの設定に応じて、付属品の仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んでください。

仕込み記入板

ＴＯＬＳＴＡＲⅢ　は７枚の仕込み記入板を付属しています。
仕込み記入板は、磁力を帯びていますのでパネルに張り付きます。
下図の通り配置いただき、フェーダの名称などを表示してご使用ください。

仕込み記入板が汚れた場合には、消しゴムやアルコール塗布した布で汚れをふき取ってください。
（ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体、仕込み記入板以外の付属品の清掃にはアルコールを使用しないでください）
ご使用になる筆記文具によっては汚れが落ちない場合がございますのでご注意ください。

フェーダ切替で調光卓の使い方を設定する

233248D

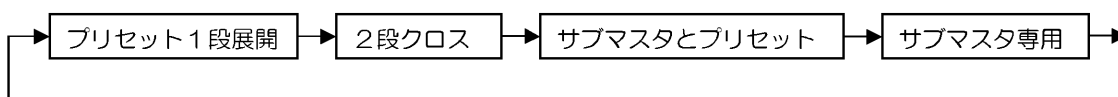
フェーダ切替機能

フェーダ切替とは

プリセット／サブマスタパネルの１０本×２段のフェーダの使用用途を設定します。

使用用途は４パターンです。

上下段　２０本連続のプリセットフェーダ（プリセット１段展開）
２段１０本のプリセットフェーダ（２段クロス）
上段１０本のサブマスタフェーダと下段１０本のプリセットフェーダ（サブマスタとプリセット）
上下段２０本連続のサブマスタフェーダ（サブマスタ専用）

フェーダ切替ボタンにより次の順番で切り替わります

上段１０本、下段１０本　２段のプリセットフェーダとして使用する場合（２段クロス）

上段が　ＰＦ２、下段がＰＦ１となります。ＰＦ１とＰＦ２の灯りの切り換えは、クロスフェーダでおこないます。「クロスを使って灯りを点灯する」（→P51）　を参照してください。

サブマスタページの表示の見方

サブマスタ１０本設定時とサブマスタ２０本設定時で異なります。
どちらの設定でも３００シーンのサブマスタを保存、再生できます。

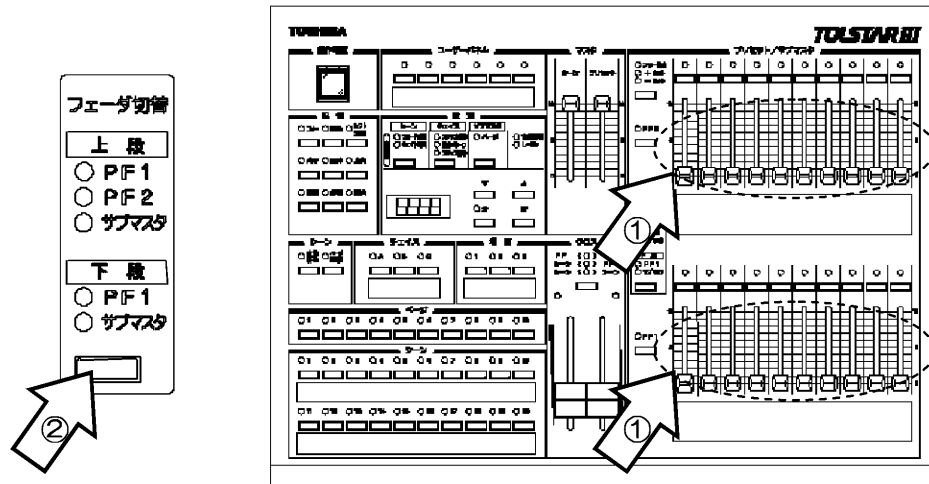
サブマスタ１０本設定時の７セグ表示
ページ1－1、１－２、２－１・・・１５－1，１５－２　の3０ページ
サブマスタ２０本設定時の７セグ表示
ページ1、２、３・・・１４，１５　の１５ページ

サブ マスタ１０本設定時と２０本設定時のフェーダの対応は以下の通りです。

７セグ表示（１０本設定時）	→	２０本設定時のフェーダ位置
ページ　１－１	→	ページ　１　下段の１０本
ページ　１－２	→	ページ　１　上段の１０本
ページ　２－１	→	ページ　２　下段の１０本
・		・
・		・
ページ１４－２	→	ページ１４　上段の１０本
ページ１５－１	→	ページ１５　下段の１０本
ページ１５－２	→	ページ１５　上段の１０本

２３３２４８D

プリセット１段展開（２０本）で使用する

２０本を１段のプリセットフェーダとして使用します。）

①　フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべて０（手前側）にする

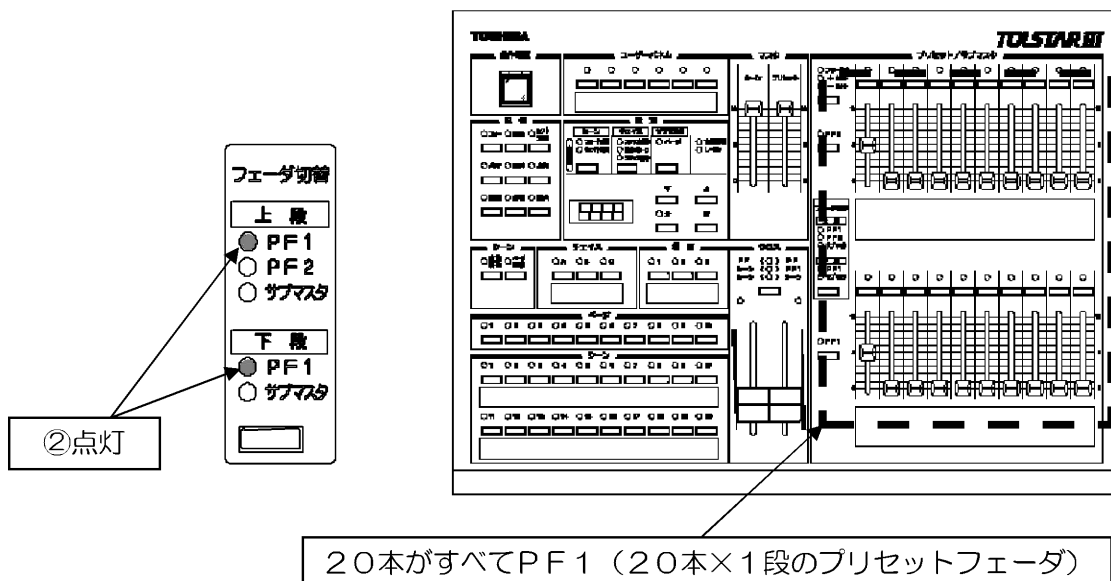
＊現在、フェーダが「ＰＦ２」「ＰＦ１」の２段クロス設定または
「サブマスタ」「ＰＦ１」のサブマスタ＆プリセット設定のとき
→上段１０本のフェーダすべてを０（手前側）にする

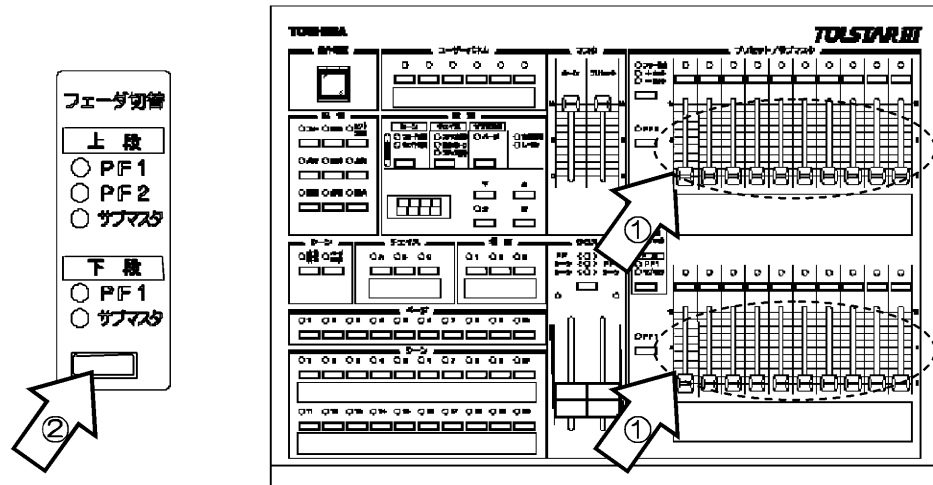
＊現在、フェーダが上下段とも「サブマスタ」のサブマスタ設定のとき
→上段、下段　２０本のフェーダすべてを０（手前側）にする

②　上下段　２０本連続のプリセットフェーダ（ＰＦ１）に設定する。

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上下段「ＰＦ１」を選択する

上段　ＰＦ１ＬＥＤ	点灯
下段　ＰＦ１ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

２３３２４８Ｄ

2段（×１０本）クロスで使用する

１０本×２段のプリセットフェーダとして使用します。

① フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべて０（手前側）にする

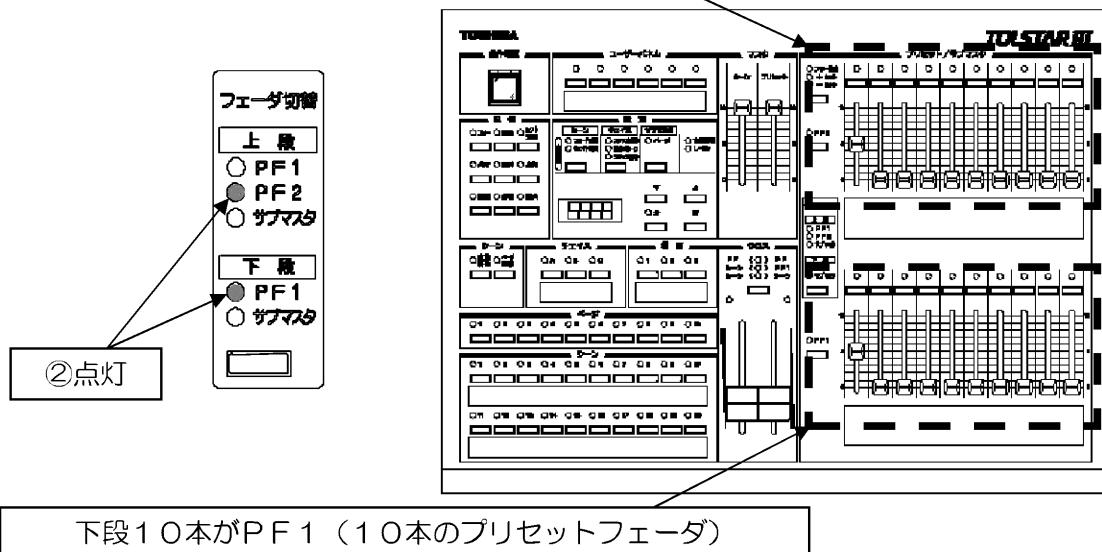
＊現在、フェーダが「ＰＦ１」「ＰＦ１」の１段展開設定または
「サブマスタ」「ＰＦ１」のサブマスタ＆プリセット設定のとき
→上段１０本のフェーダすべてを０（手前側）にする

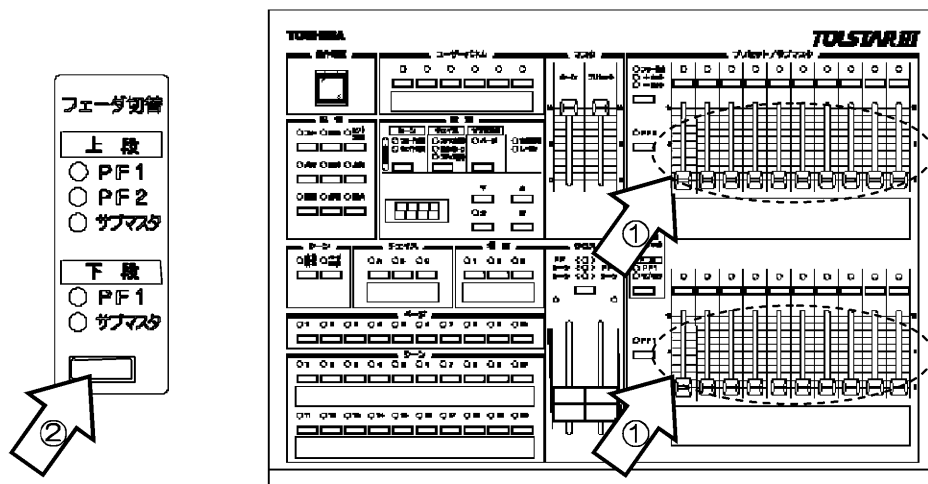
＊現在、フェーダが上下段とも「サブマスタ」のサブマスタ設定のとき
→上段、下段　２０本のフェーダすべてを０（手前側）にする

② 上段「ＰＦ２」下段「ＰＦ１」に設定する。

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ２」下段「ＰＦ１」を選択する

上段　ＰＦ２ＬＥＤ	点灯
下段　ＰＦ１ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

233248D

サブマスタ（１０本）とプリセット（１０本）で使用する

１０本のサブマスタと１０本のプリセットフェーダとして使用します。

① フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべて０（手前側）にする

＊現在、フェーダが「ＰＦ１」「ＰＦ１」の１段展開設定または

「ＰＦ２」「ＰＦ１」の２段クロス設定のとき

→上段１０本のフェーダすべてを０（手前側）にする

＊現在、フェーダが上下段とも「サブマスタ」のサブマスタ設定のとき

→上段、下段　２０本のフェーダすべてを０（手前側）にする

---

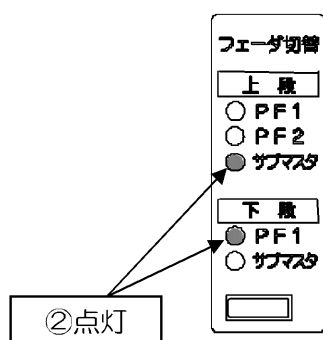
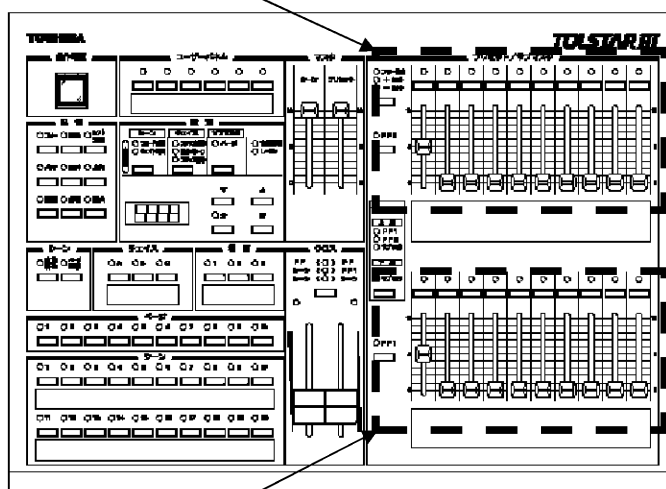
② 上段「サブマスタ」下段「ＰＦ２」に設定する。

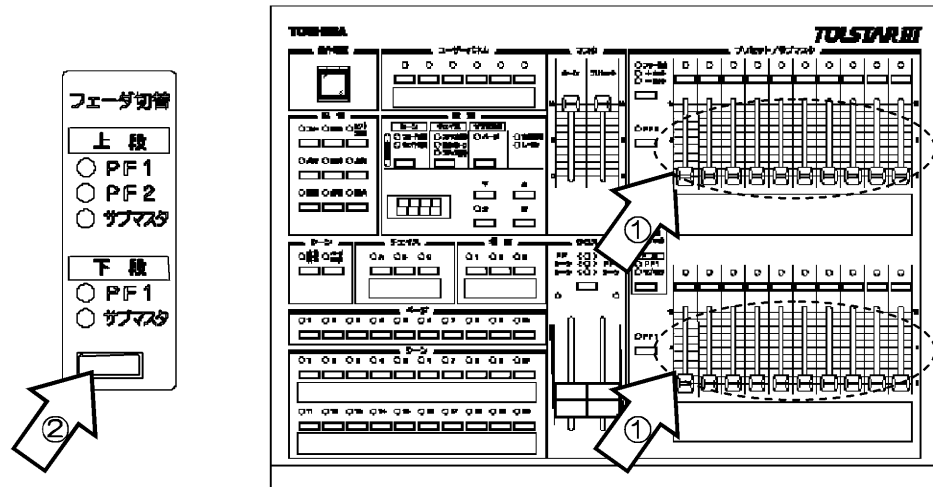
ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し上段「サブマスタ」下段「ＰＦ１」を選択する

上段　サブマスタＬＥＤ　点灯

下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

ボタン音　ピッ

２３３２４８Ｄ

サブマスタ（２０本）専用で使用する

２０本のサブマスタフェーダとして使用します。

① フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべて０（手前側）にする

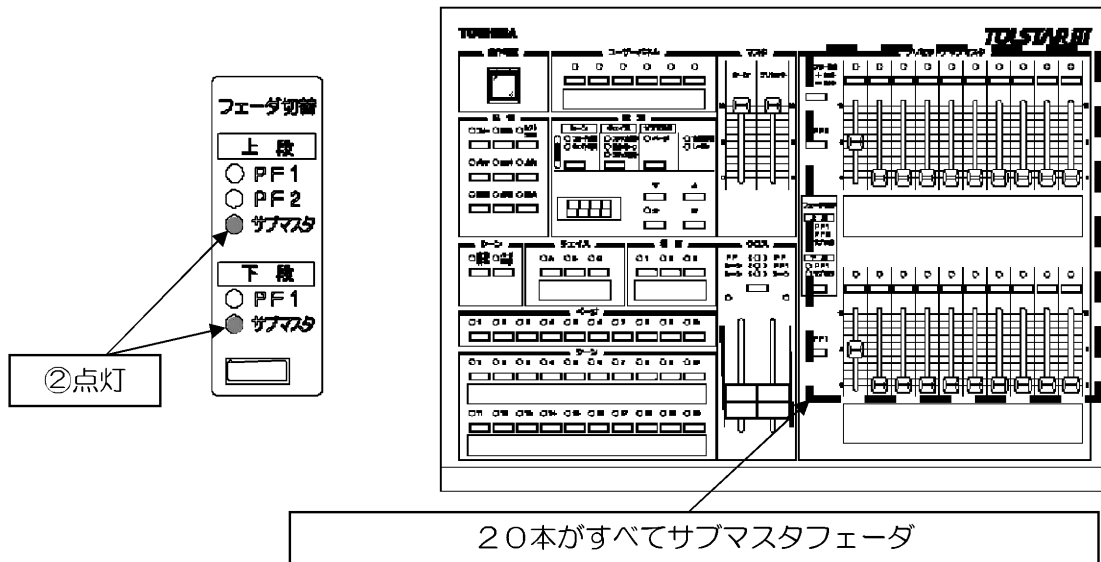
上段、下段　２０本のフェーダすべてを０（手前側）にする

② 上下段　２０本のサブマスタフェーダに設定する。

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上下段「サブマスタ」を選択する

上段　サブマスタＬＥＤ	点灯
下段　サブマスタＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

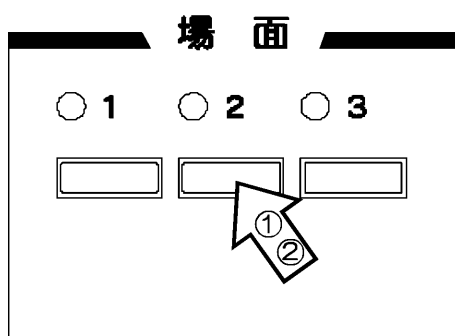
場面を選択、消去する

233248D

場面を選択する

場面とは

本卓において場面とは、１つの照明使用状況に関わるデータをひとまとめにしたものです。場面毎に使用状況に合わせたデータを保存できます。場面を切替えることにより、パッチ、シーン、サブマスタ、チェイスなどのデータが全て切り替わります。

場面は３つ＋１つあります。場面１～３はそれぞれパッチ、シーン、サブマスタ、チェイスのデータを保存できます。もうひとつ特別な場面としてデフォルト場面があります。デフォルト場面はパッチが１対１に固定されています（１対１パッチついては→Ｐ29を参照）。デフォルト場面では、パッチを除く、シーン、サブマスタ、チェイスのデータを保存できます。

場面を選択する

使用する場面番号のボタンを押します。
デフォルト場面を使用するときは、現在選択している場面のボタンをゆっくりと２回押し、３つのＬＥＤが消灯した状態にします。

① 場面　選択する[場面選択]を押す
　　選択した場面選択ＬＥＤ　点滅　（現在確定されている場面は点灯）
　　ボタン音　ピッピッ
　　（操作をキャンセルしたいときは、今選択していない[場面選択]を押す）

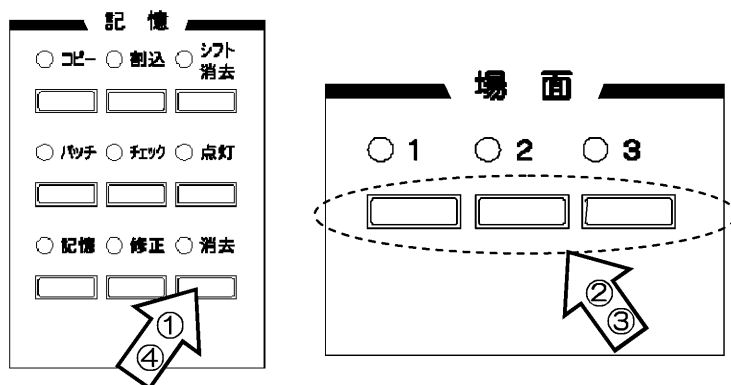
② 場面　もう一度選択する[場面選択]を押すと確定
　　選択した場面選択ＬＥＤ　点滅　（現在確定されていた場面は消灯）
　　ボタン音　ピッ

③ 場面　約１秒後
　　選択した場面選択ＬＥＤ　点灯
　　ボタン音　ピッ

場面を消去する

場面消去を行う前にご確認ください

消去おこなうとその場面で記憶したシーン、サブマスタ、チェイス及びユーザパネルの情報が消去されます。パッチは１対１パッチに変更されます。

（パッチを場面単位で消去する方法については→Ｐ33を参照）

① 記憶 消去を押す

消去ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

② 場面 消去する場面選択を押す

選択した場面選択ＬＥＤ	点滅
ボタン音	ピッピッ

（操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す）

③ 場面 もう一度、消去する場面選択を押すと消去

ボタン音	ピッ
選択した場面選択ＬＥＤ	数秒 点滅後 消灯

④ 記憶 消去を押し終了

消去ＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

233248D

場面にパッチを仕込む

233248D

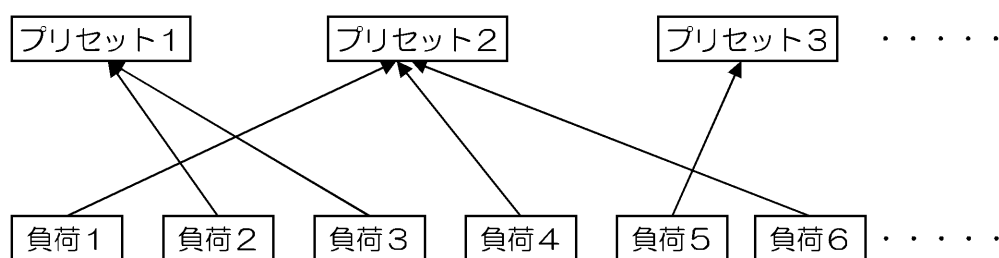
パッチを仕込む

パッチとは

パッチとはある操作単位に対して１つまたは複数の負荷を割付けることです。
本製品ではプリセットフェーダに、調光出力で制御する負荷を番号で割付けます。これを「パッチを仕込む」とよびます。パッチを仕込むことにより、プリセットで同じ役割の負荷など、まとめて制御することができます。パッチは最大プリセットフェーダ本数分の２０まで仕込めます。

パッチは次のように仕込めます。

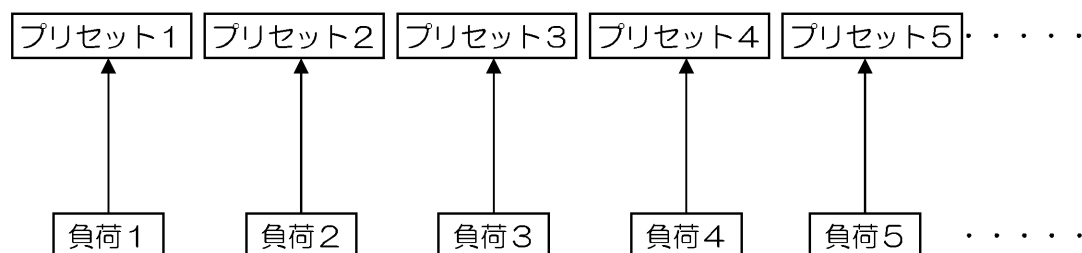
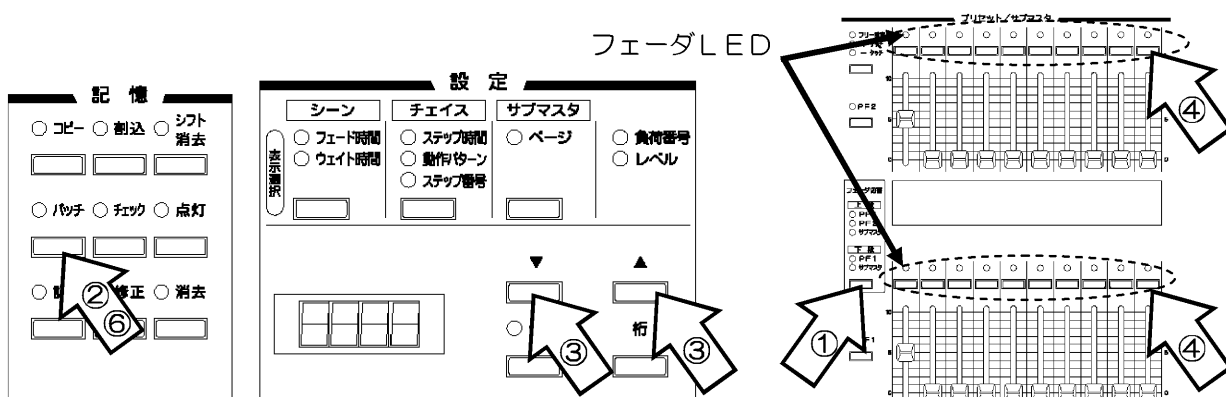
・ プリセットには１つまたは複数の負荷を仕込めます
・ 負荷は１つのプリセットにのみ仕込めます

パッチの例）

プリセット１を操作すると負荷２と３が制御できる
プリセット２を操作すると負荷１と４と６が制御できる
プリセット３を操作すると負荷５が制御できる

１対１パッチとは

１対１パッチとはプリセット１つと負荷１つがそれぞれ割り付けてある状態です。
簡単に使用する場合は、この１対１パッチとなっているデフォルト場面が使用できます。
製品出荷時は全てのパッチが１対１となっています。

１対１パッチ）

２３３２４８Ｄ

パッチを仕込む

プリセットフェーダに負荷を割付けます。まず、場面を選択しておきます。デフォルト場面は１対１パッチ固定なのでパッチを仕込むことはできません。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する
上段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯
下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② 記憶　パッチを押す
パッチＬＥＤ　点灯
７セグ表示　負荷番号（パッチ済み負荷番号の場合、点滅）
フェーダＬＥＤ　パッチ仕込みなしプリセット　消灯
パッチ仕込み済みプリセット　橙点灯
選択した負荷番号仕込み済みプリセット　橙点滅
ボタン音　ピッ

③ 設定　▼　▲　を押して割付けたい負荷番号を選択
７セグ表示　負荷番号（パッチ済み負荷番号の場合、点滅）

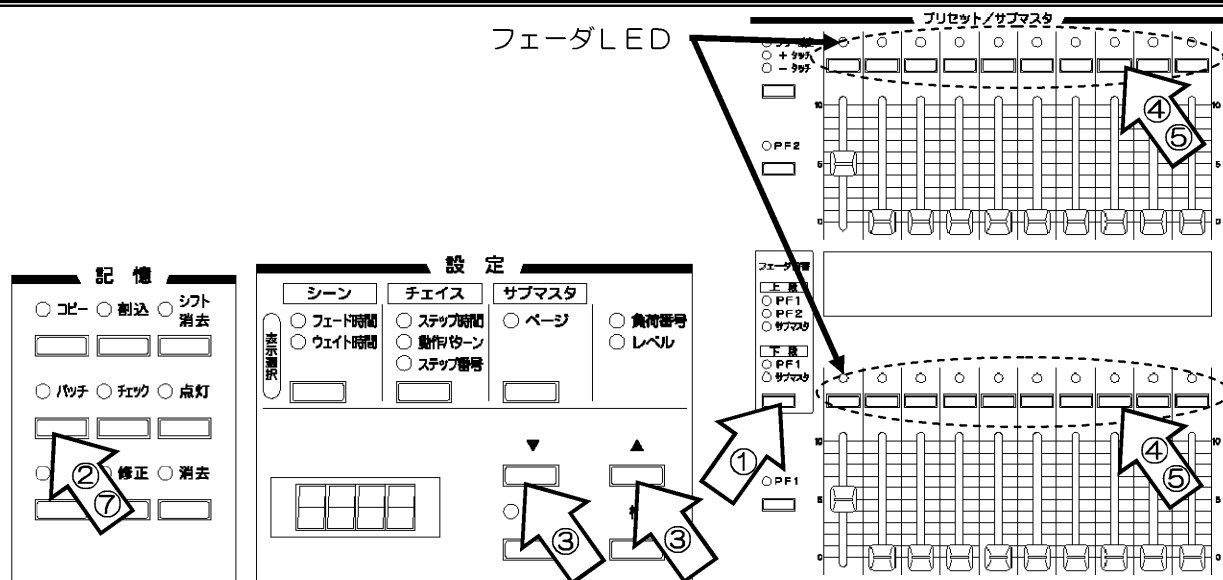
④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　負荷を仕込むプリセットのフェーダ選択を押す
パッチ済みの負荷番号を他のフェーダにパッチする場合には次の操作をおこなう
フェーダＬＥＤ　赤点滅、
ボタン音　ピッピッ
もう一度、フェーダ選択を押す
７セグ表示　負荷番号表示（点滅）
フェーダＬＥＤ　パッチしたプリセット　橙点滅
ボタン音　ピッ

⑤ ③と④を繰り返し、必要な負荷をパッチする

⑥ 記憶　パッチを押す　パッチ作業終了
パッチＬＥＤ　消灯
ボタン音　ピッ

２３３２４８Ｄ

パッチを消去する

パッチを負荷単位で消去する

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する

　　上段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

　　下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② 記憶　パッチを押す

　　パッチＬＥＤ　　点灯

　　ボタン音　　　ピッ

③ 設定　▼　▲を押して消去する負荷番号を選択

　　７セグ表示　　負荷番号（点滅）

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤが点滅しているフェーダ選択を押す

　　フェーダＬＥＤ　　赤点滅

　　ボタン音　　　ピッピッ

　　（操作をキャンセルしたいときは、記憶　パッチを押す）

⑤ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　もう一度フェーダＬＥＤが赤点滅しているフェーダ選択を押すと消去確定

　　フェーダＬＥＤ　　消灯（仕込なし）または橙点灯（仕込あり）

　　ボタン音　　　ピッ

　　７セグ表示　　負荷番号（点灯）

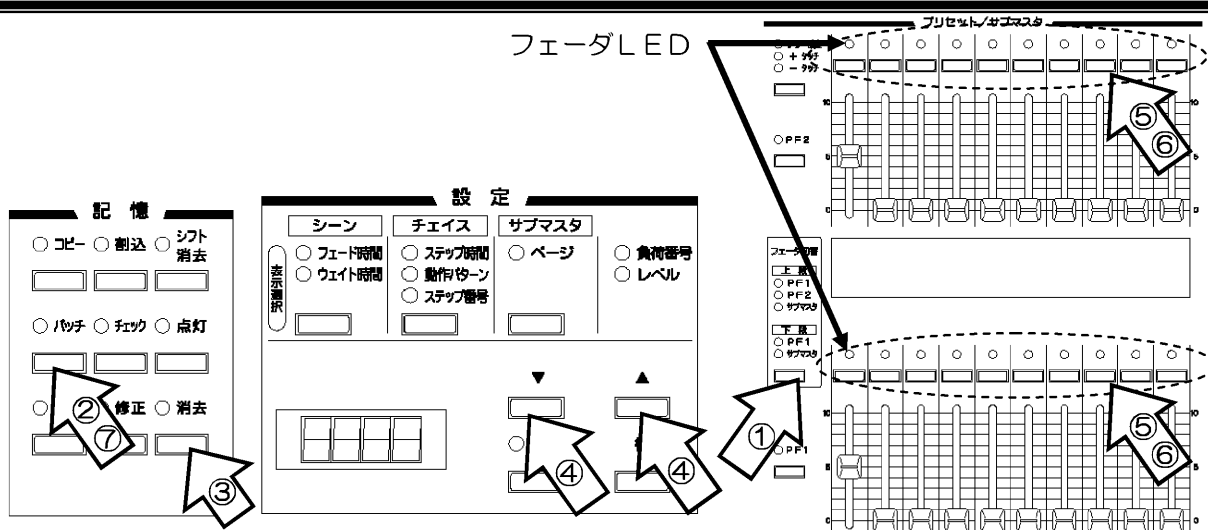
⑥ ③から⑤を繰り返して負荷単位のパッチ消去をする

⑦ 記憶　パッチを押す　パッチの負荷単位消去終了

　　パッチＬＥＤ　　消灯

　　ボタン音　　　ピッ

２３３２４８Ｄ

パッチをプリセット単位で消去する

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する

上段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯
下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② 記憶　パッチを押す

パッチＬＥＤ　点灯
ボタン音　ピッ

③ 記憶　消去を押す

７セグ表示　ＡＬＬ
フェーダＬＥＤ　パッチ仕込みなしプリセット　消灯
　パッチ仕込み済みプリセット　橙点灯
ボタン音　ピッ

④ 設定　▼　▲を押してＡＬＬを選択

７セグ表示　負荷番号（点滅）

⑤ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　消去するプリセットのフェーダ選択を押す

フェーダＬＥＤ　赤点滅
ボタン音　ピッピッ
（操作をキャンセルしたいときは、記憶　消去を押す）

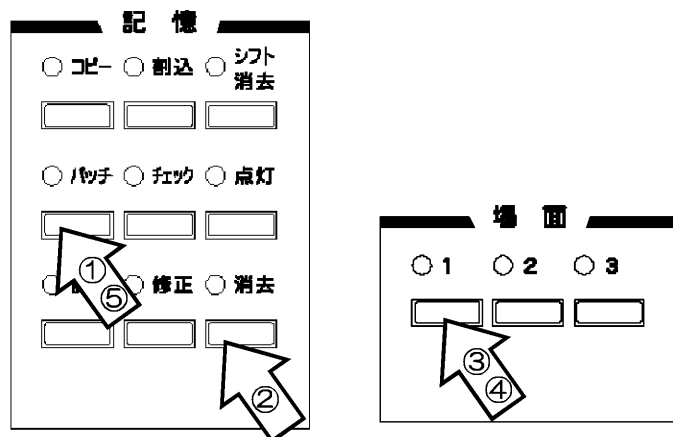
⑥ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　もう一度消去するプリセットのフェーダ選択を押すと消去確定

フェーダＬＥＤ　消灯（仕込なし）
ボタン音　ピッ

⑦ 記憶　パッチを押す　パッチのプリセット単位消去終了

パッチＬＥＤ　消灯
消去ＬＥＤ　消灯
ボタン音　ピッ

＊④でＡＬＬ以外（負荷番号）を選択した場合、選択した負荷番号のパッチだけを消去します。

パッチを場面単位で消去する

① 記憶　パッチを押す
パッチＬＥＤ　点灯
ボタン音　ピッ

---

② 記憶　消去を押す
消去ＬＥＤ　点灯
ボタン音　ピッ

---

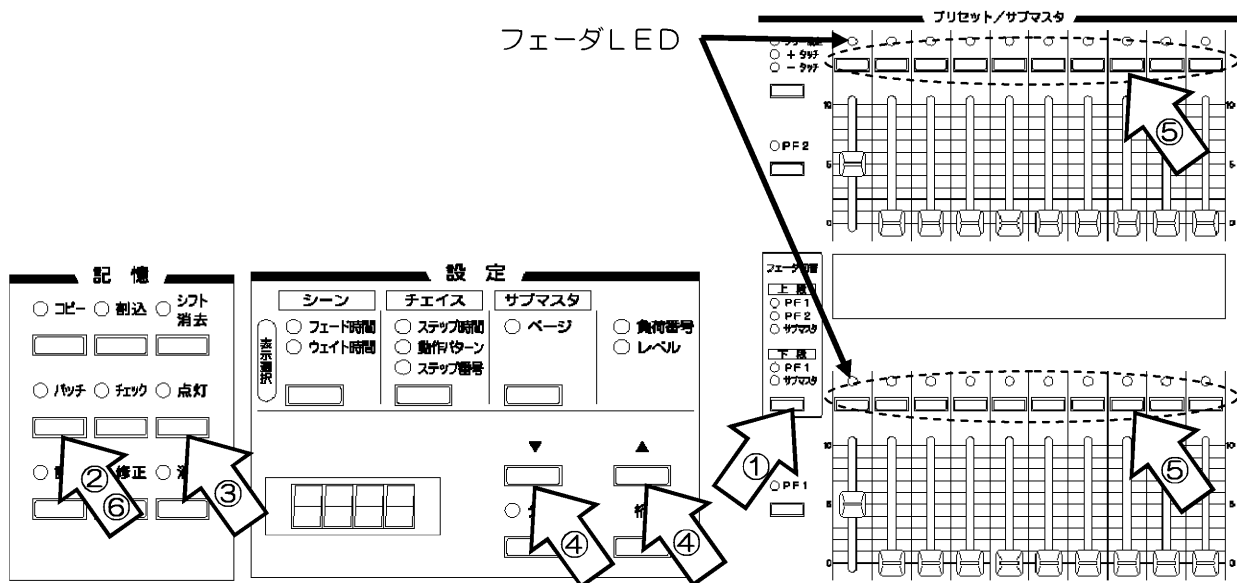
③ 場面　場面選択を押す
場面選択ＬＥＤ　点滅
ボタン音　ピッピッ
（操作をキャンセルしたいときは、記憶　消去を押す）

---

④ 場面　もう一度、場面選択を押すと消去確定
場面選択ＬＥＤ　元の点灯状態にもどる
ボタン音　ピッ

---

⑤ 記憶　パッチを押す　パッチの場面単位消去終了
パッチＬＥＤ　消灯
消去ＬＥＤ　消灯
ボタン音　ピッ

パッチする負荷を点灯する

パッチをしている時に、負荷が実際どの照明なのかを点灯して確認する。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する
上段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯
下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② 記憶　パッチを押す
パッチＬＥＤ　点灯
ボタン音　ピッ

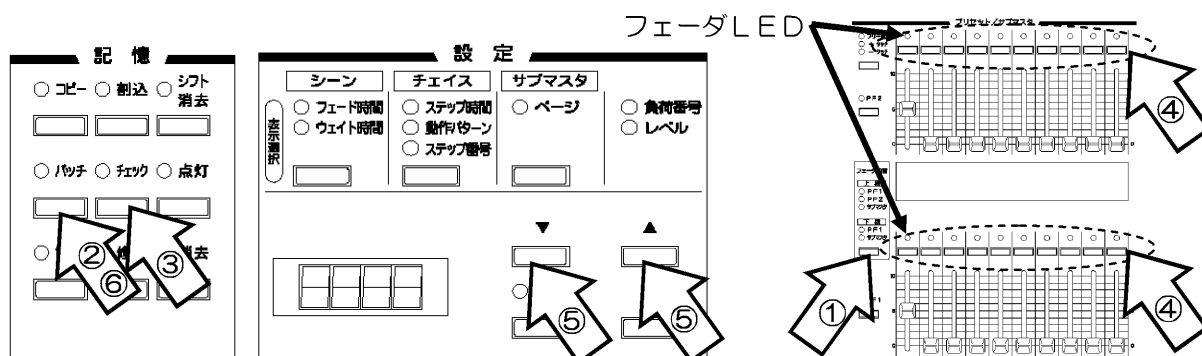
③ 記憶　点灯を押す
７セグ表示　負荷番号
ボタン音　ピッ

④ 設定　▼　▲を押して点灯する負荷番号を選択
７セグ表示　負荷番号（点灯）

⑤ この状態で負荷を点灯しながらパッチをおこなう

⑥ 記憶　パッチを押す　パッチ操作終了
パッチＬＥＤ　消灯
点灯ＬＥＤ　消灯
ボタン音　ピッ

パッチした内容をチェックする

プリセットに仕込まれている負荷番号をチェックする

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する

上段　ＰＦ１ＬＥＤ	点灯
下段　ＰＦ１ＬＥＤ	点灯

② 記憶　パッチを押す

パッチＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

③ 記憶　チェックを押す

７セグ表示	負荷番号	
フェーダＬＥＤ	パッチ仕込みなしプリセット	消灯
	パッチ仕込み済みプリセット	橙点灯
	選択した負荷番号仕込み済みプリセット	橙点滅
ボタン音	ピッ	

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　チェックするプリセットのフェーダ選択を押す

フェーダＬＥＤ	緑色
ボタン音	ピッ

⑤ 設定　▼　▲を押してプリセットに仕込んだ負荷番号をチェック

７セグ表示	負荷番号（点滅）
チェック中のフェーダＬＥＤ	緑色

⑥ 記憶　パッチを押す　パッチのチェック終了

パッチＬＥＤ	消灯
チェックＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

２３３２４８Ｄ

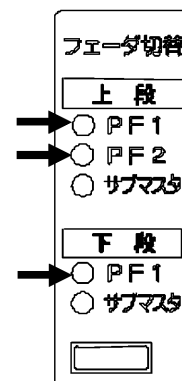
プリセットで灯りを点灯する

233248D

プリセットの機能

プリセットを使用するための設定

プリセットを使用するには、プリセット／サブマスタパネルのフェーダ切替で「ＰＦ１」または「ＰＦ２」を選択します。
サブマスタ設定ではプリセットの機能を使用することはできません。

フェーダ切替設定状態
上段：「ＰＦ１」　下段：「ＰＦ１」　２０本プリセットフェーダ
上段：「ＰＦ２」　下段：「ＰＦ１」　１０本２段プリセット
上段：「サブマスタ」下段：「ＰＦ１」　下段の１０本プリセットフェーダ
上段：「サブマスタ」下段：「サブマスタ」プリセット機能なし

プリセットの灯りのレベルとプリセットマスタフェーダ

プリセットフェーダで出る灯りは、プリセットフェーダ個々で出す灯りにマスタパネルのプリセットマスタのレベルを掛けたものになります。

（プリセットフェーダででる灯り）＝
（個々のプリセットのあわせたもの）×（プリセットマスタレベル）

さらにクロスフェーダのモードによりクロスフェーダのレベルを掛けます。
プリセットマスタは、プリセットで出す灯りの全体を調整するものなので、通常フル（１００％）で使用します。

２３３２４８Ｄ

プリセットの機能

プリセットによる灯りを出す機能は、次のものがあります。

フェーダ再生（→P36）

※クロスフェーダを使用した「クロスを使って灯りを点灯する」（→Ｐ51）を参照してください。

次の関係により灯りを出します。

（プリセットフェーダ）×（クロスフェーダ）×（プリセットマスタフェーダ）

フリーフェーダ再生（→Ｐ37）

プリセットフェーダをフリーに設定した場合、そのフェーダに割りつけられた負荷の灯りは、他の操作に関係なく、プリセットフェーダの操作によります。この設定では、プリセットマスタフェーダに関係なく灯りが出ます。また、この設定で出ている灯りは、シーン、サブマスタなどの全ての記憶操作の対象外です。

タッチ（→Ｐ39）

フェーダ選択切替を「＋タッチ」または「－タッチ」に設定し、フェーダ選択ボタンを押すと、そのプリセットの灯りをフル点灯します。

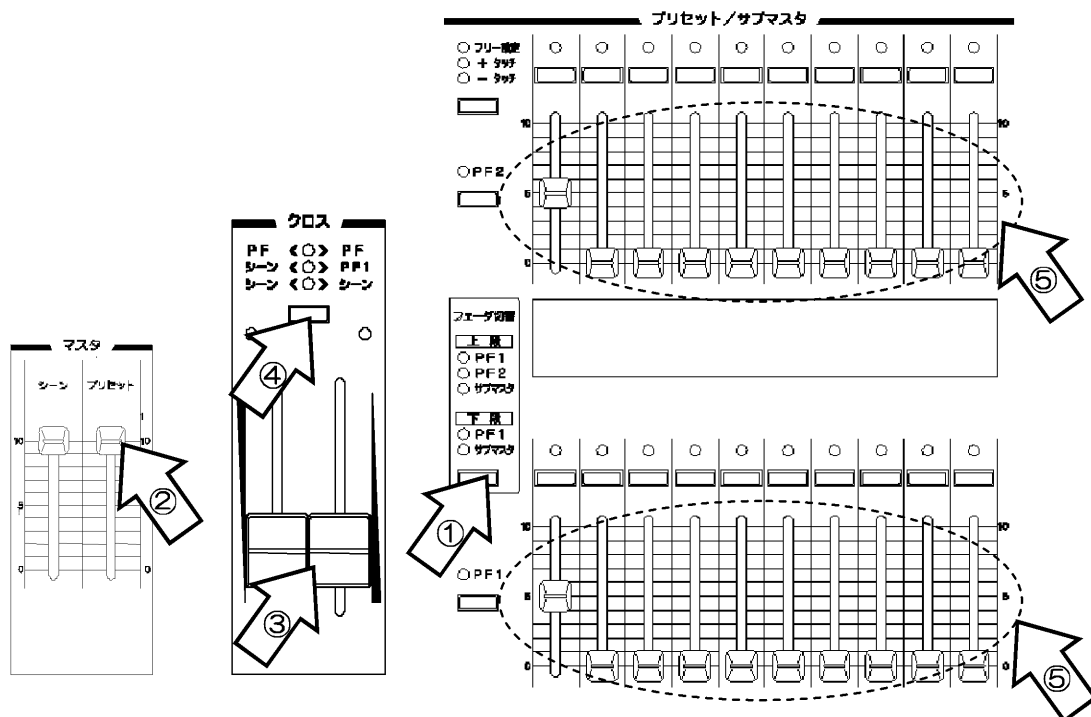
この設定では、プリセットマスタフェーダに関係なく灯りが出ます。

フリー設定になっているフェーダはタッチ動作ができません。

また、この設定で出ている灯りは、シーン、サブマスタなどの全ての記憶操作の対象外です。

＋タッチ：タッチの灯りが現在の灯りに加わります。

－タッチ：タッチの灯りが点灯し、他の灯りは消灯します。
ただし、フリー設定、ハウスライトで出している灯りは消灯しません。

プリセットで灯りを点灯する

２０本のプリセットフェーダとして設定し使用します。
クロスフェーダはＰＦ１が１００％となる位置に固定して使用します。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する
　　上段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯
　　下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② マスタ　プリセットマスタフェーダを１００％（一番上）の位置にする

③ クロス　クロスフェーダ２本とも手前側に持ってくる
　　左側０％　右側１００％

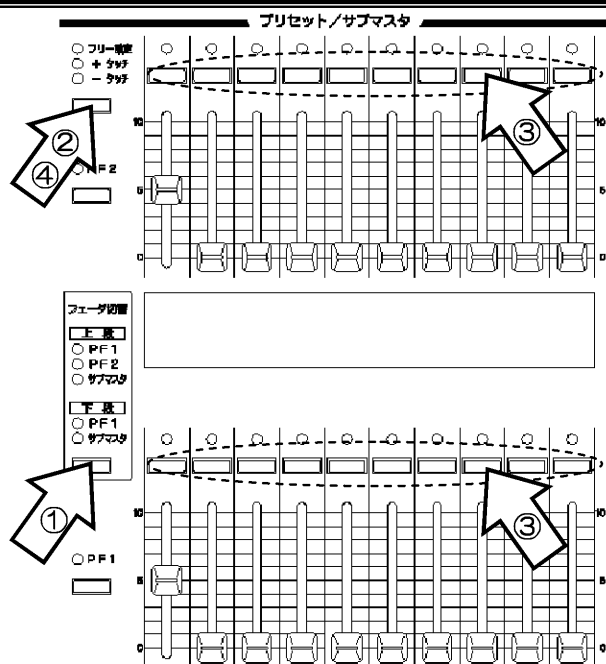
④ クロス　クロスモード切替を押して　「ＰＦ－ＰＦ」　を選択
　　ＰＦ－ＰＦ　ＬＥＤ　点灯

⑤ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　プリセットフェーダを操作して灯りを出す

２３３２４８Ｄ

プリセットをフリー設定にする

プリセット／サブマスタパネルのフェーダ切替の設定により、操作が異なります。

２０本プリセットフェーダ設定でフリーにする

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する

上段ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

下段ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、「フリー設定」を選択する

フェーダ選択切替ＬＥＤ　フリー設定点灯

③ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フリー設定にするフェーダのフェーダ選択を押す

フェーダＬＥＤ　緑点灯

ボタン音　ピッ

フリー設定を解除するには、フリー設定にしたフェーダのフェーダ選択を押す

フェーダＬＥＤ　緑消灯

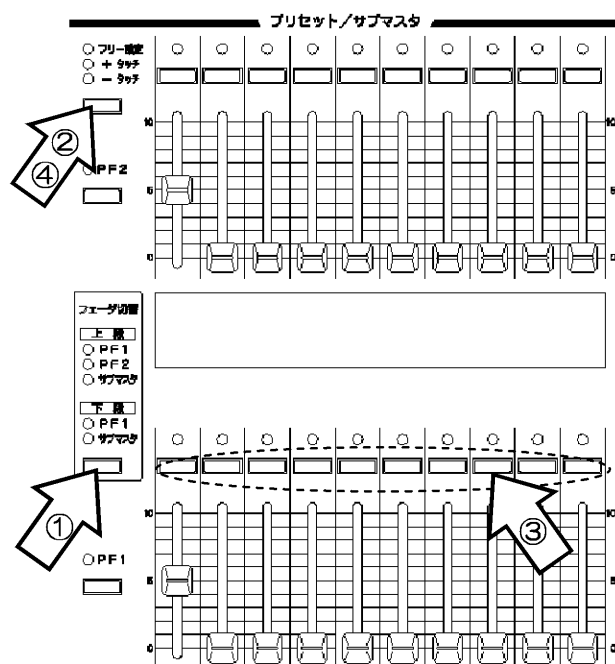
ボタン音　ピッ

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替ＬＥＤを消灯する

フェーダ選択切替ＬＥＤ　消灯

⑤ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フリー設定にしたフェーダがフリーフェーダ動作する

２３３２４８Ｄ

１０本プリセットフェーダ設定でフリーにする

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、
上段「ＰＦ２」下段「ＰＦ１」を選択する
上段ＰＦ２ＬＥＤ　　点灯
下段ＰＦ１ＬＥＤ　　点灯
または、
上段「サブマスタ」下段「ＰＦ１」を選択する
上段サブマスタＬＥＤ　点灯
下段ＰＦ１ＬＥＤ　　点灯

② ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、「フリー設定」を選択する
フェーダ選択切替ＬＥＤ　　フリー設定点灯

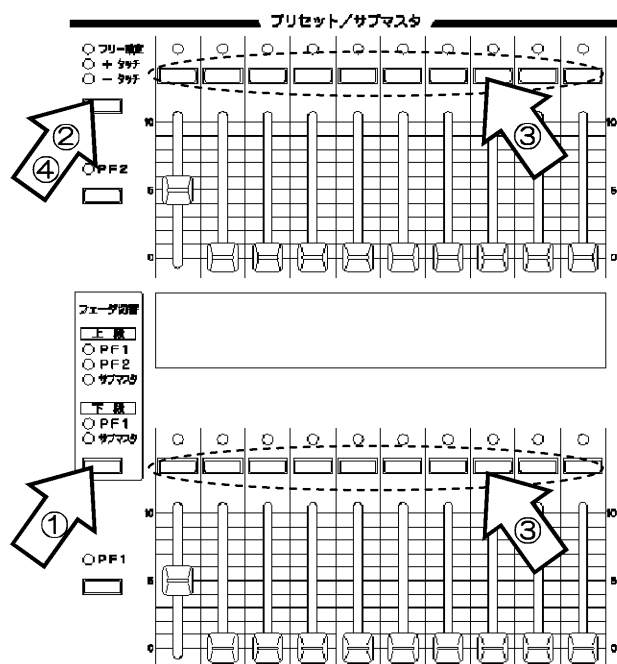
③ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　下段１０本からフリー設定にするフェーダのフェーダ選択を押す
フェーダＬＥＤ　　緑点灯
ボタン音　　ピッ
フリー設定を解除するには、フリー設定にしたフェーダのフェーダ選択を押す
フェーダＬＥＤ　　緑消灯
ボタン音　　ピッ

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替ＬＥＤを消灯する
フェーダ選択切替ＬＥＤ　　消灯

⑤ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フリー設定にしたフェーダがフリーフェーダ動作する

プリセットをタッチで点灯する

プリセット／サブマスタパネルのフェーダ切替の設定により、操作が異なります。

２０本プリセットフェーダ設定でタッチ点灯する

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する

上段ＰＦ１ＬＥＤ　　点灯

下段ＰＦ１ＬＥＤ　　点灯

② ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、「＋タッチ」または「－タッチ」を選択する

フェーダ選択切替ＬＥＤ　＋タッチ点灯

または

フェーダ選択切替ＬＥＤ　－タッチ点灯

③ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　タッチ点灯するフェーダのフェーダ選択を押すと点灯

フェーダＬＥＤ　　赤点灯

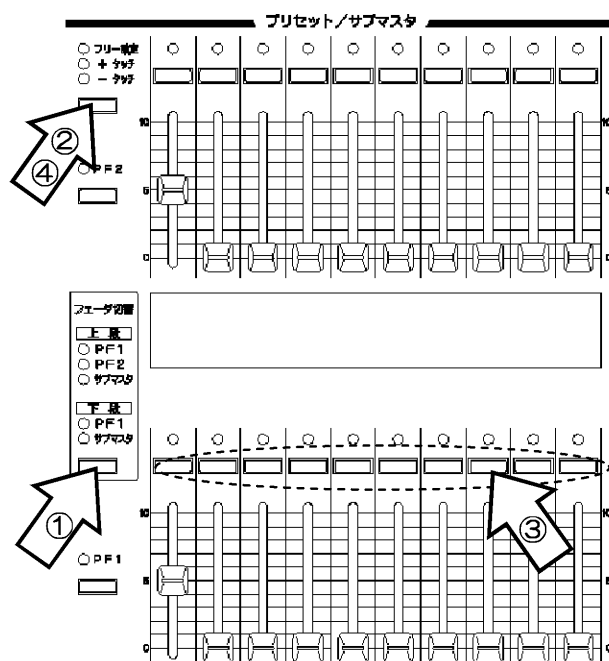
ボタン音　　ピッ

タッチ動作を終了する時

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替ＬＥＤを消灯する

フェーダ選択切替ＬＥＤ　消灯

ボタン音　　ピッ

１０本プリセットフェーダ設定でタッチ点灯する

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、

上段「ＰＦ２」下段「ＰＦ１」を選択する

上段ＰＦ2ＬＥＤ　　　点灯

下段ＰＦ１ＬＥＤ　　　点灯

または、

上段「サブマスタ」下段「ＰＦ１」を選択する

上段サブマスタＥＤ　　点灯

下段ＰＦ１ＬＥＤ　　　点灯

② ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、「＋タッチ」または「－タッチ」を選択する

フェーダ選択切替ＬＥＤ　＋タッチ点灯

または

フェーダ選択切替ＬＥＤ　－タッチ点灯

③ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　下段１０本からタッチ点灯するフェーダのフェーダ選択を押すと点灯

フェーダＬＥＤ　　　赤点灯

ボタン音　　　　　　ピッ

タッチ動作を終了する時

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替ＬＥＤを消灯する

フェーダ選択切替ＬＥＤ　消灯

ボタン音　　　　　　　ピッ

シーンで灯りを点灯する

233248D

シーンの機能

シーンとは

シーンとは灯りの状態のことです。
記憶する灯りは、プリセット、シーン、サブマスタで出している灯りです。
（フリーフェーダ、チェイス、タッチスイッチ、ハウスライト、ワンタッチシーン、ON／OFFの灯りは記憶しません）
シーン機能では、２０シーン×１０ページ＝２００シーンの記憶ができます。

シーンで灯りを点灯するには次の方法があります。

・ボタン再生　　シーン番号ボタンを押し、灯りを点灯する
・自動再生　　　シーンを順番に連続的に点灯する
・クロス再生　　クロスを使って灯りを点灯する（→P51）を参照

シーンの灯りのレベルとシーンマスタフェーダ

シーンで出る灯りは、シーン個々で出す灯りにマスタパネルのシーンマスタのレベルを掛けたものになります。

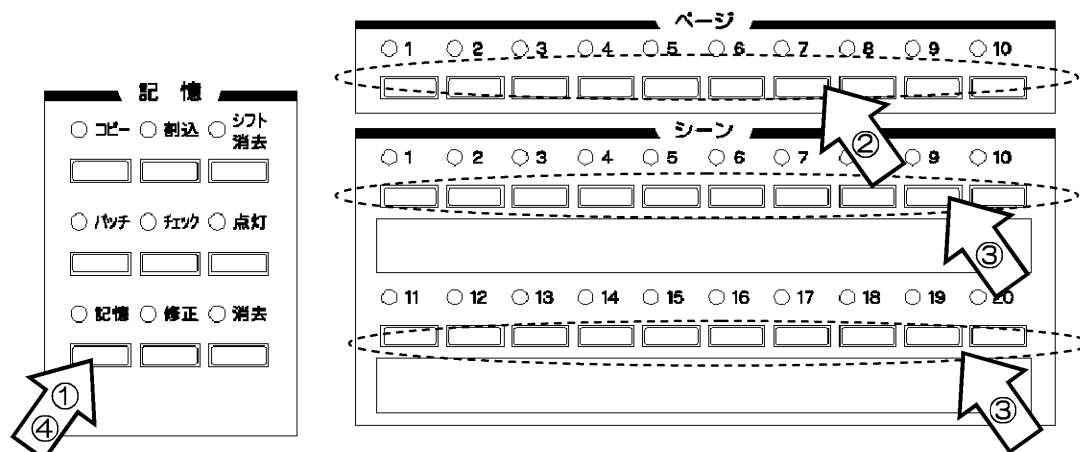
・ボタン再生
（シーンで出る灯り）＝（記憶したシーンの灯り）×（シーンマスタレベル）
・クロス再生
（シーンで出る灯り）＝（記憶したシーンの灯り）×（シーンマスタレベル）
×（シーンを割り付けたクロスフェーダのレベル）

シーンマスタは、シーンで出す灯り全体を調整するものなので、通常フル（１００%）で使用します。

＊注意
記憶する灯りは、プリセットマスタ、シーンマスタのレベルを掛けた結果です。
例えば、
シーン（１）を再生、シーンマスタで５０%暗くし、別のシーン（２）に記憶する。
シーンマスタを１００%に戻して、シーン（２）を再生するとシーンの灯りはシーン（１）の５０%の灯りになります。

２３３２４８Ｄ

シーンに灯りを記憶する

シーンに灯りを記憶する

記憶したい灯りを作り、ページとシーン番号を指定して記憶する。

① 記憶　記憶を押す

記憶ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

② ページ　記憶するページ番号を押す。

選択したページ番号ＬＥＤ	赤点灯
ボタン音	ピッ

③ シーン　記憶するシーン番号ＬＥＤが消灯している場合

記憶するシーン番号を押す

選択したシーン番号ＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ

記憶するシーン番号ＬＥＤが橙点灯している場合（上書き）

記憶するシーン番号を押す

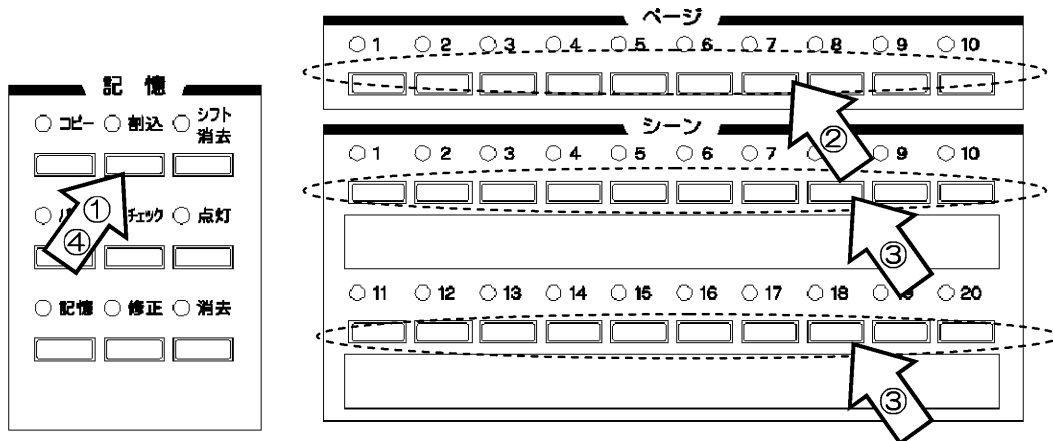
選択したシーン番号ＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッピッ

もう一度、記憶するシーン番号を押す

選択したシーン番号ＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ

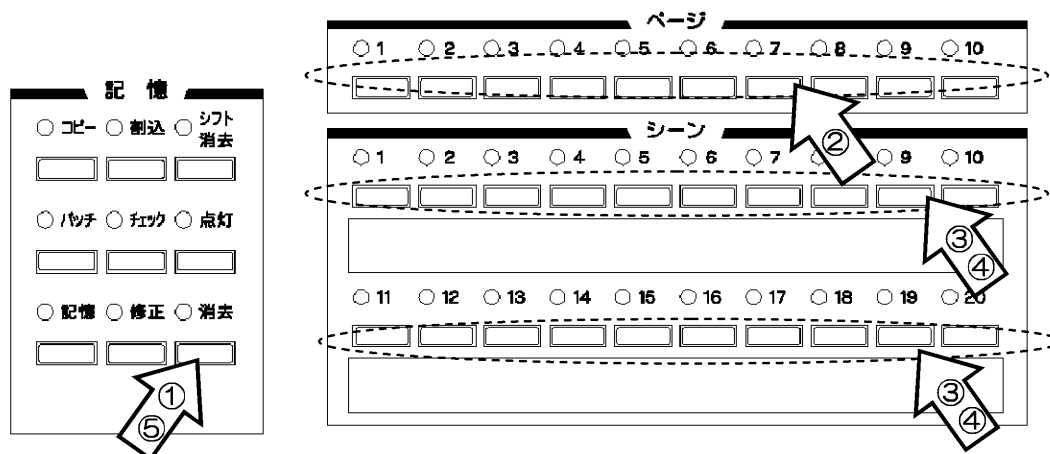
④ 記憶　記憶を押し終了

記憶ＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

シーンに割込ませて灯りを記憶する

指定したシーン番号の位置に割込ませて記憶する。割込み記憶位置以降のシーン記憶位置は後ろにずれる。ページ内の割込み記憶位置以降にシーンの空きがない場合はこの操作はできません。他ページのシーン記憶位置はそのままです。

①	記憶	割込を押す	
		割込ＬＥＤ	点灯
		ボタン音	ピッ
②	ページ	記憶するページ番号を押す。	
		選択したページ番号ＬＥＤ	赤点灯
		ボタン音	ピッ
③	シーン	記憶するシーン番号を押す	
		選択したシーン番号ＬＥＤ	橙点灯
		ボタン音	ピッ
④	記憶	割込を押し終了	
		割込ＬＥＤ	消灯
		ボタン音	ピッ

シーンを消去する

1シーンを消去する

消去するシーンのページ番号とシーン番号を指定する。

① 記憶 消去を押す
　消去ＬＥＤ　点灯
　ボタン音　ピッ

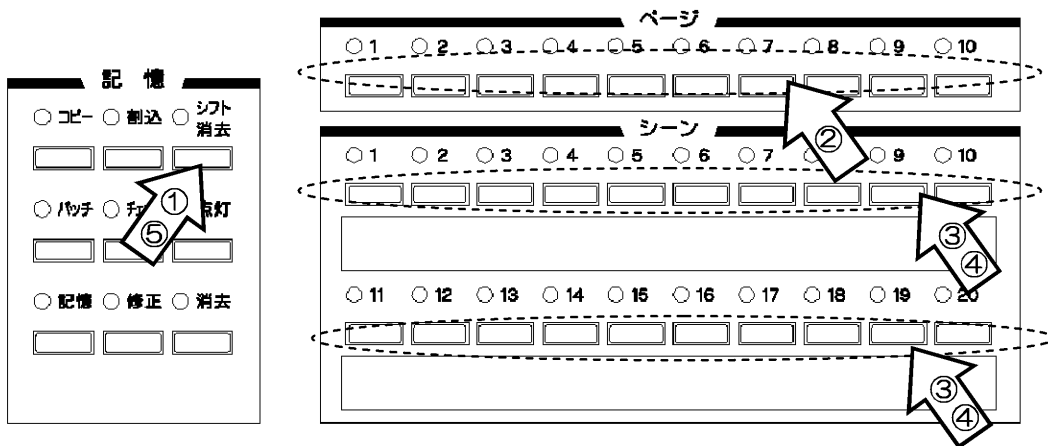
② ページ 消去するシーンがあるページ番号を押す。
　選択したページ番号ＬＥＤ　赤点灯
　ボタン音　ピッ

③ シーン 消去するシーン番号を押す
　選択したシーン番号ＬＥＤ　赤点滅
　ボタン音　ピッピッ
　（操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す）

④ シーン もう一度、消去するシーン番号を押すと消去
　選択したシーン番号ＬＥＤ　消灯
　ボタン音　ピッ

⑤ 記憶 消去を押し終了
　消去ＬＥＤ　消灯
　ボタン音　ピッ

２３３２４８D

シーンをシフト消去する

消去するシーンのページ番号とシーン番号を指定して消去する。消去した位置以降のシーン記憶位置がひとつ手前にずれる。他ページのシーン記憶位置はそのままです。

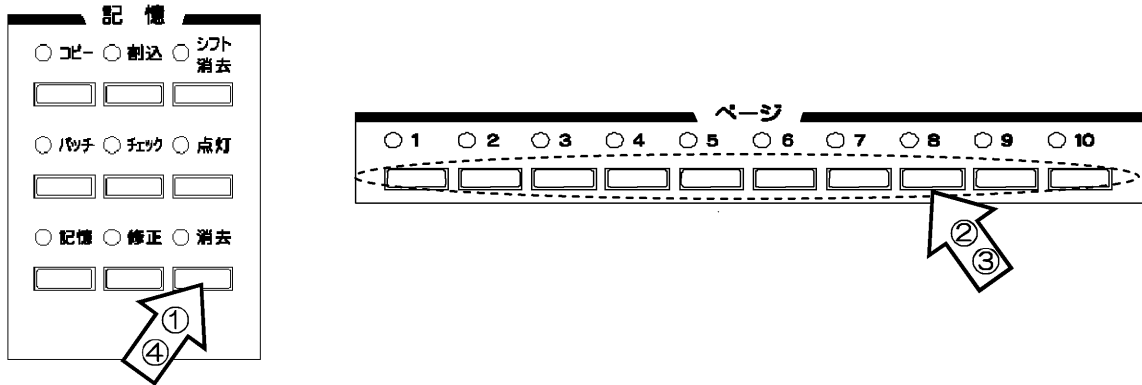
①　記憶　シフト消去を押す
　　シフト消去ＬＥＤ　点灯
　　ボタン音　ピッ

②　ページ　消去するシーンがあるページ番号を押す。
　　選択したページ番号ＬＥＤ　赤点灯
　　ボタン音　ピッ

③　シーン　消去するシーン番号を押す
　　選択したシーン番号ＬＥＤ　赤点滅
　　ボタン音　ピッピッ
　　（操作をキャンセルしたいときは、記憶　シフト消去を押す）

④　シーン　もう一度、消去するシーン番号を押すと消去
　　選択したシーン番号ＬＥＤ　消灯
　　ボタン音　ピッ

⑤　記憶　シフト消去を押し終了
　　シフト消去ＬＥＤ　消灯
　　ボタン音　ピッ

シーンをページ単位で消去する

消去するページを指定してシーンを消去する。

① 記憶 [消去]を押す
消去ＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ

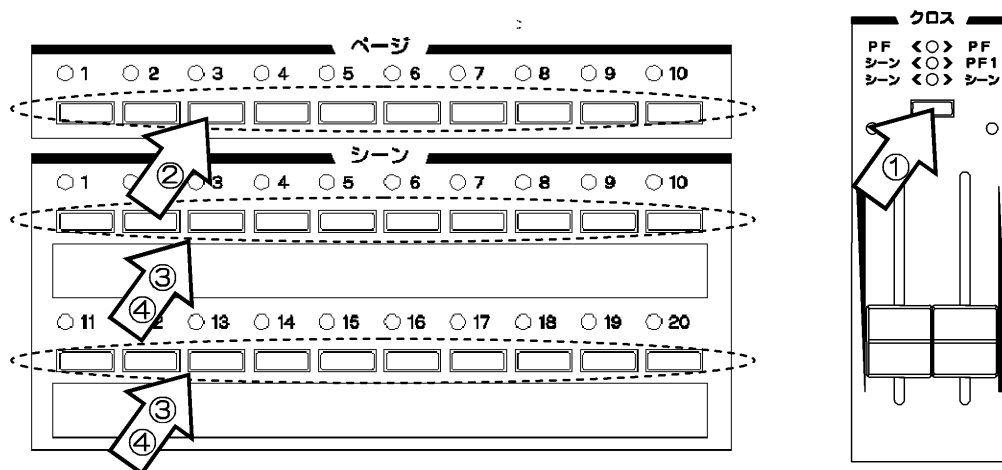
② ページ 消去する[ページ番号]を押す。
選択したページ番号ＬＥＤ 赤点滅
ボタン音 ピッピッ
（操作をキャンセルしたいときは、記憶 [消去]を押す）

③ シーン もう一度、消去する[ページ番号]を押すと消去
選択したページ番号ＬＥＤ 消灯
ボタン音 ピッ

④ 記憶 [消去]を押し終了
消去ＬＥＤ 消灯
ボタン音 ピッ

２３３２４８Ｄ

シーンボタン再生で灯りを出す

シーンのボタン再生で灯りを出す（消す）

シーン番号ボタンを押すことでシーン灯りを再生します。シーンの切り替わりは、設定したフェード時間でフェードチェンジします。フェード時間はすべてのシーンで共通です。

・ シーンマスターが0レベル（手前側）のときは灯りがでません。記憶したシーンをそのままの灯りで再生するときは、シーンマスタを１００％（一番奥側）の位置にしてください。
・ 複数のシーンを同時に点灯することはできません。
・ ボタン再生はクロスモード「ＰＦ　ＰＦ」の時のみ使用できます。
・ 再生中シーンのシーン番号を押すとそのシーン灯りは消灯します。

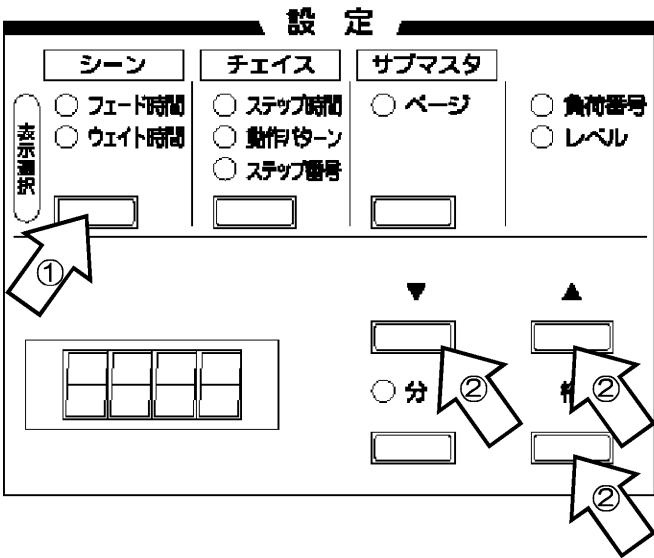
① クロス　クロスモード切替を押して「ＰＦ－ＰＦ」を選択
　ＰＦ－ＰＦ　ＬＥＤ　点灯

② ページ　再生するシーンがあるページ番号を押す。
　選択したページ番号ＬＥＤ　赤点灯
　ボタン音　ピッ

③ シーン　再生するシーン番号を押す
　選択したシーン番号ＬＥＤ　赤点灯
　ボタン音　ピッ

④ シーン　消灯するシーン番号を押す
　選択したシーン番号ＬＥＤ　消灯
　ボタン音　ピッ

２３３２４８Ｄ

シーンボタン再生のフェード時間を変更する

シーンのフェード時間は「０．０秒～９９９．９秒」まで０．１秒間隔で設定できる。

① 設定 シーンを押す
　　７セグ表示　フェード時間（秒）
　　フェード時間ＬＥＤ　点灯

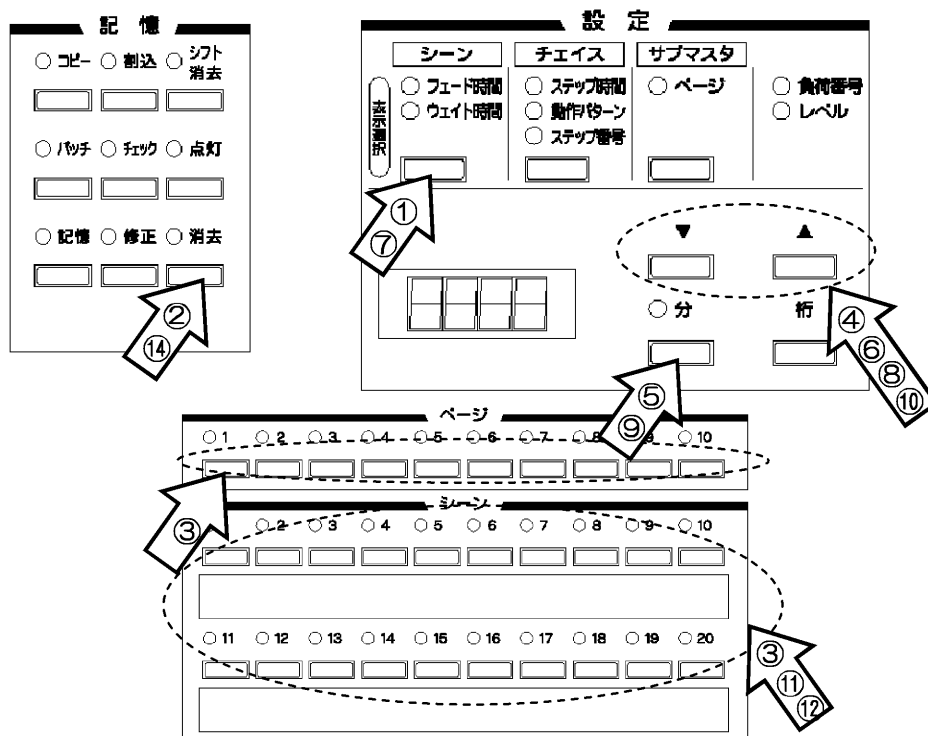
② 設定 ▼ ▲を押してフェード時間を０．１秒単位で変更
　　桁を押しながら▼ ▲を押すと１秒単位で変更
　　７セグ表示　フェード時間（秒）

シーンの自動再生をおこなう

シーンの自動再生とは

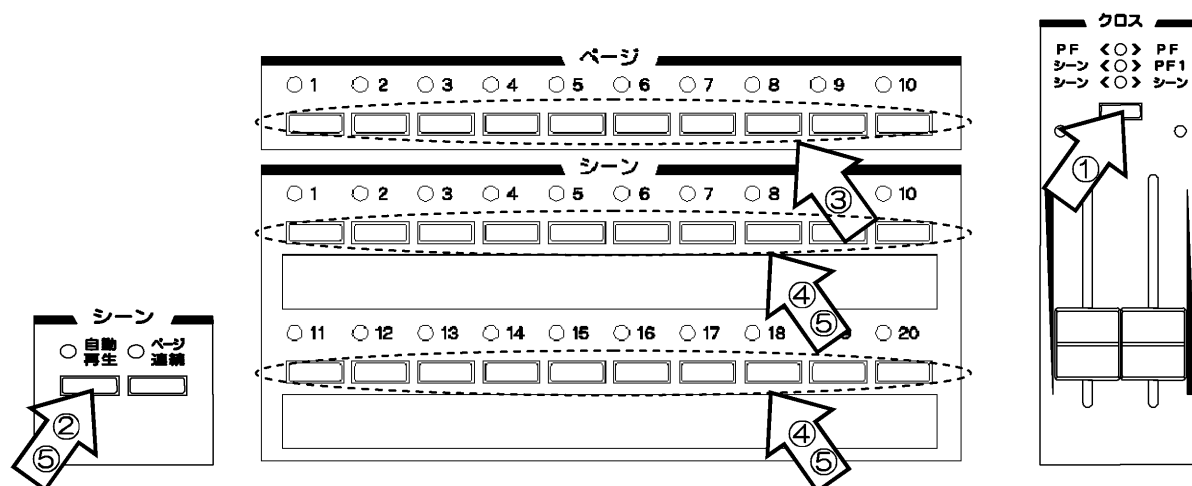
シーンを連続的に再生し灯りを点灯します。ページ内での再生とページをまたいで連続的な再生ができます。
シーン自動再生が可能なのは、クロスモード「ＰＦ－ＰＦ」の時のみです。

自動再生の再生時間は、トルスターⅢの内部時間です。長時間連続して再生をおこなう場合、ずれが生じる場合があります。

シーンの再生時間を設定する

自動再生をおこなう場合には、シーンごとにフェード時間、ウエイト時間を設定する必要があります。フェード時間、ウエイト時間は「０．０秒～９時間５９分５９．９秒」まで０．１秒間隔で設定できます。設定は秒の「０．０秒～５９．９秒」までと、分の「０分～９時間５９分」とに分かれており、それぞれの設定を足したものが実際のフェード時間、ウエイト時間になります。

①	設定	シーンを押し、「フェード時間」を選択する ７セグ表示　フェード時間（秒） フェード時間ＬＥＤ　点灯
②	記憶	修正　を押す。 修正ＬＥＤ　点灯
③	シーン	時関設定するシーンのページ番号、シーン番号を押す 選択したページ番号ＬＥＤ　赤点灯 選択したシーン番号ＬＥＤ　緑点滅
④	設定	▼　▲を押してフェード時間を０．１秒単位で変更 桁を押しながら▼　▲を押すと１秒単位で変更 ７セグ表示　フェード時間（秒）
⑤	設定	分を押す ７セグ表示　フェード時間（時分）
⑥	設定	▼　▲を押してフェード時間を１分単位で変更 桁を押しながら▼　▲を押すと１０分単位で変更 ７セグ表示　フェード時間（時分）
⑦	設定	シーンを押し、「ウエイト時間」を選択する ウエイト時間ＬＥＤ　点灯
⑧	設定	▼　▲を押してウエイト時間を０．１秒単位で変更 桁を押しながら▼　▲を押すと１秒単位で変更 ７セグ表示　ウエイト時間（秒）
⑨	設定	分を押す ７セグ表示　ウエイト時間（時分）
⑩	設定	▼　▲を押してフェード時間を１分単位で変更 桁を押しながら▼　▲を押すと１０分単位で変更 ７セグ表示　ウエイト時間（時分）
⑪	シーン	緑点滅しているシーン番号を押す 選択したシーンＬＥＤ　赤点滅 ボタン音　ピッピッ
⑫	シーン	赤点滅しているシーン番号を押す 選択したシーンＬＥＤ　橙点灯 ボタン音　ピッ
⑬	③～⑫を自動再生するすべてのシーンでおこないます。	
⑭	記憶	修正を押し終了 修正ＬＥＤ　消灯 ボタン音　ピッ フェード時間ＬＥＤ　点灯

２３３２４８Ｄ

ページ内でのシーンの自動再生をおこなう

自動再生に設定し、自動再生を開始するシーン番号を押す。ページ内のシーンを順次、予め設定したフェード時間、ウエイト時間で繰り返し再生します。

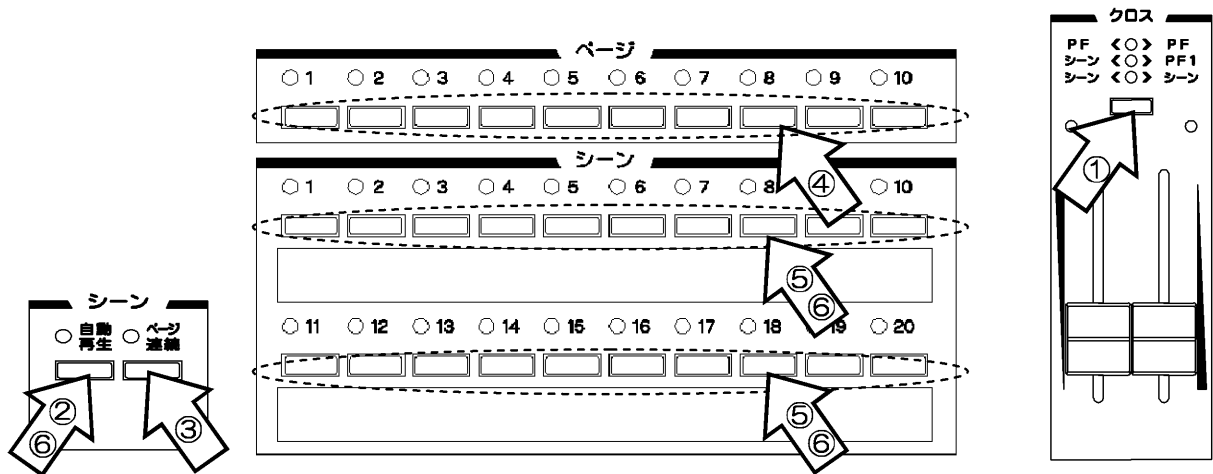
①	クロス　クロスモード切替を押し、「ＰＦ－ＰＦ」を選択する	
	ＰＦ－ＰＦ　ＬＥＤ	点灯
②	シーン　自動再生を押す	
	自動再生ＬＥＤ	点滅
	ボタン音	ピッ
③	ページ　自動再生するシーンがあるページ番号を押す	
	選択したページ番号ＬＥＤ	赤点灯
	ボタン音	ピッ
④	シーン　自動再生するシーン番号を押す	
	選択したシーン番号ＬＥＤ	赤点灯
	ボタン音	ピッ
	自動再生ＬＥＤ	点灯

自動再生を開始します

停止する時

⑤	シーン　いずれかのシーン番号を押すと停止	
	シーン　自動再生を押すと停止	
	自動再生ＬＥＤ	消灯
	ボタン音	ピッ

２３３２４８Ｄ

ページをまたいでのシーンの自動再生をおこなう

自動再生、ページ連続に設定し、自動再生を開始するシーン番号を押す。すべてのシーンを順次、予め設定したフェード時間、ウエイト時間で繰り返し再生します。

① クロス　クロスモード切替を押し､「ＰＦ－ＰＦ」を選択する
　　ＰＦ－ＰＦ　ＬＥＤ　点灯

② シーン　自動再生を押す
　　自動再生ＬＥＤ　点滅
　　ボタン音　ピッ

③ シーン　ページ連続を押す
　　ページ連続ＬＥＤ　点灯
　　ボタン音　ピッ

④ ページ　自動再生するシーンのページ番号を押す
　　選択したページ番号ＬＥＤ　赤点灯
　　ボタン音　ピッ

⑤ シーン　自動再生するシーン番号を押す
　　選択したシーン番号ＬＥＤ　赤点灯
　　ボタン音　ピッ
　　自動再生ＬＥＤ　点灯

自動再生を開始します

停止する時

⑥ シーン　いずれかのシーン番号を押すと停止
　シーン　自動再生を押すと停止作
　　自動再生ＬＥＤ　消灯
　　ボタン音　ピッ

２３３２４８Ｄ

クロスを使って灯りを点灯する

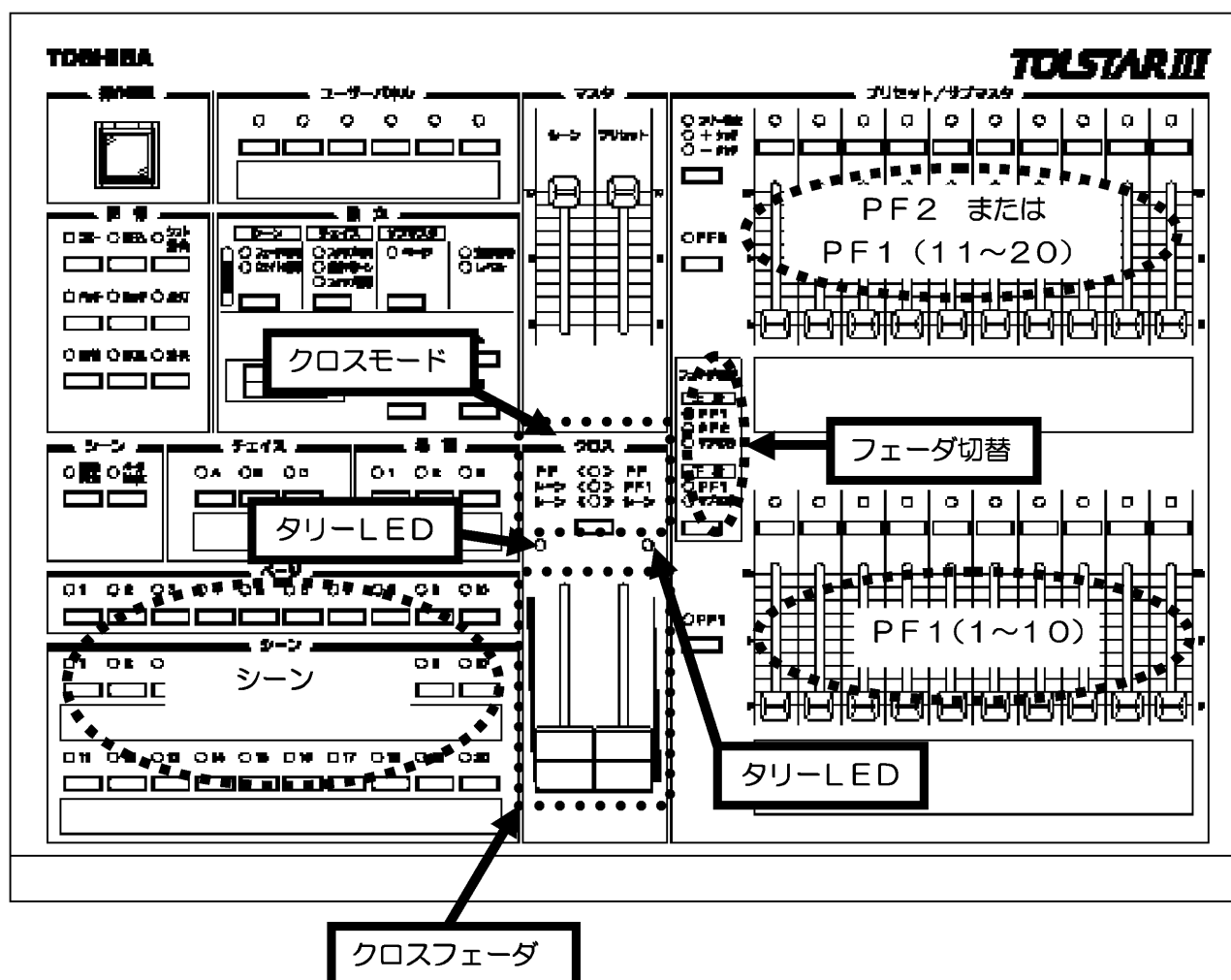
233248D

クロスの機能

クロス再生

　クロスはプリセットフェーダの灯りとシーンの灯りを再生することができます。
左右のクロスフェーダに各々、プリセットフェーダ（ＰＦ１、ＰＦ２）又はシーンが割り付きます。
　割り付いているプリセットフェーダ又はシーンのレベルとクロスフェーダのレベルを掛け合わせて灯りをつくります。

　左右のクロスフェーダに上下させることで灯りの転換ができます。

２３３２４８Ｄ

クロスには再生モードが３つあります。
　再生モードは、左右クロスフェーダの両方が一番手前側、又は一番奥側にあるときに切り換えることができます。

＊灯りの変化を防ぐため、クロスモード切り換え時、１００%再生中のクロスフェーダへの割り付けは切り換え前の割り付けを保持します。

＊タリーＬＥＤが赤点滅しているときは、左右の両方クロスフェーダを次の位置にしてからクロスモードを切替えてください。

・切り換え時　クロスフェーダが手前側の場合　奥側　　いっぱいまで動かす

・切り換え時　クロスフェーダが　奥側の場合　手前側　いっぱいまで動かす

＊モードを切り換えたとき、クロスフェーダへの割り付けが変化しない場合には、そのまま使用できます。

ＰＦ－ＰＦモード

左右のクロスフェーダにプリセットフェーダが割り付きます。

＊フェーダ切替の設定が上段「ＰＦ２」、下段「ＰＦ１」の場合
　左側クロスフェーダに上段１０本のプリセットフェーダ（ＰＦ２）
　右側クロスフェーダに下段１０本のプリセットフェーダ（ＰＦ１）が割り付きます。

＊フェーダ切替の設定が上下段ともに「ＰＦ１」の場合
　左右クロスフェーダにＰＦ１が割り付きます。

＊フェーダ切替の設定が上段「サブマスタ」下段「ＰＦ１」の場合
　左右クロスフェーダにＰＦ１が割り付きます。

＊フェーダ切替の設定が上下段ともに「サブマスタ」の場合
　プリセットフェーダのクロス再生はできません。

このモードでシーンを再生する場合は、ボタン再生（→Ｐ45)、自動再生（→Ｐ47）を使用します。

シーン－ＰＦ１モード

シーンとプリセットを交互に再生するときに使用します。次のように割り付きます。
　左側クロスフェーダにシーン
　右側クロスフェーダにプリセットフェーダ（ＰＦ１）

＊左側クロスフェーダの割り付けは、クロス転換ごとに次のシーンへ進みます。

＊左右クロスフェーダが手前にあるときは、左側クロスフェーダにシーンを割り付けることができます。

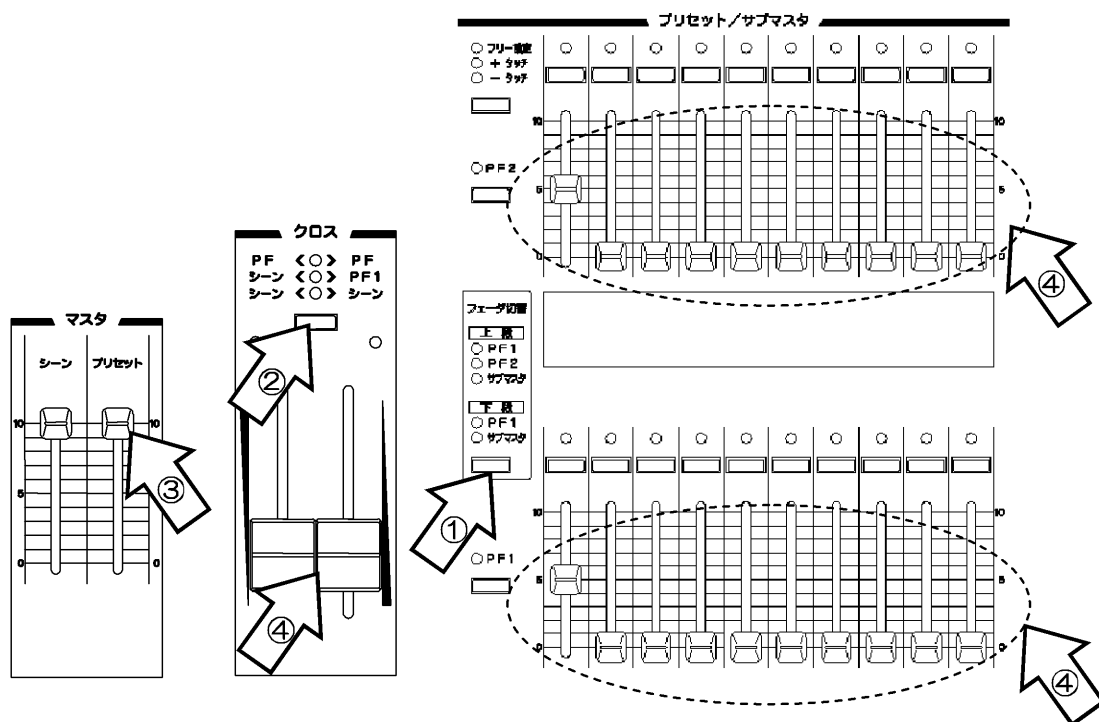
シーン－シーンモード

左右のクロスフェーダにシーンが割り付きます。シーンを順次再生するときに使用します。

＊クロス転換ごとに次のシーンへ進みます。

＊左右のクロスフェーダが手前にあるとき、左側クロスフェーダへシーンを割り付けることができます。

＊左右のクロスフェーダが奥側にあるとき、右側クロスフェーダにシーンを割り付けることができます。

ＰＦ－ＰＦ再生で点灯する

プリセットフェーダの上側１０本を「ＰＦ２」、下側１０本を「ＰＦ１」として、クロスを用いて再生します。左側クロスフェーダを奥側にすると「ＰＦ２」が１００％、右側クロスフェーダを手前側にすると「ＰＦ１」が１００％となります。

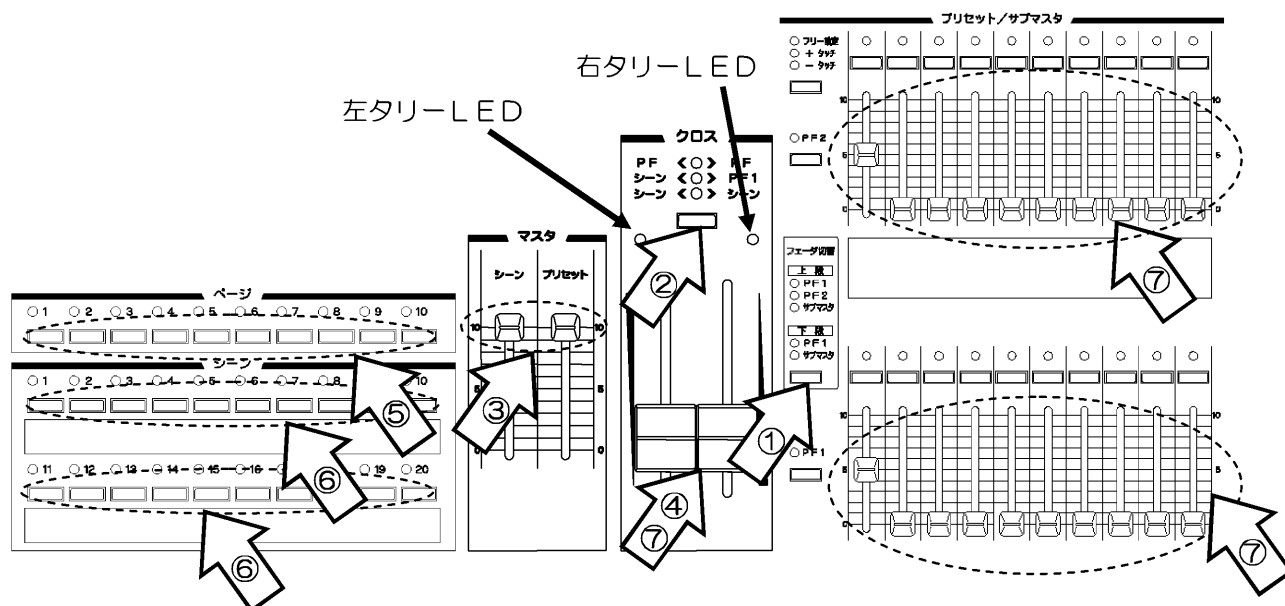
① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ２」下段「ＰＦ１」を選択する
　上段　ＰＦ２ＬＥＤ　点灯
　下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② クロス　クロスモード切替を押し、「ＰＦ－ＰＦ」を選択する
　ＰＦ－ＰＦ　ＬＥＤ　点灯

③ マスタ　プリセットマスタフェーダを１００％（一番上）の位置にする

④ プリセットフェーダで灯りを作り、クロスフェーダで切替えます。

＊フェーダ切替で「ＰＦ２」を選択していないときは、左右のクロスフェーダは、どちらも「ＰＦ１」が割り付きます。
＊フェーダ切替で上下段ともに「サブマスタ」の場合には、プリセットフェーダの灯りは出ません。

シーンーＰＦ１再生で点灯する

プリセットフェーダとシーンを用いて再生します。左側クロスフェーダを奥側にすると「シーン」が１００%、右側プリセットフェーダを手前にすると「ＰＦ１」が１００%となります。
クロスフェーダ２本を同時に動かし、奥側（シーン１００%ＰＦ０%）、次に手前側（シーン０%ＰＦ１００%）にするとシーンが１つ進みます。これでＰＦ→シーン→ＰＦ→次のシーン→ＰＦ→その次のシーン・・・と再生します。ページ連続をＯＮしておくとページをまたいでシーン再生します。
クロスフェーダが手前側（シーン０%ＰＦ１００%）の時に次に再生するシーンを指定できます。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」を選択する
　上段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯
　下段　ＰＦ１ＬＥＤ　点灯

② クロス　クロスモード切替を押し、「シーンーＰＦ１」を選択する
　シーンーＰＦ１ＬＥＤ　点灯

③ マスタ　プリセットマスタフェーダを１００%（一番上）の位置にする
　シーンマスタフェーダを１００%（一番上）の位置にする

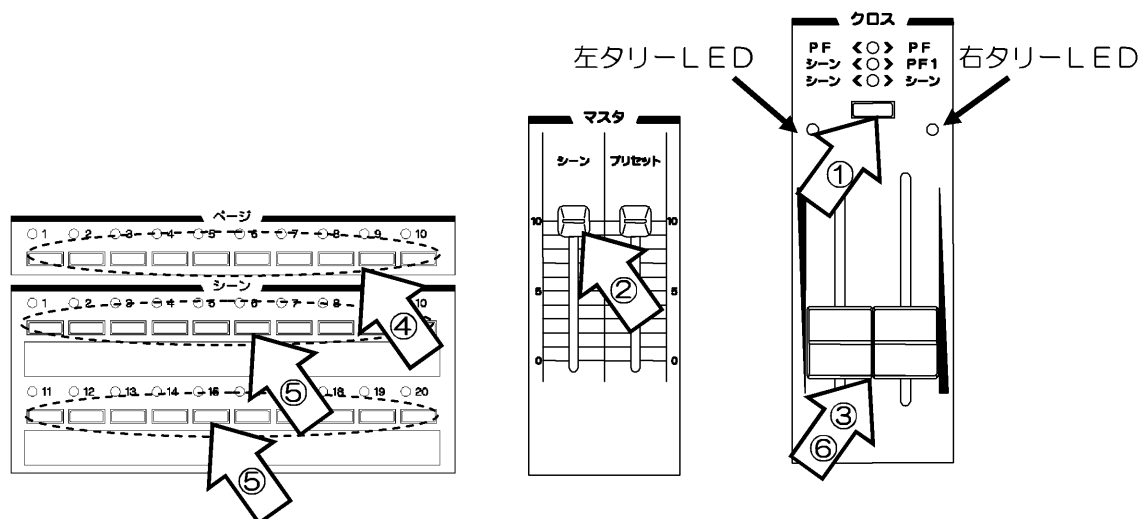
④ クロスフェーダを左右２本とも手前側（シーン０%ＰＦ１００%）にする
　左タリー　緑点灯
　右タリー　赤点灯

⑤ ページ　クロスで再生するシーンのページ番号を押す（保存済みのシーン番号　橙点灯）
　選択したページ番号ＬＥＤ　緑点滅
　ボタン音　ピッ

⑥ シーン　クロスで再生するシーン番号を押すとクロス左側にシーンが割りつく
　選択したシーン番号ＬＥＤ　緑点灯
　ボタン音　ピッ

⑦ プリセットフェーダとシーンをクロスフェーダで交互に再生できます。

２３３２４８Ｄ

シーンーシーン再生で点灯する

シーンを用いて再生します。左側クロスフェーダを奥側にすると１００%、右側を手前側にすると１００%となります。
クロスフェーダ２本を同時に動かし、奥側（左側１００%右側０%）にすると、右側が次のシーンに進み、手前側（左側０%右側１００%）にすると左側が次のシーンに進みます。これでシーンを進めていくことができます。ページ連続をONしておくとページをまたいでシーン再生します。
クロスフェーダが手前側、または奥側のときの０%側に次に再生するシーンを指定できます。

① クロス　クロスモード切替を押し､「シーンーシーン」を選択する
　　シーンーシーンＬＥＤ　点灯

② マスタ　シーンマスタフェーダを１００%（一番上）の位置にする

③ クロスフェーダを左右２本とも手前側（左側０%右側ＰＦ１００%）にする
　　左タリー　緑点灯
　　右タリー　赤点灯

④ ページ　クロスで再生するシーンのページ番号を押す（保存済みのシーン番号　橙点灯）
　　選択したページ番号ＬＥＤ　緑点滅
　　ボタン音　ピッ

⑤ シーン　クロスで再生するシーン番号を押すとクロス左側にシーンが割りつく
　　選択したシーン番号ＬＥＤ　緑点灯
　　ボタン音　ピッ

⑥ シーンをクロスフェーダで再生できます。

２３３２４８Ｄ

サブマスタで灯りを点灯する

233248D

サブマスタの機能

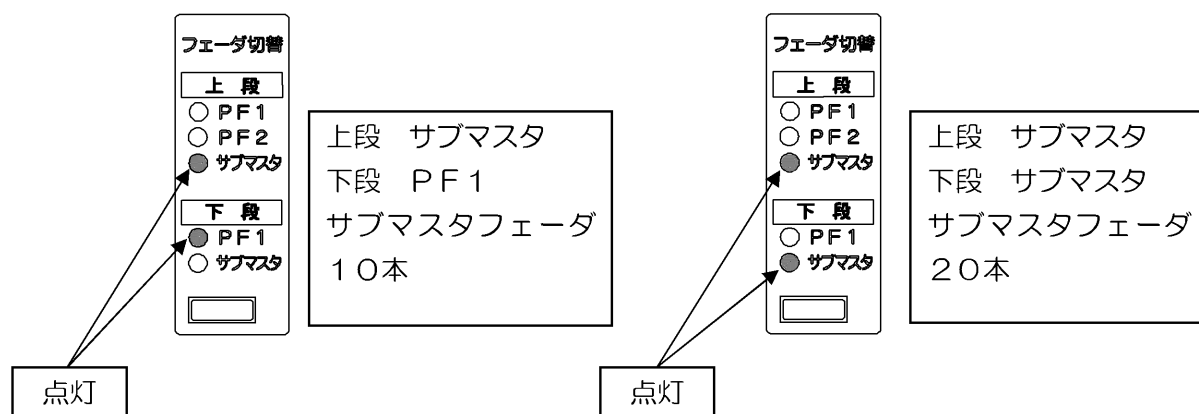
サブマスタとは

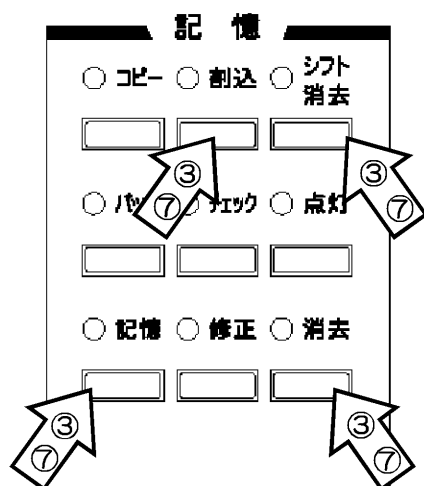
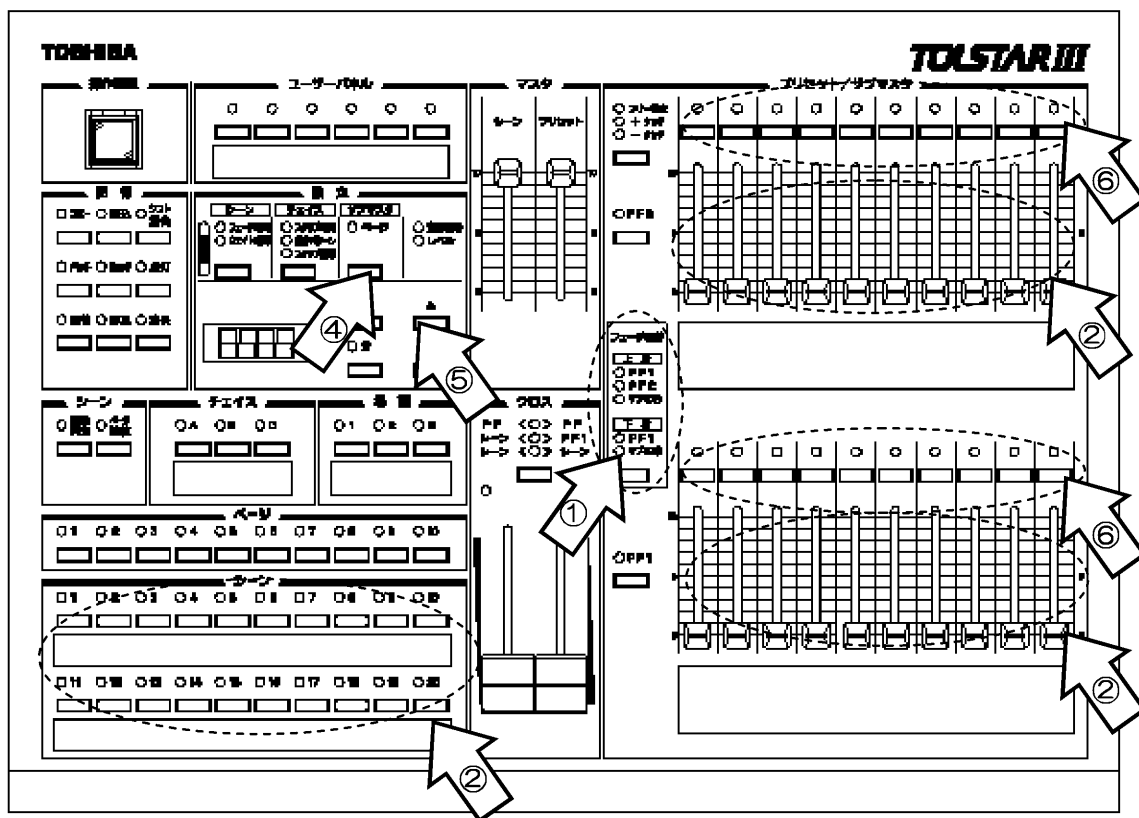
サブマスタとはフェーダに灯りの状態を記憶したものです。
サブマスタは最大２０本×１５ページ＝３００本の記憶ができます。

記憶する灯りは、プリセット、シーン、サブマスタで出している灯りです。
（フリーフェーダ、チェイス、タッチスイッチ、ハウスライト、ワンタッチシーン、ＯＮ／ＯＦＦの灯りは記憶しません）

サブマスタを使用する場合にはフェーダ切替を以下のいずれかに設定してください。

フェーダ切替は、設定が変化する段のフェーダすべてが0レベル（一番手前）のとき切り換えることができます。

233248D

サブマスタに灯りを記憶する

操作場所

233248D

サブマスタに灯りを記憶する

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する
　　上段　サブマスタＬＥＤ　点灯
　　または上下段　サブマスタＬＥＤ　点灯

② プリセット、シーン、サブマスタで灯りをつくる

③ 記憶　記憶を押す
　　記憶ＬＥＤ　点灯
　　ボタン音　ピッ

④ 設定　サブマスタを押す
　　７セグ表示　（上段サブマスタ設定）１－１
　　　　（上下段サブマスタ設定）　１
　　ボタン音　ピッ
　　サブマスタ段フェーダＬＥＤ（仕込済）　橙点灯

⑤ 設定　▼　▲を押してサブマスタのページを選択する
　　７セグ表示　（上段サブマスタ設定）１－１～１５－２
　　　　（上下段サブマスタ設定）　１～１５
　　ボタン音　ピッ

⑥ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ
　　記憶するフェーダＬＥＤが消灯している場合
　　　記憶するサブマスタのフェーダ選択を押す
　　　フェーダＬＥＤ　橙点灯
　　　ボタン音　ピッ
　　記憶するフェーダＬＥＤが橙点灯している場合（上書き）
　　　記憶するサブマスタのフェーダ選択を押す
　　　フェーダＬＥＤ　赤点滅
　　　ボタン音　ピッピッ
　　　もう一度、記憶するサブマスタのフェーダ選択を押す
　　　フェーダＬＥＤ　橙点灯
　　　ボタン音　ピッ

⑦ 記憶　記憶を押し終了
　　記憶ＬＥＤ　消灯
　　ボタン音　ピッ

２３３２４８Ｄ

サブマスタに割込ませて灯りを記憶する

指定したサブマスタ番号の位置に割込ませて記憶する。割込み記憶位置以降のサブマスタシーン記憶位置は後ろにずれる。ページ内の割込み記憶位置以降にサブマスタフェーダの空きがない場合はこの操作はできません。他ページのサブマスタシーン記憶位置はそのままです。操作手順は、記憶の上書きと同じです。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する
　　上段　サブマスタＬＥＤ　　点灯
　　または上下段　サブマスタＬＥＤ　　点灯

② プリセット、シーン、サブマスタで灯りをつくる

③ 記憶　割込を押す
　　割込ＬＥＤ　　点灯
　　ボタン音　　ピッ

④ 設定　サブマスタを押す
　　７セグ表示　　（上段サブマスタ設定）１－１
　　　　　　　　　（上下段サブマスタ設定）　１
　　ボタン音　　ピッ
　　サブマスタ段フェーダＬＥＤ（仕込済）　橙点灯

⑤ 設定　▼　▲を押してサブマスタのページを選択する
　　７セグ表示　　（上段サブマスタ設定）１－１～１５－２
　　　　　　　　　（上下段サブマスタ設定）　１～１５
　　ボタン音　　ピッ

⑥ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　割込するサブマスタのフェーダ選択を押す
　　フェーダＬＥＤ　　橙点灯
　　ボタン音　　ピッ
　　ページに内に空きがない場合
　　ボタン音　　ピッ、ピッ、ピッ

⑦ 記憶　割込を押し終了
　　記憶ＬＥＤ　　消灯
　　ボタン音　　ピッ

＊割込で選択したサブマスタフェーダが０％（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダＬＥＤが赤点滅します。フェーダレベルを０に戻してください。
（保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します）

サブマスタを消去する

サブマスタを消去する

消去するサブマスタのページと番号を指定して消去します。操作手順は、記憶の上書きと同じです。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する
　上段　サブマスタＬＥＤ　点灯
　または上下段　サブマスタＬＥＤ　点灯

② ──（操作なし）

③ 記憶　消去を押す
　記憶ＬＥＤ　点灯
　ボタン音　ピッ

④ 設定　サブマスタを押す
　７セグ表示（サブマスタ上段のみ）１－１
　（サブマスタ上下段）１
　ボタン音　ピッ
　サブマスタ段フェーダＬＥＤ（仕込済）　橙点灯

⑤ 設定　▼　▲を押してサブマスタのページを選択する
　７セグ表示（サブマスタ上段のみ）１－１～１５－２
　（サブマスタ上下段）１～１５
　ボタン音　ピッ

⑥ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　消去するサブマスタのフェーダ選択を押す
　フェーダＬＥＤ　赤点滅
　ボタン音　ピッピッ
　（操作をキャンセルしたいときは、記憶　消去を押す）
　もう一度、消去するサブマスタのフェーダ選択を押す
　フェーダＬＥＤ　消灯
　ボタン音　ピッ

⑦ 記憶　消去を押し終了
　記憶ＬＥＤ　消灯
　ボタン音　ピッ

＊消去したサブマスタフェーダが０％（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダＬＥＤが赤点滅します。フェーダレベルを０に戻してください。
（保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します）

サブマスタをシフト消去する

消去した位置以降のシーンがひとつ手前にずれる。他ページのサブマスタシーン記憶位置はそのままです。操作手順は、記憶の上書きと同じです。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する
上段　サブマスタＬＥＤ　点灯
または上下段　サブマスタＬＥＤ　点灯

② ――（操作なし）

③ 記憶　シフト消去を押す
記憶ＬＥＤ　点灯
ボタン音　ピッ

④ 設定　サブマスタを押す
７セグ表示（上段サブマスタ設定）１－１
（上下段サブマスタ設定）　１
ボタン音　ピッ
サブマスタ段フェーダＬＥＤ（仕込済）　橙点灯

⑤ 設定　▼　▲を押してサブマスタのページを選択する
７セグ表示（上段サブマスタ設定）１－１～１５－２
（上下段サブマスタ設定）　１～１５
ボタン音　ピッ

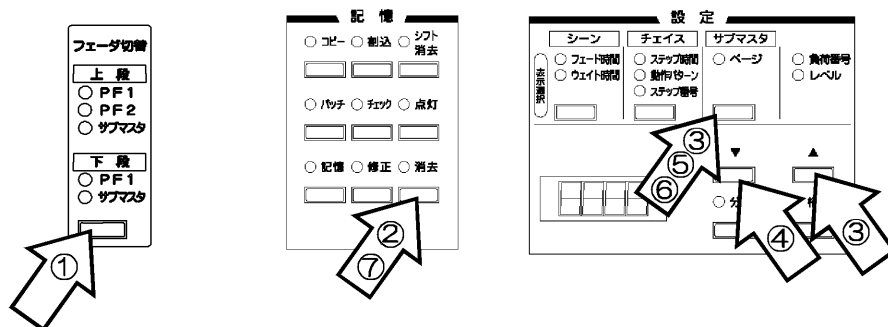
⑥ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　消去するサブマスタのフェーダ選択を押す
フェーダＬＥＤ　赤点滅
ボタン音　ピッピッ
（操作をキャンセルしたいときは、記憶　シフト消去を押す）
もう一度、消去するサブマスタのフェーダ選択を押す
フェーダＬＥＤ　右隣りのフェーダＬＥＤ点灯状態がシフトする
ボタン音　ピッ

⑦ 記憶　シフト消去を押し終了
記憶ＬＥＤ　消灯
ボタン音　ピッ

＊消去したサブマスタフェーダが０％（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダＬＥＤが赤点滅します。フェーダレベルを０に戻してください。
（保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します）

２３３２４８Ｄ

サブマスタをページ消去する

サブマスタをページ単位で消去します。

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段　サブマスタＬＥＤ　点灯
または上下段　サブマスタＬＥＤ　点灯

② 記憶　消去を押す

記憶ＬＥＤ　点灯
ボタン音　ピッ

③ 設定　サブマスタを押す

７セグ表示（上段サブマスタ設定）１－１
（上下段サブマスタ設定）　１
ボタン音　ピッ
サブマスタ段フェーダＬＥＤ（仕込済）　橙点灯

④ 設定　▼　▲を押してサブマスタのページを選択する

７セグ表示（上段サブマスタ設定）１－１～１５－２
（上下段サブマスタ設定）　１～１５
ボタン音　ピッ

⑤ 設定　サブマスタを押す

７セグ表示（上段サブマスタ設定）１－１～１５－２　点滅
（上下段サブマスタ設定）　１～１５　点滅
ボタン音　ピッピッ
（操作をキャンセルしたいときは、記憶　消去を押す）

⑥ 設定　もう一度、サブマスタを押す（ページのサブマスタがすべて消去）

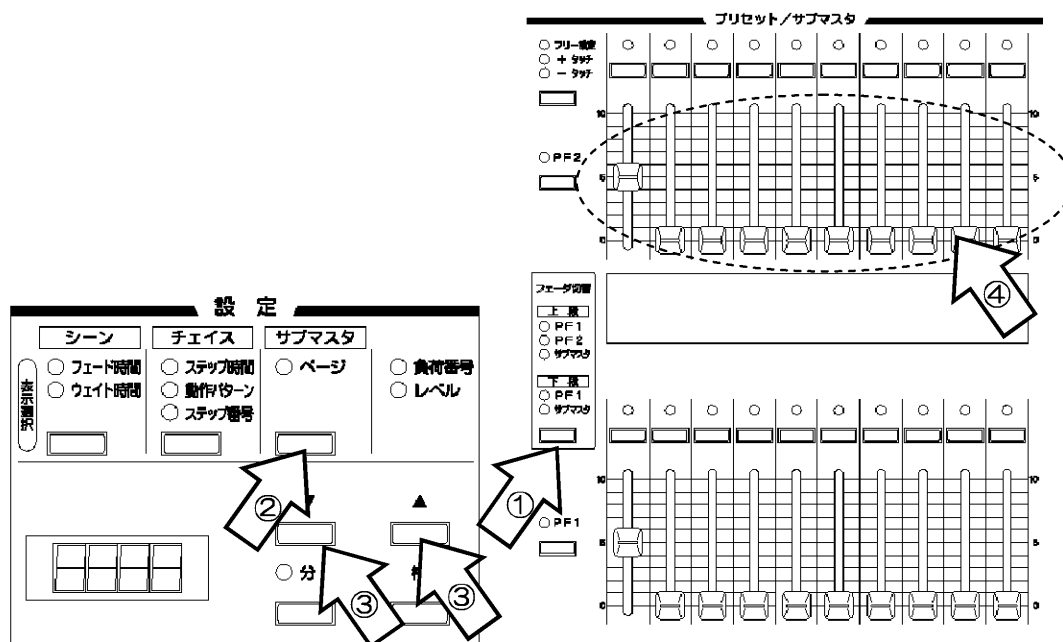
７セグ表示（上段サブマスタ設定）１－１～１５－２　点灯
（上下段サブマスタ設定）　１～１５　点灯
ボタン音　ピッ

⑦ 記憶　消去を押し終了

記憶ＬＥＤ　消灯
ボタン音　ピッ

＊消去したサブマスタフェーダが０％（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダＬＥＤが赤点滅します。フェーダレベルを０に戻してください。
（保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します）

２３３２４８Ｄ

サブマスタで灯りを出す

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段　サブマスタＬＥＤ	点灯
または　上下段サブマスタ	点灯

② 設定　サブマスタを押す

７セグ表示	（上段サブマスタ設定）	１－１
	（上下段サブマスタ設定）	１
ボタン音	ピッ	
サブマスタ段フェーダＬＥＤ（仕込済）	橙点灯	

③ 設定　▼　▲を押して再生するサブマスタのページを選択する

７セグ表示	（上段サブマスタ設定）	１－１～１５－２
	（上下段サブマスタ設定）	１～１５
ボタン音	ピッ	

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　再生するフェーダを上げる

＊ページを変更したとき、サブマスタフェーダが０％（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダＬＥＤが赤点滅します。フェーダレベルを０に戻してください。
（保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します）

233248D

サブマスタをタッチで点灯する

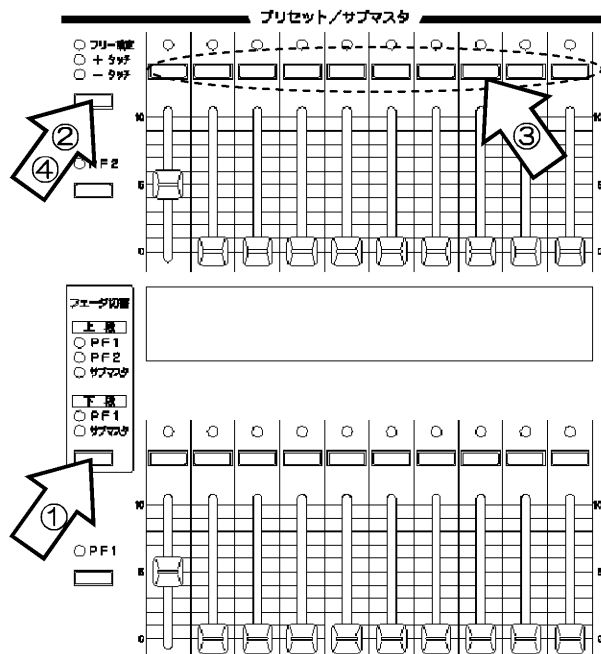
① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段　サブマスタＬＥＤ　点灯

または上下段　サブマスタＬＥＤ　点灯

② ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、「＋タッチ」または「－タッチ」を選択する

再生モードＬＥＤ　＋タッチ点灯

または

再生モードＬＥＤ　－タッチ点灯

③ タッチ点灯するサブマスタフェーダのフェーダ選択を押すと点灯

フェーダＬＥＤ　赤点灯

ボタン音　ピッ

タッチ動作を終了する時

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、再生モードＬＥＤを消灯する

再生モードＬＥＤ　消灯

ボタン音　ピッ

チェイスを使う

233248D

チェイスの機能

チェイスとは

　１つの灯りの状態をステップとして記憶します。いくつかのステップを一定間隔で繰り返し順次再生する動作をチェイスといいます。

　記憶する灯りは、プリセット、シーン、サブマスタで出している灯りです。（フリーフェーダ、チェイス、タッチスイッチ、ハウスライト、ワンタッチシーン、ＯＮ／ＯＦＦの灯りは記憶しません）

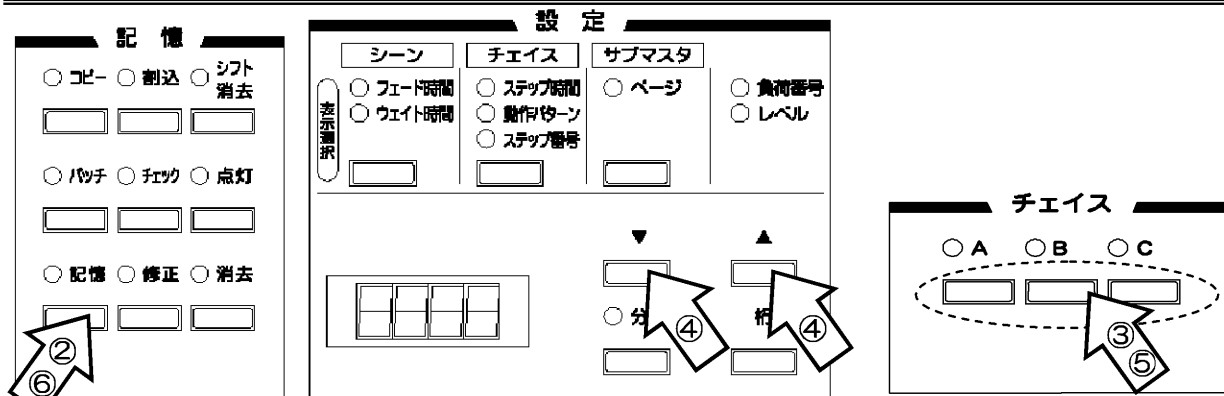
　ステップ数は、１パターンあたり２５ステップ
　　ステップ時間は、パターン単位で０．１秒～９９．９秒
　　動作パターンは、（７セグ表示は、動作パターン選択時、４桁目はパターン番号Ａ，ｂ、Ｃ）
　　　フォワード（ステップ番号の若い順に順次再生）
　　　　　　　　７セグ表示　１桁目　０
　　　リバース　（ステップ番号の大きいほうから小さい方へ順次再生）
　　　　　　　　７セグ表示　１桁目　１
　　　バウンズ　（フォワード動作に続けてリバース動作）
　　　　　　　　７セグ表示　１桁目　２
　　チェイス灯りの移り変わりは、
　　　フェード　（ステップ時間でフェード）
　　　　　　　　７セグ表示　２桁目　Ｆ
　　　カット（ステップ時間の切り替わりでカットチェンジ）
　　　　　　　　７セグ表示　２桁目　Ｃ
　となります。

チェイスは、Ａ，Ｂ，Ｃ　３パターンを同時に再生することができます。
（同じチェイスを同時に再生することはできません。）
チェイスは、チェイス選択ボタンでの再生、サブマスタでの再生ができます。サブマスタで再生する場合には、予め、チェイスをサブマスタへコピーする必要があります。
ボタン再生のチェイス灯りにはシーンマスタが掛かります。サブマスタ再生のチェイス灯りには掛かりません。

ひとつのチェイスは、一箇所でしか操作できません。
　＊例えば、
　　チェイス「Ａ」をチェイスパネルのチェイス選択ボタンで再生した場合、サブマスタでのチェイス「Ａ」を操作することはできません。
　　また、２本のサブマスタにチェイス「Ａ」をコピーした場合、一方のサブマスタで再生した
　チェイス「Ａ」を、もう片方のサブマスタ及びチェイス選択ボタンで操作することはできません。

２３３２４８Ｄ

チェイスに灯りを記憶する

チェイスに灯りを記憶する

プリセットとシーンを使って記憶する灯りを作り、チェイスのステップ番号を指定、
記憶するチェイスパターン（Ａ・Ｂ・Ｃ）を選択する。

① シーン・プリセット・サブマスタを使って灯りをつくる

② 記憶 記憶を押す。
記憶ＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ

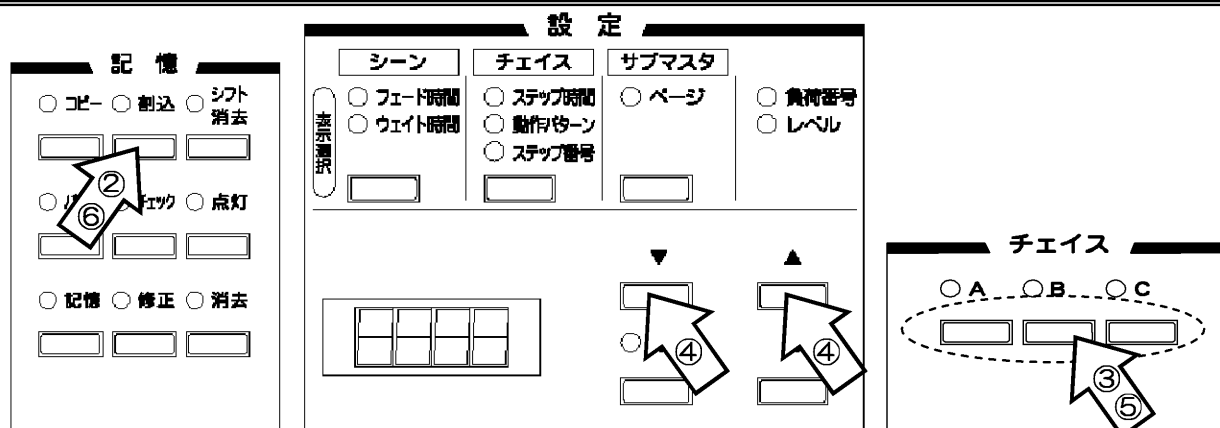
③ チェイス 記憶するチェイス選択（Ａ，Ｂ，Ｃ）を押す
選択したチェイスＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ

④ 設定 ▼ ▲を押してチェイスのステップ番号を選択する
７セグ表示 １～２５（記憶済み 点滅、記憶無し 点灯）
ボタン音 ピッ

⑤ チェイス ７セグ表示が点灯している場合
記憶するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
選択したチェイスＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ
７セグ表示が点滅している場合（上書き）
記憶するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
選択したチェイスＬＥＤ 点滅
ボタン音 ピッピッ
もう一度、記憶するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
選択したチェイスＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ

⑥ 記憶 記憶を押し終了
記憶ＬＥＤ 消灯
ボタン音 ピッ

２３３２４８Ｄ

チェイスのステップに割込ませて灯りを記憶する

プリセットとシーンを使って記憶する灯りを作り、チェイスのステップ番号を指定、記憶するチェイスパターン（Ａ・Ｂ・Ｃ）を選択する。

指定したステップ番号の位置に割込ませてチェイスを記憶する。割込み記憶位置以降のステップ記憶位置は後ろにずれる。割込み記憶位置以降にステップの空きがない場合はこの操作はできません。

① シーン・プリセット・サブマスタを使って灯りをつくる

② 記憶　割込を押す。
- 割込ＬＥＤ　点灯
- ボタン音　ピッ

③ チェイス　記憶するチェイス選択（Ａ，Ｂ，Ｃ）を押す
- 選択したチェイスＬＥＤ　点灯
- ボタン音　ピッ

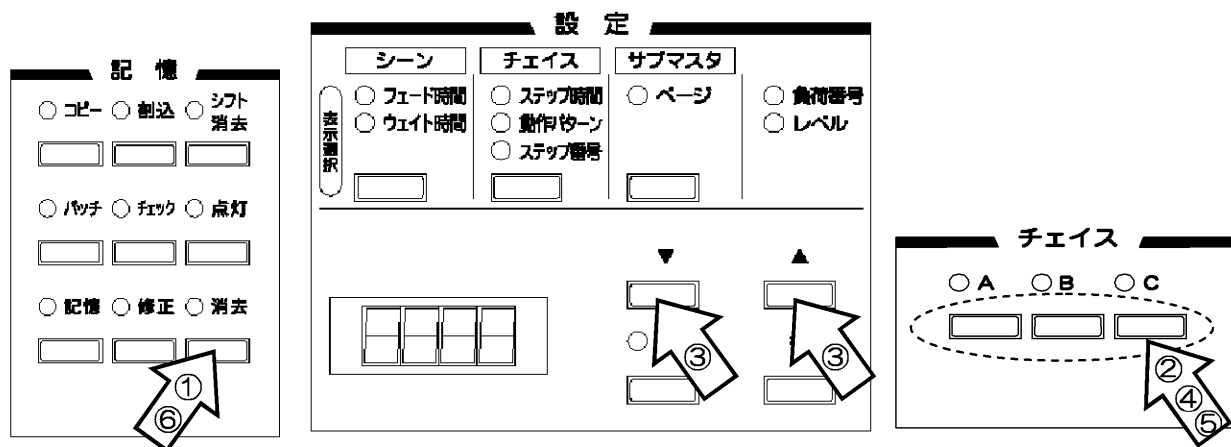
④ 設定　▼　▲を押してチェイスのステップ番号を選択する
- ７セグ表示　１～２５
- ボタン音　ピッ

⑤ チェイス　記憶するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
- 選択したチェイスＬＥＤ　点灯
- ボタン音　ピッ
- ステップに空きがない場合
- ボタン音　ピッピッピッ

⑥ 記憶　割込押し終了
- 割込ＬＥＤ　消灯
- ボタン音　ピッ

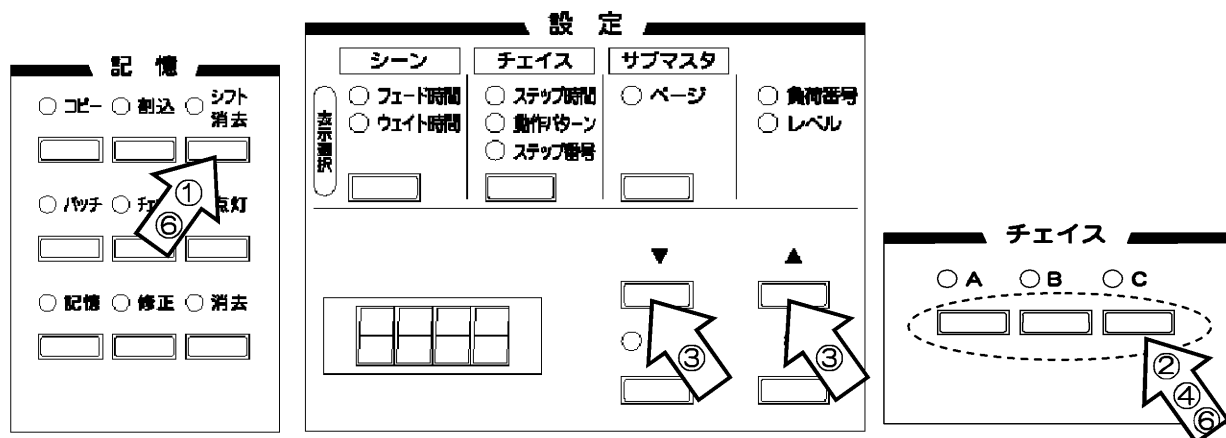
233248D

チェイスを消去する

チェイスのステップを消去する

チェイスのステップ番号を指定して消去する。

①　記憶　[消去]を押す	
消去ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ
②　チェイス　消去する[チェイス選択]（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す	
選択したチェイスＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ
③　設定　[▼]　[▲]を押してチェイスのステップ番号を選択する	
７セグ	１～２５
ボタン音	ピッ
④　チェイス　消去する[チェイス選択]（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す	
選択したチェイスＬＥＤ	点滅
ボタン音	ピッピッ
（操作をキャンセルしたいときは、記憶　[消去]を押す）	
⑤　チェイス　もう一度、消去する[チェイス選択]を押す	
選択したチェイスＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ
⑥　記憶　[消去]を押し終了	
消去ＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

２３３２４８Ｄ

チェイスのステップをシフト消去する

チェイスのステップ番号を指定して消去する。消去した位置以降のステップ記憶位置がひとつ手前にずれる。

① 記憶 シフト消去を押す
　シフト消去ＬＥＤ　点灯
　ボタン音　ピッ

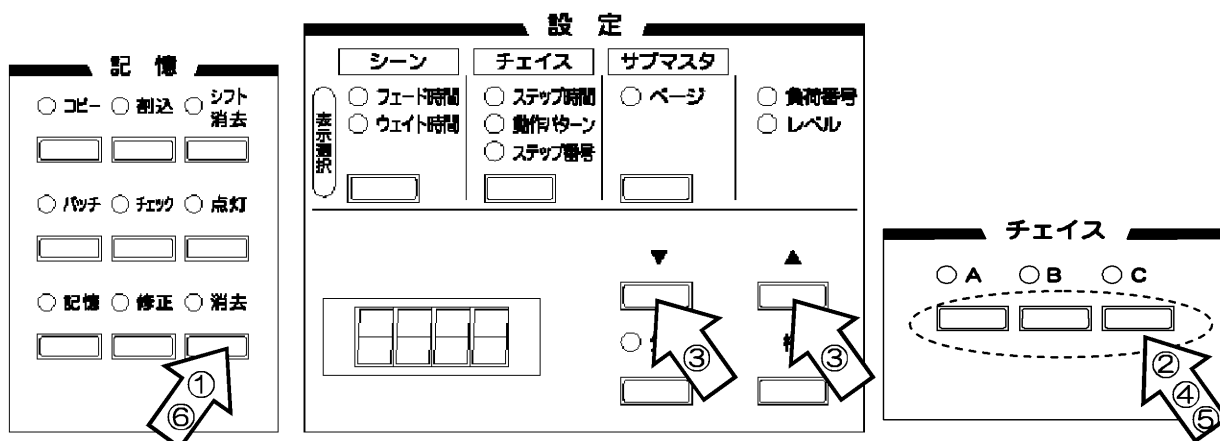
② チェイス 消去するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
　選択したチェイスＬＥＤ　点灯
　ボタン音　ピッ

③ 設定 ▼ ▲を押してチェイスのステップ番号を選択する
　７セグ表示　（Ａ，ｂ，Ｃ）１～２５
　ボタン音　ピッ

④ チェイス 消去するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
　選択したチェイスＬＥＤ　点滅
　ボタン音　ピッピッ
　（操作をキャンセルしたいときは、記憶 シフト消去を押す）

⑤ チェイス もう一度、消去するチェイス選択を押す
　選択したチェイスＬＥＤ　点灯
　ボタン音　ピッ

⑥ 記憶 シフト消去を押し終了
　シフト消去ＬＥＤ　消灯
　ボタン音　ピッ

２３３２４８Ｄ

チェイスのパターンを消去する

チェイスパターンを消去する。

① 記憶　消去を押す
　　消去ＬＥＤ　　　点灯
　　ボタン音　　　　ピッ

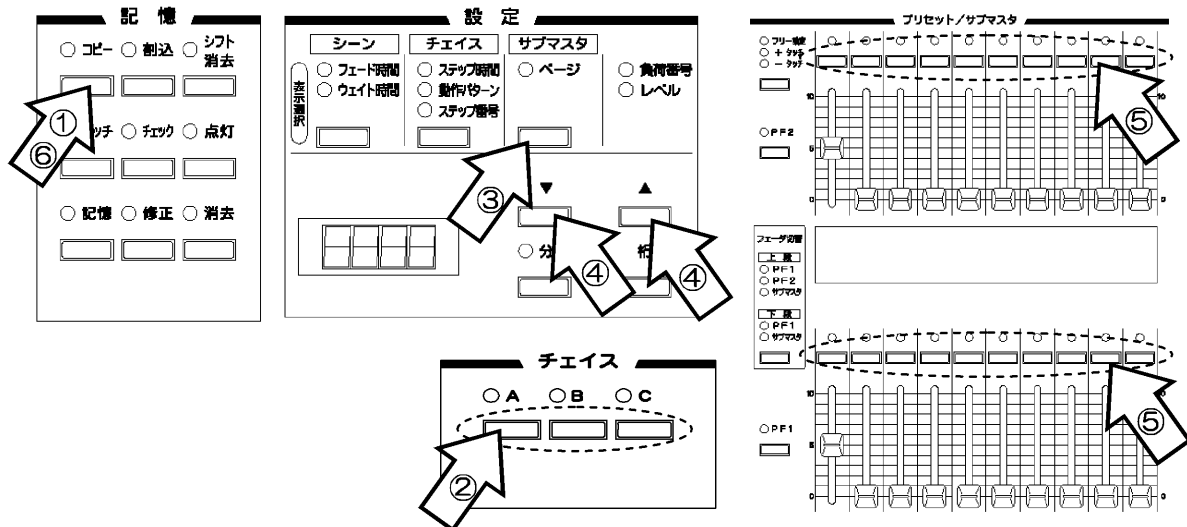
② チェイス　消去するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
　　選択したチェイスＬＥＤ　　　点灯
　　ボタン音　　　　ピッ

③ 設定　▼　▲を押してＡＬＬを選択する
　　７セグ表示　　　（Ａ，ｂ，Ｃ）ＡＬＬ
　　ボタン音　　　　ピッ

④ チェイス　消去するチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す
　　選択したチェイスＬＥＤ　　　点滅
　　ボタン音　　　　ピッピッ
　　（操作をキャンセルしたいときは、記憶　消去を押す）

⑤ チェイス　もう一度、消去するチェイス選択を押す
　　選択したチェイスＬＥＤ　　　点灯
　　ボタン音　　　　ピッ

⑥ 記憶　消去を押し終了
　　消去ＬＥＤ　　　消灯
　　ボタン音　　　　ピッ

チェイスをサブマスタにコピーする

① 記憶　コピーを押す

コピーＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

② チェイス　コピー元のチェイス選択（Ａ・Ｂ・Ｃ）を押す

選択したチェイスＬＥＤ	点滅
ボタン音	ピッ

③ 設定　サブマスタを押す

７セグ	１－１
ボタン音	ピッ
サブマスタ段フェーダＬＥＤ（仕込済）	橙点灯

④ 設定　▼　▲を押してコピー先のサブマスタのページを選択する

７セグ表示	１－１～１５－２
ボタン音	ピッ

⑤ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　コピー先サブマスタのフェーダＬＥＤが消灯している場合

コピー先のサブマスタのフェーダ選択を押す

選択したフェーダＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ

コピー先サブマスタのフェーダＬＥＤが橙点灯している場合（上書き）

コピー先のサブマスタのフェーダ選択を押す

選択したフェーダＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッピッ

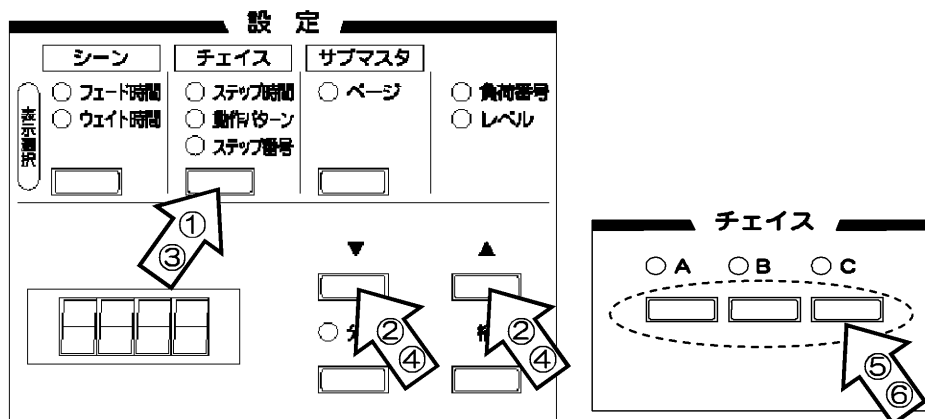
もう一度、コピー先のサブマスタのフェーダ選択を押す

選択したフェーダＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ

⑥ 記憶　コピーを押し終了

コピーＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

２３３２４８Ｄ

チェイスで灯りを出す

A，B，C　3パターンのチェイスを同時に再生することができます。

① 設定　チェイスを押しA，B，Cの「ステップ時間」を選択する

ステップ時間　点灯

7セグ表示　（A，b，C）　0．1～99．9

② 設定　▼　▲を押してステップ時間を決定する。

7セグ表示　（A，b，C）　0．1～99．9

③ 設定　チェイスを押しA，B，Cの「動作パターン」を選択する

動作パターン　点灯

7セグ表示　（A，b，C）　F0～F2／C0～C2

④ 設定　▼　▲を押して動作パターン設定する。

F0：フェードチェンジ、フォワード　C0：カットチェンジ、フォワード

F1：フェードチェンジ、リバース　C1：カットチェンジ、リバース

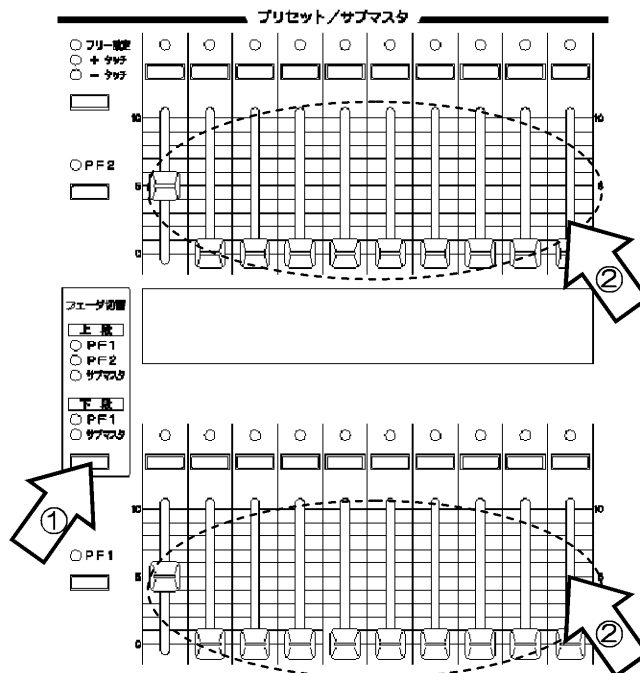
F2：フェードチェンジ、バウンズ　C2：カットチェンジ、バウンズ

⑤ チェイス　再生するチェイス選択（A・B・C）を押す（チェイスの灯りを再生する）

選択したチェイスLED　点灯

ボタン音　ピッ

⑥ チェイス　停止するチェイス選択（A・B・C）を押す（チェイスが灯りが消灯する）

選択したチェイスLED　点灯

ボタン音　ピッ

233248D

チェイスをサブマスタで点灯する

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「サブマスタ」又は上下段「サブマスタ」を選択する。

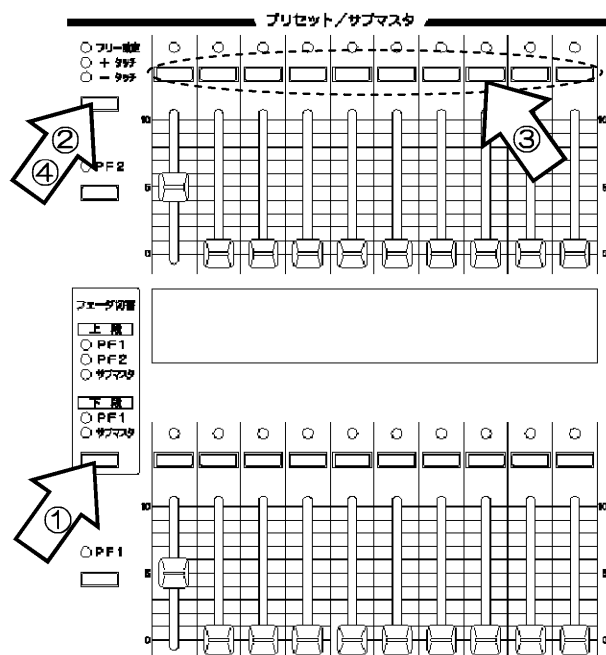
上下段　または　上段サブマスタＬＥＤ　　点灯

② ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　チェイスをコピーしたサブマスタフェーダを操作する

再生しているチェイスＬＥＤ　　点灯

（サブマスタフェーダが０％の時は消灯）

フェーダＬＥＤ　　赤調光

サブマスタへのチェイスのコピーは、Ｐ７０　を参照してください

２３３２４８Ｄ

チェイスをタッチで点灯する

① ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替を押し、上段「サブマスタ」又は上下段「サブマスタ」を選択する

　　上下段　または　上段サブマスタＬＥＤ　　　　点灯

② ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、「＋タッチ」または「－タッチ」を選択する

　　再生モードＬＥＤ　　＋タッチ点灯
　　または
　　再生モードＬＥＤ　　－タッチ点灯

③ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　チェイスをコピーしたサブマスタフェーダのフェーダ選択を押す（チェイスの灯りが点灯）

　　フェーダＬＥＤ　　赤点灯
　　ボタン音　　　　ピッ

タッチ動作を終了する時

④ ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択切替を押し、再生モードＬＥＤを消灯する

　　再生モードＬＥＤ　　消灯
　　ボタン音　　　　ピッ

サブマスタへのチェイスのコピーは、Ｐ70　を参照してください

２３３２４８Ｄ

シーン、サブマスタ、チェイスを編集する

233248D

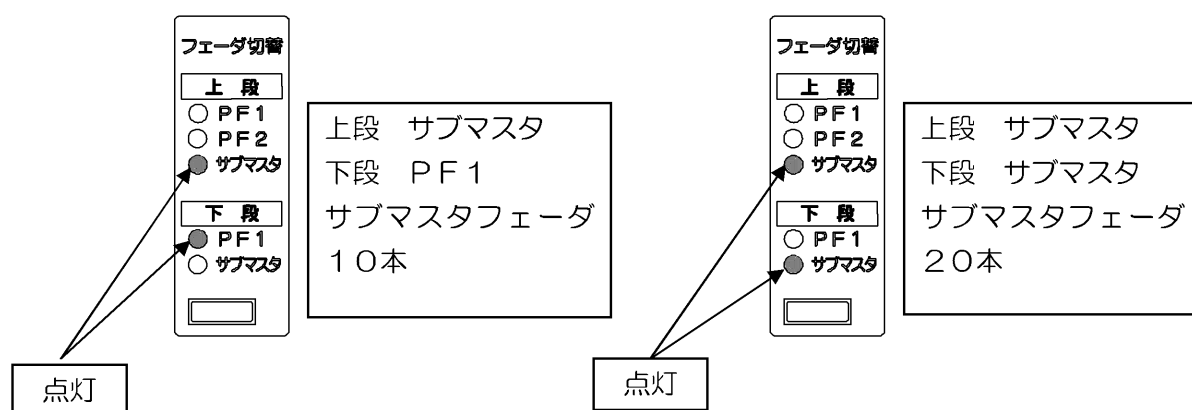
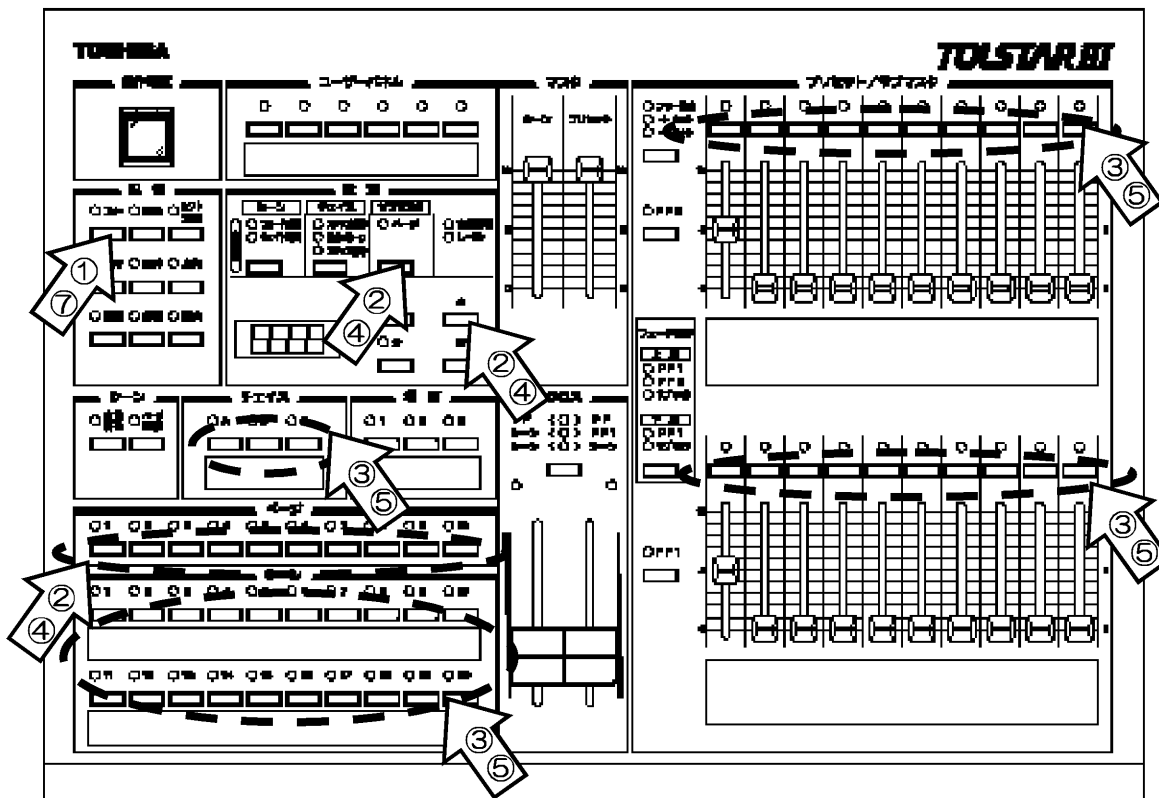
コピー機能

コピーとは

シーン、サブマスタに保存されている情報を別のシーン番号やサブマスタフェーダにコピーすることができます。
コピーできる範囲は以下の通りです。

シーン	から	シーン	へ	コピー
シーン	から	サブマスタ	へ	コピー
サブマスタ	から	サブマスタ	へ	コピー
サブマスタ	から	シーン	へ	コピー
チェイス	から	サブマスタ	へ	コピー

サブマスタへのコピー、サブマスタからのコピーをおこなう場合には、フェーダ切替を以下のいずれかに設定してください。

フェーダ切替は、設定が変化する段のフェーダすべてが0レベル（一番手前）のとき切り換えることができます。

コピーをする

サブマスタを使用する場合には、フェーダ切替を　上段「サブマスタ」、下段「ＰＦ１」または
上下段「サブマスタ」に設定してください。
チェイスは、サブマスタとチェイスにのみコピーできます。

① 記憶　コピーを押す
　　コピーＬＥＤ　　点灯
　　ボタン音　　ピッ

② コピー元のページを選択する。
　　＊シーンの場合
　　　シーン　ページ番号を押す。
　　　ページ番号ＬＥＤ　　赤点灯
　　　ボタン音　　ピッ
　　＊サブマスタの場合
　　　設定　サブマスタを押し、▼　▲で選択する。
　　　７セグ表示　　ページ番号
　　＊チェイスの場合　操作なし

③　コピー元を選択する。

＊シーンの場合

シーン　シーン番号を押す。

シーン番号ＬＥＤ	緑点滅
ボタン音	ピッ

＊サブマスタの場合

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択　を押す。

フェーダＬＥＤ	緑点滅
ボタン音	ピッ

＊チェイスの場合

チェイス　チェイス選択（Ａ、Ｂ、Ｃ）を押す。

チェイス選択ＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッ

④　コピー先のページを選択する

＊シーンの場合

シーン　ページ番号を押す。

ページ番号ＬＥＤ	赤点灯
シーン元　ページ番号ＬＥＤ	緑点滅
ボタン音	ピッ

＊サブマスタの場合

設定　サブマスタを押し、▼　▲で選択する。

７セグ表示　　ページ番号

＊チェイスの場合　操作なし

⑤　コピー先を選択する。

＊シーンの場合

シーン　シーン番号を押す。

既に記憶済みシーンのシーン番号ＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッピッ
未記憶シーンのシーン番号ＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ（記憶完了）

＊サブマスタの場合

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択　を押す。

既に記憶済みフェーダのフェーダＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッピッ
未記憶フェーダのフェーダＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ（記憶完了）

＊チェイスの場合

チェイス　チェイス選択（Ａ、Ｂ、Ｃ）を押す。

既に記憶済みチェイスのチェイス選択ＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッピッ
未記憶チェイスのチェイス選択ＬＥＤ	赤点灯
ボタン音	ピッ（記憶完了）

⑥　既に記憶済みのコピー先に上書き記憶する場合　⑤に続けて

＊シーンの場合

⑤と同じ　シーン　シーン番号をもう一度押す。（上書き）

シーン番号ＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ　（記憶完了）

＊サブマスタの場合

⑤と同じ　ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択　をもう一度押す。（上書き）

フェーダＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ　（記憶完了）

＊チェイスの場合

⑤と同じ　チェイス選択（Ａ、Ｂ、Ｃ）をもう一度押す。（上書き）

フェーダＬＥＤ	赤点灯
ボタン音	ピッ　（記憶完了）

---

⑦　記憶　コピーを押し終了

コピーＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

修正機能

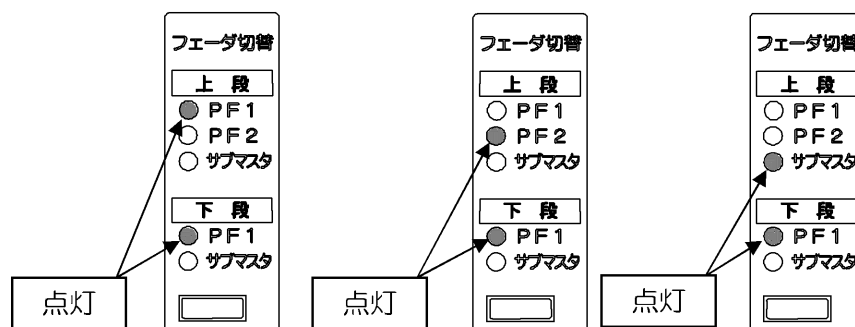
修正とは

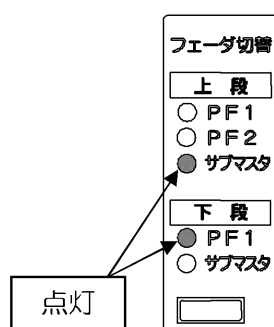
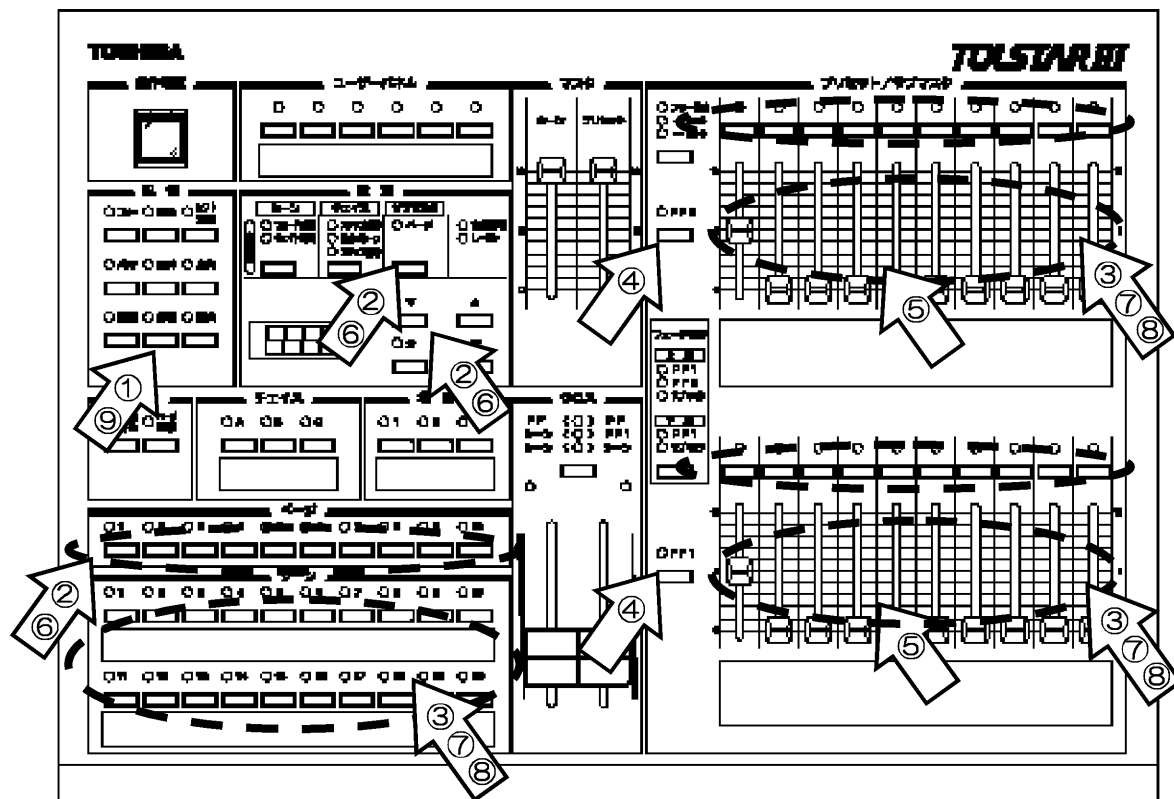
シーン、サブマスタに保存されている各灯りのレベルを修正することができます。
修正した灯りを修正前と同じシーン、サブマスタに保存することができます。また、修正した灯りを別のシーン、サブマスタに保存することもできます。

修正した灯りを保存できる範囲は以下の通りです。

シーン	を修正し	シーン	へ	保存
シーン	を修正し	サブマスタ	へ	保存
サブマスタ	を修正し	サブマスタ	へ	保存
サブマスタ	を修正し	シーン	へ	保存
チェイスステップ	を修正し	同じチェイスステップへ保存		

修正をおこなうときには、プリセットフェーダを使用します。
フェーダ切替をＰＦに設定しないと修正はできません。
フェーダ切替を以下の設定にして修正をしてください。

・シーンを修正しシーンへ保存する場合
・チェイスステップを修正し、同じチェイスステップへ保存する場合

・シーンを修正し、サブマスタへ保存する場合
・サブマスタを修正し、サブマスタへ保存する場合
・サブマスタを修正し、シーンへ保存する場合

２３３２４８Ｄ

シーン、サブマスタを修正する

サブマスタを使用する場合には、フェーダ切替を　上段「サブマスタ」、下段「ＰＦ１」にしてください。上下段とも「サブマスタ」の設定では修正はできません。
（修正に使用するプリセットフェーダがないため）

① 記憶　修正を押す

修正ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

---

② 修正する灯りのページを選択する。

＊シーンの場合

シーン　ページ番号を押す。

ページ番号ＬＥＤ	赤点灯
ボタン音	ピッ

＊サブマスタの場合

設定　サブマスタでページにし、▼　▲でページを選択する。

７セグ表示	ページ番号
ボタン音	ピッ

233248D

③ 修正する灯りを選択する。

＊シーンの場合

シーン　シーン番号を押す。

シーン番号ＬＥＤ　緑点滅

ボタン音　ピッ

＊サブマスタの場合

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択を押す。

フェーダＬＥＤ　緑点滅

ボタン音　ピッ

修正に使用する修正段のフェーダ切替ＬＥＤの状態

＊フェーダ切替　上下段ＰＦ１設定時

ＰＦ１ＬＥＤ、ＰＦ２ＬＥＤ　橙点滅

＊フェーダ切替　上段ＰＦ２、下段ＰＦ１設定時

修正段の　ＰＦ１ＬＥＤまたはＰＦ２ＬＥＤ　橙点滅

＊フェーダ切替　上段サブマスタ、下段ＰＦ１設定時

修正段の　ＰＦ１ＬＥＤ　橙点滅

---

④ 修正に使用するプリセットフェーダの段を変更する。

＊フェーダ切替　上下段ＰＦ１設定時（変更できない）

修正段はＰＦ１固定

＊フェーダ切替　上段ＰＦ２、下段ＰＦ１設定時

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　ＰＦ１　または　ＰＦ２　押す。

選択した　ＰＦ１ＬＥＤまたはＰＦ２ＬＥＤ　橙点滅

＊フェーダ切替　上段サブマスタ、下段ＰＦ１設定時（変更できない）

修正段はＰＦ１固定

---

⑤ 灯りを修正する。

フェーダの位置を保存位置とあわせてから修正する

＊プリセットフェーダの位置と保存位置が違っているとき

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤点滅（フェーダ位置不一致）

ＬＥＤが点滅しなくなる位置までフェーダを動かす

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光（一致した時点から）

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光

＊プリセットフェーダ位置と保存位置が同じとき

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光

---

⑥　保存先のページを選択する

*シーンの場合

シーン　ページ番号を押す。

選択した　ページ番号ＬＥＤ	赤点灯
コピー元　ページ番号ＬＥＤ	緑点滅
ボタン音	ピッ

*サブマスタの場合

設定　サブマスタでページにし、▼　▲でページを選択する。

７セグ表示	ページ番号

⑦　保存先を選択する。

*シーンの場合

シーン　シーン番号を押す。

既に記憶済みシーンのシーン番号ＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッピッ
未記憶シーンのシーン番号ＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ（記憶完了）

*サブマスタの場合

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択　を押す。

既に記憶済みフェーダのフェーダＬＥＤ	赤点滅
ボタン音	ピッピッ
未記憶フェーダのフェーダＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ（記憶完了）

⑧　既に記憶済みの記憶先に上書き記憶する場合　⑦に続けて

*シーンの場合

⑦と同じ　シーン　シーン番号を押す。

シーン番号ＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ（記憶完了）

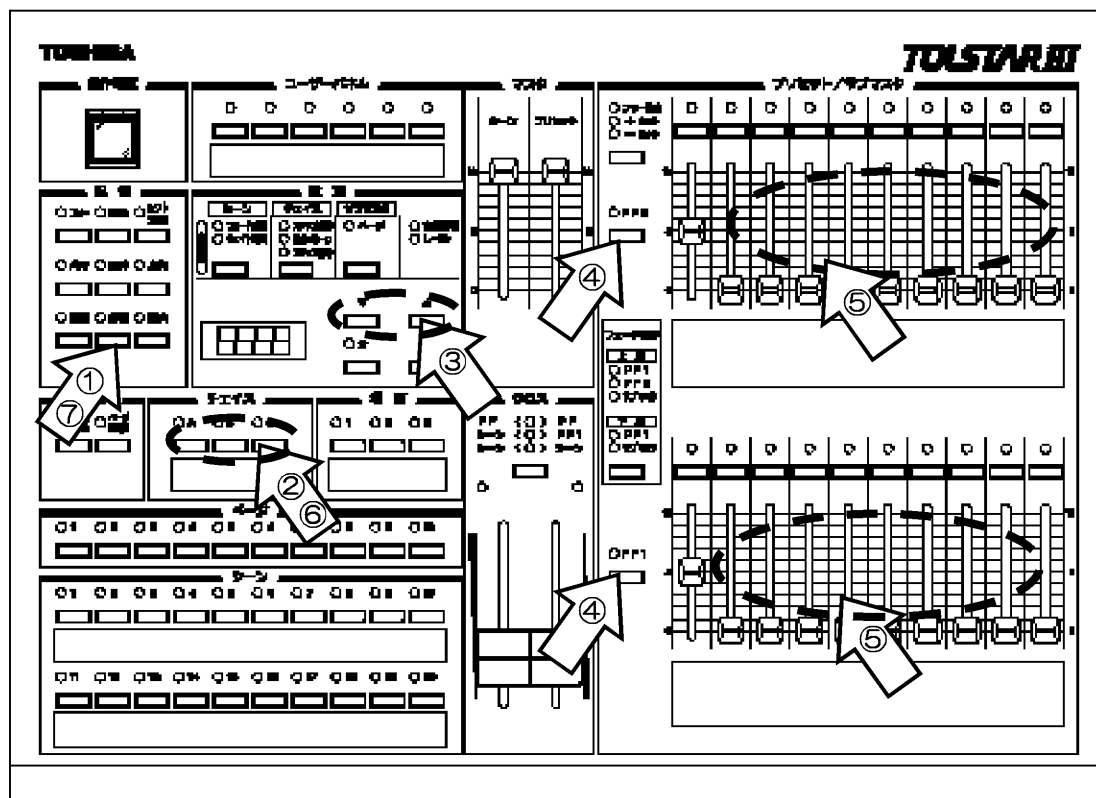
*サブマスタの場合

⑦と同じ　ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ選択　を押す。

フェーダＬＥＤ	橙点灯
ボタン音	ピッ（記憶完了）

⑨　記憶　修正を押し終了

修正ＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

チェイスステップを修正する

チェイスステップの修正は、フェーダ切替を上下段または下段に「ＰＦ１」に設定してください。

① 記憶 [修正]を押す

修正ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

② 修正するチェイスを選択する。

チェイス [チェイス選択]（Ａ，Ｂ，Ｃ）を押す。

選択したチェイス選択ＬＥＤ	赤点灯
ボタン音	ピッ

③ 修正するステップを選択する。

設定 [▼] [▲] を押す。

７セグ表示	ステップ番号（Ａ０１～Ｃ２５）

修正に使用する修正段のフェーダ切替ＬＥＤの状態

＊フェーダ切替　上下段ＰＦ１設定時

ＰＦ１ＬＥＤ、ＰＦ２ＬＥＤ	橙点滅

＊フェーダ切替　上段ＰＦ２、下段ＰＦ１設定時

修正段の　ＰＦ１ＬＥＤまたはＰＦ２ＬＥＤ	橙点滅

＊フェーダ切替　上段サブマスタ、下段ＰＦ１設定時

修正段の　ＰＦ１ＬＥＤ	橙点滅

２３３２４８Ｄ

④　修正に使用するプリセットフェーダの段を変更する。

＊フェーダ切替　上下段ＰＦ１設定時（変更できない）

修正段はＰＦ１固定

＊フェーダ切替　上段ＰＦ２、下段ＰＦ１設定時

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　［ＰＦ１］　または　［ＰＦ２］　押す。

選択した　ＰＦ１ＬＥＤまたはＰＦ２ＬＥＤ　橙点滅

＊フェーダ切替　上段サブマスタ、下段ＰＦ１設定時（変更できない）

修正段はＰＦ１固定

---

⑤　灯りを修正する。

＊プリセットフェーダの位置と保存位置が違っているとき

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤点滅

プリセットフェーダを保存時の位置に動かす（一致した時点から）

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光

＊プリセットフェーダ位置と保存位置が同じとき

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダＬＥＤ　赤調光

---

⑥　保存する。

修正中チェイスのチェイスＬＥＤ　赤点灯

点灯中のチェイス　［チェイス選択］（Ａ，Ｂ，Ｃ）を押す

選択したチェイス選択ＬＥＤ　赤点滅

ボタン音　ピッピッ

もう一度点灯中のチェイス　［チェイス選択］（Ａ，Ｂ，Ｃ）を押す

選択したチェイス選択ＬＥＤ　赤点灯

ボタン音　ピッ

---

⑦　記憶　［修正］を押し終了

修正ＬＥＤ　消灯

ボタン音　ピッ

233248D

ユーザーパネルを使う

233248D

ユーザーパネルを使う

ユーザーパネルの使い方

ユーザーパネルには、６個のボタンがあります。このボタンをＯＮ／ＯＦＦ再生、ハウスライト（客席灯り）再生、ワンタッチシーン再生の３種類で使用します。
操作電源を入れるときの操作で３種類の使い方のうち１種類を選択します。

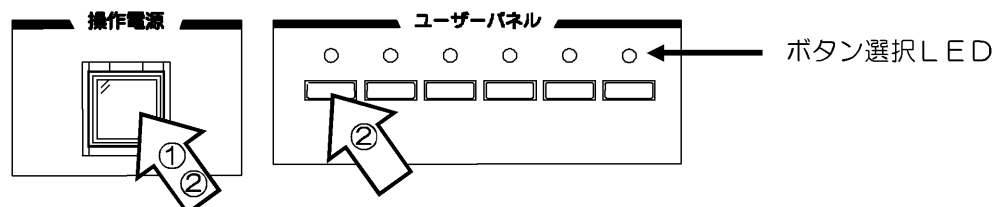
＊ＯＮ／ＯＦＦ
ＯＮ／ＯＦＦボタンにパッチされている負荷回路をＯＮ（１００%)、ＯＦＦ（0%）します。
一つの負荷をＯＮ／ＯＦＦとプリセットフェーダにパッチすることができます。

＊ハウスライト（客席灯り）
明、暗ボタンに記憶した灯りを再生します。
シーンとは別にハウスライト用のフェード時間で再生します。
止ボタンでフェード中の灯りを今の状態で保持します。
明、暗の再生灯りをマスタボタンで調整することができます。
（マスタボタンで操作した灯りは保存できません）

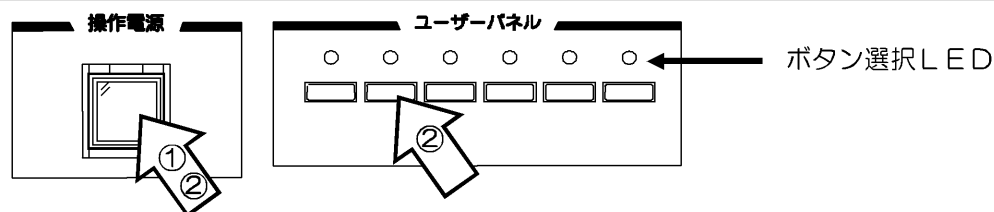
＊ワンタッチシーン
６個のシーンをボタンに記憶し、選択した１つをワンタッチシーンとして再生します。
ワンタッチシーンのフェード時間は、シーンのフェード時間と共通です。
ワンタッチシーンは、シーンマスタフェーダ、クロスモード切替ボタンに関係なく再生します。
他の灯りと重ねて再生した場合には、最も明るい灯りが有効になります。

２３３２４８Ｄ

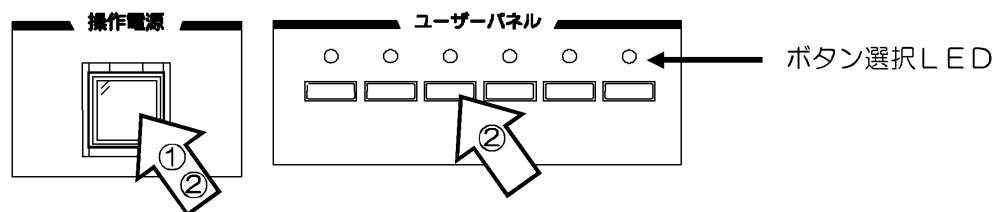
ユーザーパネルの使い方を選ぶ

ON／OFFに設定する

①　操作電源　操作電源を押し、操作電源をOFFします
　　　操作電源　　　　　　消灯

②　ユーザーパネル　　1　を押しながら、操作電源　操作電源を押す。
　　　操作電源　　　　　　点灯
　　　ボタン選択ＬＥＤ１　１秒間点灯

ハウスライト（客席灯り）に設定する

①　操作電源　操作電源を押し、操作電源をOFFします
　　　操作電源　　　　　　消灯

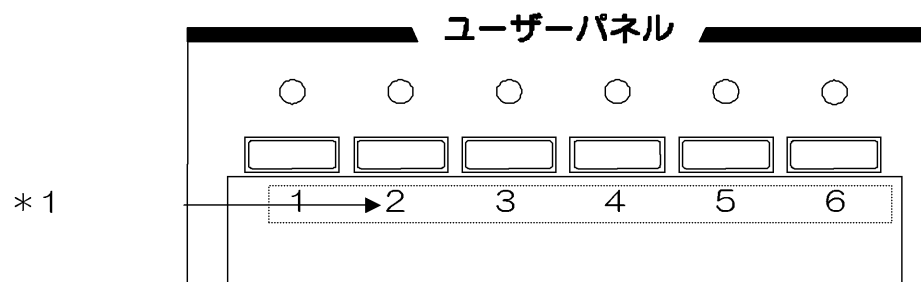
②　ユーザーパネル　　2　を押しながら、操作電源　操作電源を押す。
　　　操作電源　　　　　　点灯
　　　ボタン選択ＬＥＤ２　点灯

ワンタッチシーンに設定する

①　操作電源　操作電源を押し、操作電源をOFFします。
　　　操作電源　　　　　　消灯

②　ユーザーパネル　　3　を押しながら、操作電源　操作電源を押す。
　　　操作電源　　　　　　点灯
　　　ボタン選択ＬＥＤ３　１秒間点灯

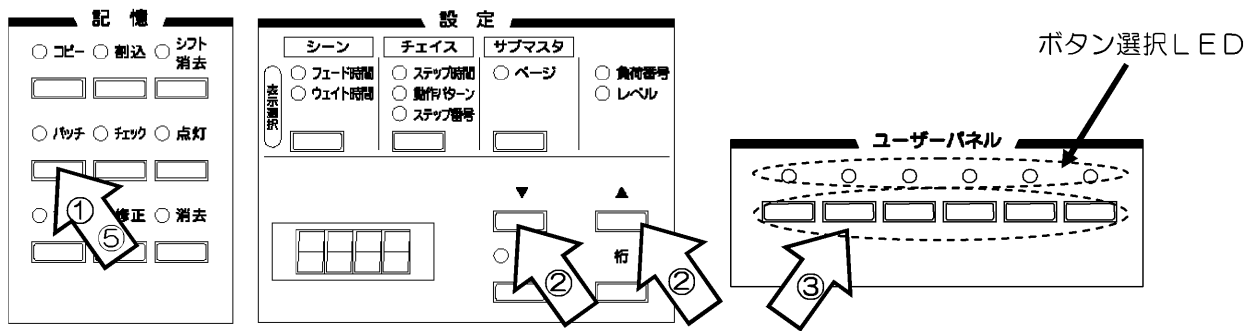
２３３２４８Ｄ

ON／OFF

ユーザーパネルをON／OFF使用します。
ON／OFFとしてユーザーパネルを使用する場合のボタンの割り付けは以下の通りです。

＊1　仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んで使用してください。

１～６　６個のボタン選択ボタンにパッチされている負荷回路をON（１００%）、OFF（0%）します。

233248D

ON／OFFボタンにパッチを仕込む

ON／OFFボタンに負荷を割付けます。まず、場面を選択しておきます。
デフォルト場面は１対１パッチ固定なので左から負荷番号２１～２６が割り付きます。デフォルト場面ではパッチを仕込むことはできません。
一つの負荷をON／OFFとプリセットフェーダにパッチすることができます。

① 記憶 パッチを押す
　パッチＬＥＤ　点灯
　７セグ表示　負荷番号（パッチしていない負荷番号の場合、点滅）
　ボタン選択ＬＥＤ　パッチ仕込みなしボタン　消灯
　　パッチ仕込み済みボタン　点灯
　　選択した負荷番号仕込み済みボタン　点滅
　ボタン音　ピッ

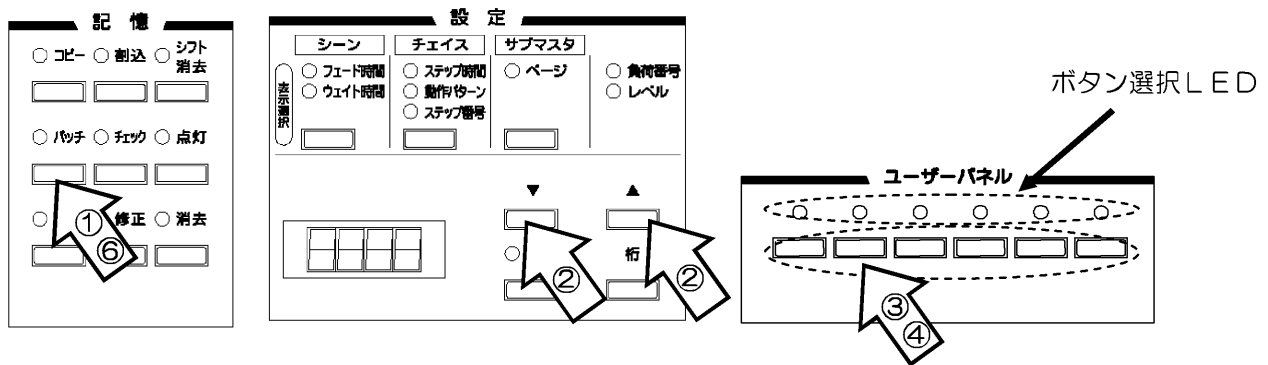
② 設定 ▼ ▲ を押して割付けたい負荷番号を選択
　７セグ表示　負荷番号（パッチしていない負荷番号の場合、点滅）

③ ユーザーパネル　負荷を仕込むボタンのボタン選択を押す
　既にパッチ済みの負荷番号を他のボタンにパッチした場合には
　（ボタン選択ＬＥＤ　点滅、ボタン音　ピッピッ）
　もう一度ボタン選択を押す
　７セグ表示　負荷番号表示（点灯）
　ボタン選択ＬＥＤ　パッチしたボタン　点滅
　ボタン音　ピッ

④ ②と③を繰り返し、必要な負荷をパッチする

⑤ 記憶 パッチを押す　パッチ作業終了
　パッチＬＥＤ　消灯
　ボタン音　ピッ

233248D

ON／OFFボタンのパッチを消去する

① 記憶 パッチを押す
　　パッチＬＥＤ　点灯
　　ボタン音　ピッ

② 設定 ▼ ▲を押して消去する負荷番号を選択
　　７セグ表示　負荷番号（点灯）

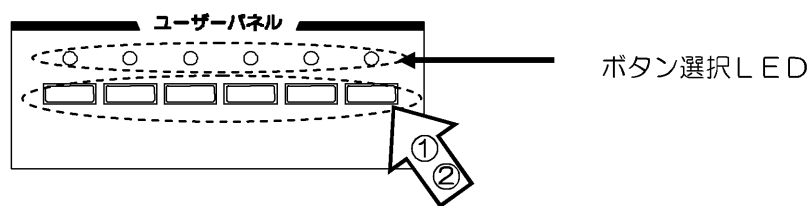
③ ユーザーパネル　ボタン選択ＬＥＤが点滅しているボタン選択を押す
　　ボタン選択ＬＥＤ　点滅
　　ボタン音　ピッピッ

④ ユーザーパネル　もう一度ボタン選択ＬＥＤが点滅しているボタン選択を押すと消去確定
　　ボタン選択ＬＥＤ　消灯（仕込なし）または点灯（他の仕込あり）
　　ボタン音　ピッ

⑤ ③から⑤を繰り返して負荷単位のパッチ消去をする

⑥ 記憶 パッチを押す　パッチの負荷単位消去終了
　　パッチＬＥＤ　消灯
　　ボタン音　ピッ

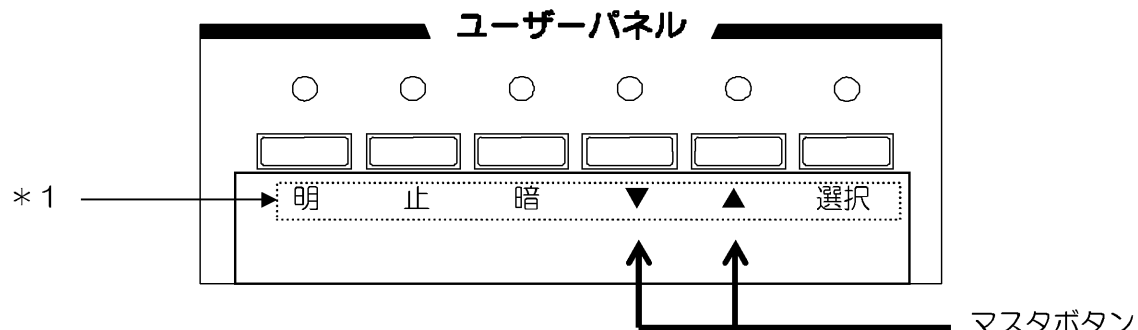
＊チェック、点灯の操作もプリセットフェーダへのパッチ同様におこなうことができます。

ON／OFFボタンで負荷を点灯／消灯する

①　点灯させる　ユーザーパネル　ボタン選択を押す
　　　パッチした負荷が点灯する
　　　パッチＬＥＤ　　　点灯
　　　ボタン音　　　　　ピッ

②　消灯させる　ユーザーパネル　ボタン選択を押す
　　　パッチした負荷が消灯する
　　　パッチＬＥＤ　　　点灯
　　　ボタン音　　　　　ピッ

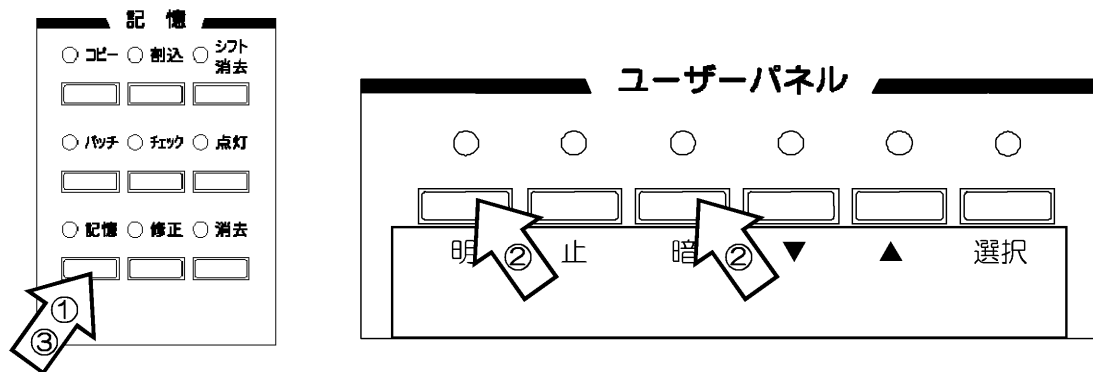
233248D

ハウスライト（客席灯り）

ハウスライトとしてユーザーパネルを使用する場合のボタンの割り付けは以下の通りです。

＊1　仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んで使用してください。

ハウスライトで操作した灯りは、シーン、サブマスタと同時に再生されます。
（同じ負荷を複数の操作で点灯した場合は、最も明るい灯りの状態になります。）

　客席の灯りを明と暗に記憶し、再生することで、シーン、サブマスタ等の演出とは独立して、客席の灯りだけを操作するこができます。

明、暗ボタンに灯りを記憶する

記憶する灯りを作り、明、暗を指定して記憶する。

① 記憶 記憶を押す

記憶ＬＥＤ	点灯
明、暗ＬＥＤ	点灯（記憶なし）または点灯（記憶済み）
止ＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

② ユーザーパネル

記憶する明または暗ＬＥＤが消灯している場合

記憶する 明 また 暗 を押す

選択した明または暗ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

記憶する明または暗ＬＥＤが点灯している場合（上書き）

記憶する 明 また 暗 を押す

選択した明または暗ＬＥＤ	点滅
ボタン音	ピッピッ

ＬＥＤが点滅している　ユーザーパネル 明 または 暗 を押す

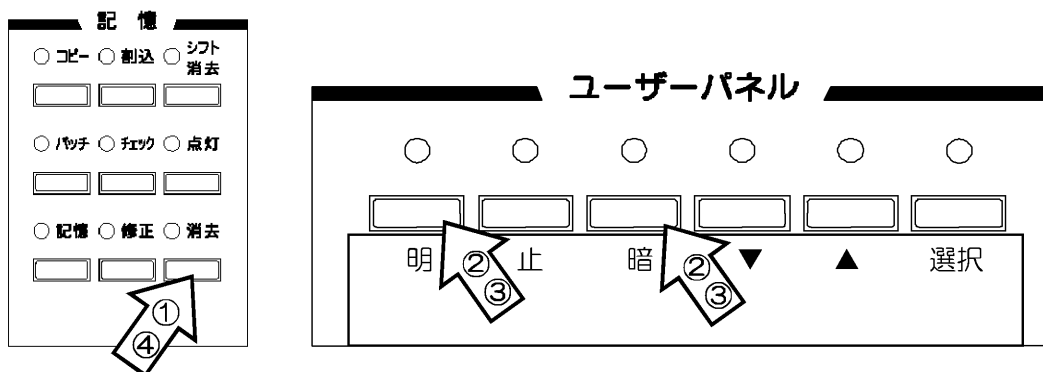
選択した明または暗ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

③ 記憶 記憶を押し終了

記憶ＬＥＤ	消灯
明、止、暗ＬＥＤ	再生の状態の表示に戻る
ボタン音	ピッ

＊明、暗の修正記憶もできます。

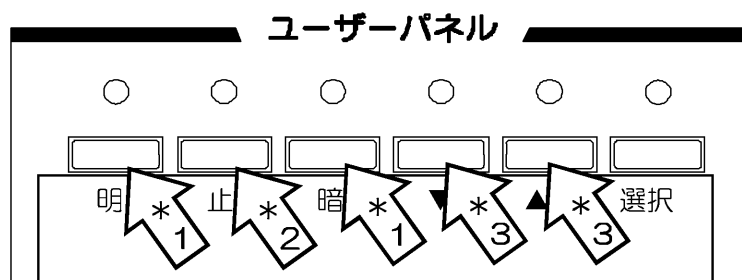
２３３２４８Ｄ

明、暗を消去する

① 記憶 消去を押す
　　記憶ＬＥＤ　点灯
　　明、止、暗ＬＥＤ　消灯
　　ボタン音　ピッ

② ユーザーパネル　消去する 明 または 暗 を押す
　　選択した明または暗ＬＥＤ　点滅
　　ボタン音　ピッピッ
　　（操作をキャンセルしたいときは、記憶　消去を押す）

③ ＬＥＤが点滅している　ユーザーパネル 明 または 暗 を押す
　　選択した明または暗ＬＥＤ　点灯
　　ボタン音　ピッ

④ 記憶 消去を押し終了
　　記憶ＬＥＤ　消灯
　　明、止、暗ＬＥＤ　再生の状態の表示に戻る
　　ボタン音　ピッ

明、止、暗のボタン再生で灯りを出す

明、暗ボタンを押すことで客席灯りを再生します。明、暗の切り替わりは、設定したフェード時間でフェードチェンジします。フェード時間を客席灯り専用で設定できます。
フェード中の灯りをその状態で止めることができます。▲▼ボタンで客席灯りの手動調整ができます。

＊１　明　または　暗の灯りを再生する

ユーザーパネル　[明]または[暗]を押す		
ボタン音		ピッ
選択した明または暗ＬＥＤ	フェード中	点滅
止ＬＥＤ	フェード中	消灯
選択した明または暗ＬＥＤ	フェード終了	点灯
止ＬＥＤ	フェード終了	点灯

＊２　フェード中に客席灯りの状態を固定する。

ユーザーパネル　[止]を押す	
ボタン音	ピッ
再生途中の明又は暗ＬＥＤ	点滅
止ＬＥＤ	点灯

＊３　客席灯りを手動で操作する

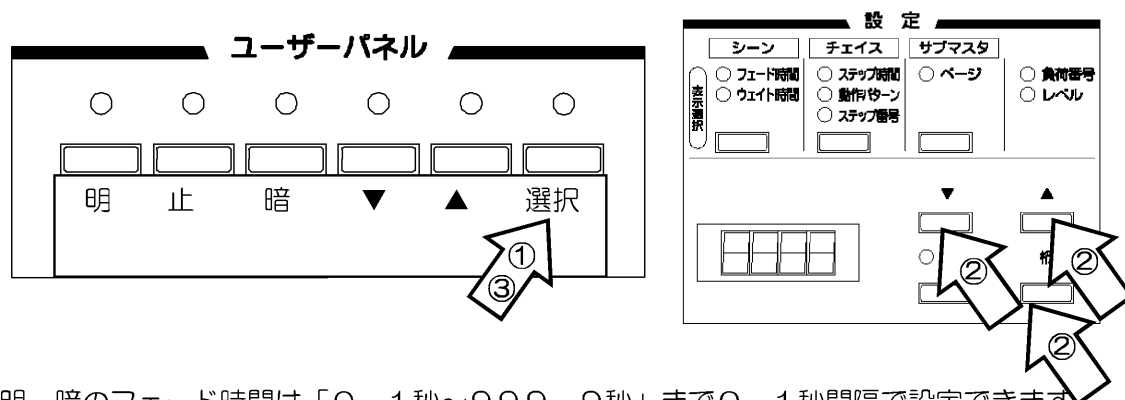
明、暗の灯りの状態から±１０段階で明るさを上下することができます。
（フェード中及び＊２の状態では手動操作はできません）

客席灯りを明るくする場合	ユーザーパネル　マスタボタン[▲]を押す
７セグ表示	調整レベルを１秒間表示（－１０～１０）
客席灯りを暗くする場合	ユーザーパネル　マスタボタン[▼]を押す
７セグ表示	調整レベルを１秒間表示（－１０～１０）

７セグ表示が１０のとき客席灯りは１００%点灯、－１０のとき0%（消灯）となります。７セグ表示が0のときは、調整する前の灯りです。

＊２、＊３の状態から＊１を操作すると明、暗の灯りの状態にもどります。

２３３２４８D

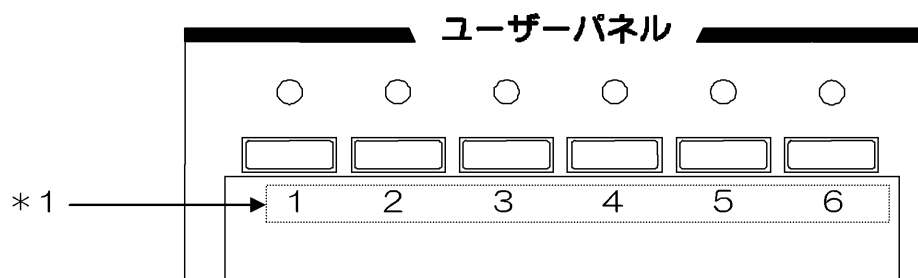
明、暗　再生のフェード時間を変更する

明、暗のフェード時間は「０．１秒～９９９．９秒」まで０．１秒間隔で設定できます。
ユーザーパネルの選択ボタンを押すことで客席灯りのフェード時間の変更、確認をします。

① ユーザーパネル　選択を押しながら
　　７セグ表示　　　　　（客席灯りの）フェード時間（秒）
　　フェード時間ＬＥＤ　　　　　　　　点灯

② （ユーザーパネル　選択を押しながら）
　　設定　▼　▲を押してフェード時間を０．１秒単位で変更
　　さらに桁を押しながら▼　▲を押すと１秒単位で変更
　　７セグ表示　　　　　（客席灯りの）フェード時間（秒）
　　フェード時間ＬＥＤ　　　　　　　　点灯

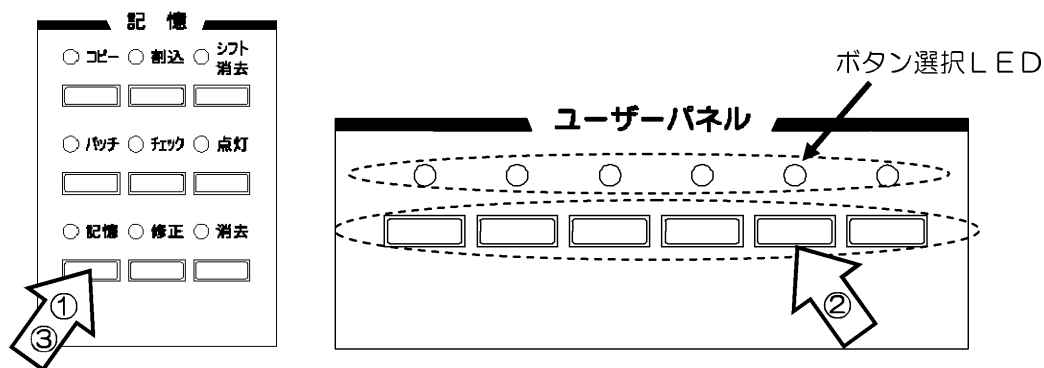
③ ユーザーパネル　選択を離す
　　７セグ表示　　　　　選択を押す前の表示にもどる

ワンタッチシーン再生をつかう

ユーザーパネルをワンタッチシーンで使用します。
ワンタッチシーンとしてユーザーパネルを使用する場合のボタンの割り付けは以下の通りです。

＊1　仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んで使用してください。

ワンタッチシーンで再生した灯りは、シーン、サブマスタと同時に再生されます。
（同じ負荷を複数の操作で点灯した場合は、最も明るい灯りの状態になります。）

　ワンタッチシーンによく使う灯りを記憶しておくことで、簡単な操作で灯りを再生することができます。

ワンタッチシーンに灯りを記憶する

記憶する灯りを作り、ボタン選択を指定して記憶する。

① 記憶 記憶を押す
記憶ＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ

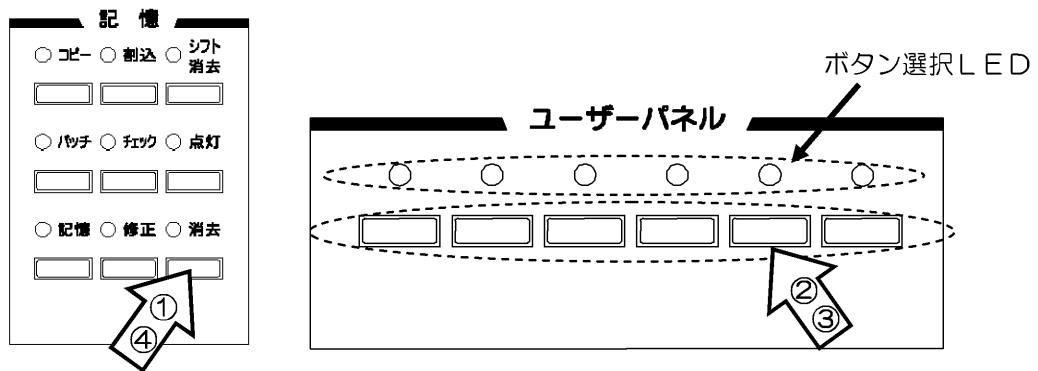
---

② ユーザーパネル
記憶するボタン選択ＬＥＤが消灯している場合
記憶するボタン選択を押す
選択したボタン選択ＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ
記憶するボタン選択ＬＥＤが点灯している場合（上書き）
記憶するボタン選択を押す
選択したボタン選択ＬＥＤ 点滅
ボタン音 ピッピッ
もう一度、ボタン選択を押す
選択したボタン選択ＬＥＤ 点灯
ボタン音 ピッ

---

③ 記憶 記憶を押し終了
記憶ＬＥＤ 消灯
ボタン音 ピッ

＊割込記憶、修正記憶、シーン、サブマスタへのコピーもできます。

233248D

ワンタッチシーンを消去する

① 記憶 消去を押す

記憶ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

② ユーザーパネル 消去するボタン選択を押す

選択したボタン選択ＬＥＤ	点滅
ボタン音	ピッピッ

（操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す）

③ ＬＥＤが点滅している ユーザーパネル ボタン選択を押す

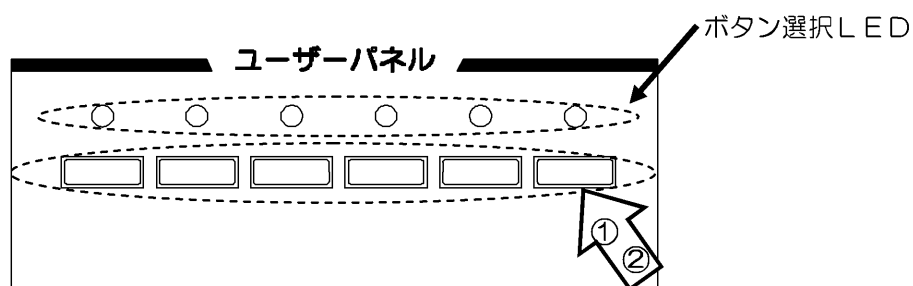
選択したボタン選択ＬＥＤ	点灯
ボタン音	ピッ

④ 記憶 消去を押し終了

記憶ＬＥＤ	消灯
ボタン音	ピッ

＊シフト消去もできます。

２３３２４８Ｄ

ワンタッチシーン再生で灯りを出す（消す）

ボタン選択のボタンを押すことでワンタッチシーン灯りを再生します。シーンの切り替わりは、設定したフェード時間でフェードチェンジします。フェード時間はシーンのボタン再生と共通です。

<u>複数のワンタッチシーンを同時に点灯することはできません。</u>
<u>再生中のワンタッチシーンのボタン選択を押すとそのシーン灯りは消灯します。</u>

① ユーザーパネル　再生するボタン選択を押す
　　選択したボタン選択ＬＥＤ　点灯
　　ボタン音　ピッ

② ユーザーパネル　消灯するボタン選択を押す
　　選択したシーン番号ＬＥＤ　消灯
　　ボタン音　ピッ

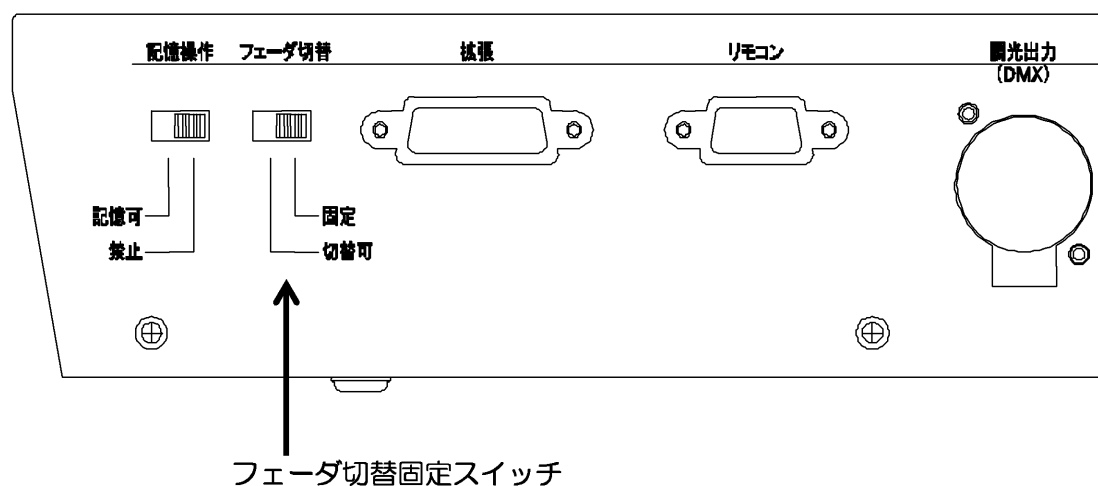
233248D

その他の機能

233248D

フェーダ切替　固定／切替可の設定

上下段２０本フェーダの使い方を固定する場合に設定します。

フェーダ切替固定スイッチ

① 背面パネル　フェーダ切替を「固定」側（右側）にする

ボタン音　ピッピッ

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替のボタンが無効になります。

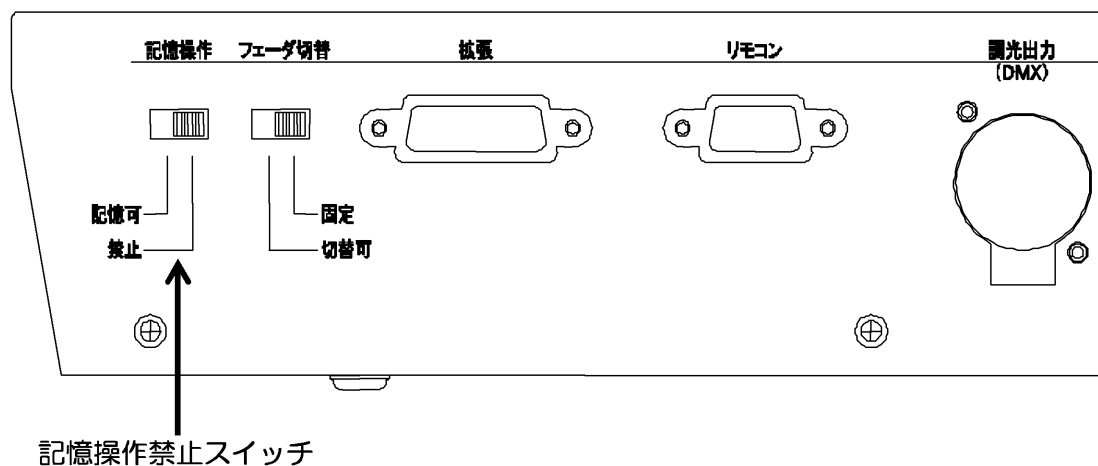
② 背面パネル　フェーダ切替を「切替可側」（左側）にする

ボタン音　ピッ

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ　フェーダ切替のボタンが有効になります。

233248D

記憶操作　禁止／記憶可の設定

記憶操作の禁止／切替可を設定します。
離席時や記憶データを保護しておく場合に使用します。

①　背面パネル　[記憶操作]を「禁止」側（右側）にする
　　ボタン音　ピッピッ
　以下の操作が無効になります。
　・記憶操作　[記憶] [修正] [消去] [パッチ] [シフト消去] [割込] [コピー]
　・プリセットのフリー設定
　禁止操作をおこなった場合
　　ボタン音　ピッピッピッ

---

②　背面パネル　[記憶操作]を「記憶可」（右側）にする
　　ボタン音　ピッ
　記憶操作が有効になります。

233248D

電源ＯＦＦ時に保持する情報

ＴＯＬＳＴＡＲ３の主電源をＯＦＦ後、もう一度ＯＮしたとき、以下の状態は保持されます。
ただし、操作の途中や、操作直後に電源をＯＦＦした場合には、保持されていない可能性があります。

・場面
・フェーダ切替のモード
・クロスフェーダのモード
・フリーフェーダの設定
・チェイスの動作パターン、ステップ時間
・シーンボタン再生のフェード時間
・ハウスライトのフェード時間
・シーン、サブマスタ、チェイス、ワンタッチシーン、ハウスライト　明、暗、パッチの記憶データ
・ユーザーパネルの設定
・ブザーのＯＮ／ＯＦＦ

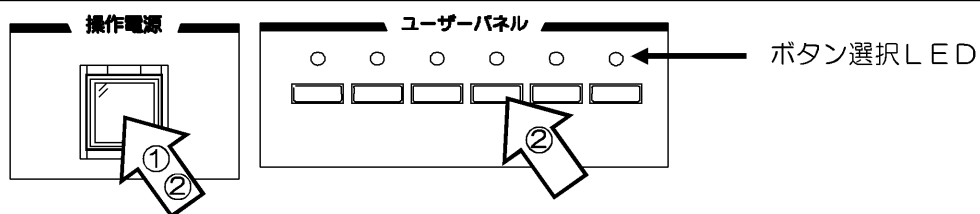
２３３２４８Ｄ

ブザー音について

ＴＯＬＳＴＡＲⅢには、操作確認のためにブザーがついています

ブザー（ボタン音）のなり方

設定や記憶が完了したとき		ピッ
上書きや消去など確認のとき		ピッピッ
無効な操作をしたとき		ピッピッピッ
記憶操作	禁止→記憶可	ピッピッ
フェーダ切替	固定→切替可	ピッピッ

ブザー音が鳴らないようにしたいときは

① 操作電源　操作電源を押し、操作電源をＯＦＦします

操作電源　消灯

② ユーザーパネル　４　を押しながら、操作電源　操作電源を押す。

元に戻すときも同じ操作です。

ブザーがなる設定の時は、操作電源　ON時にブザーが一回なります。

２３３２４８Ｄ

拡張ユニット
について

２３３２４８D

ＰＦユニットと客席調光ユニット

拡張ユニットの種類

別売りのＰＦユニット、客席調光ユニットを接続することで機能を追加することができます。

拡張ユニットの操作を有効にするためには、ＴＯＬＳＴＡＲⅢの設定を変更する必要があります。
「拡張ユニットの操作を有効にする（→P97)」を参照してください。

拡張ユニットをＴＯＬＳＴＡＲⅢに接続する手順は、「拡張ユニットをつなぐ（→P98)」を参照してください。

拡張ユニットには、以下の５種類があります。

- ・ＰＦユニット　20×2　　形式　ＴＲＤＭ３－２０Ｊ－２Ｐ　（20本×２段）
- ・ＰＦユニット　30×2　　形式　ＴＲＤＭ３－３０Ｊ－２Ｐ　（30本×２段）
- ・ＰＦユニット　20×3　　形式　ＴＲＤＭ３－２０Ｊ－３Ｐ　（20本×３段）
- ・ＰＦユニット　30×3　　形式　ＴＲＤＭ３－３０Ｊ－３Ｐ　（30本×３段）
- ・客席調光ユニット　　型式　ＴＲＤＭ３－５Ｊ－ＨＬ

ＰＦユニットは、２台まで接続することができます。ただし、２段タイプと３段タイプを併用することはできません。客席調光ユニットは、ＰＦユニットの有無に関係なく、１台接続することができます。

拡張ユニットを接続したときの注意点

拡張ユニットと組み合わせることでＴＯＬＳＴＡＲⅢの動作が変わる部分があります。

（１）パッチ

ＴＯＬＳＴＡＲⅢの開封時と拡張ユニットの有効、無効を切り換えた直後のデフォルト場面、場面１～３のパッチは下表の通りです。すべて、１対１パッチ（→Ｐ29）です。

ＴＯＬＳＴＡＲⅢの設定	プリセットフェーダ負荷番号	ON/OFF ボタン負荷番号	客席調光フェーダ負荷番号
開封時　設定（拡張ユニット無効）	１～２０	２１～２６	無し
拡張ユニット　有効	１～１８０	１９１～１９８	負１８１～１８６

（２）２段ＰＦユニット（ＰＦユニット２０×２、３０×２）を接続した場合

①ＴＯＬＳＴＡＲⅢの２０本フェーダの設定（フェーダ切替）

ＴＯＬＳＴＡＲⅢのフェーダ切替は上段「サブマスタ」、下段「ＰＦ１」に設定できません。

②プリセットフェーダの本数

ＰＦユニットの構成	ＴＯＬＳＴＡＲⅢのフェーダ切替の設定	
	サブマスタ	サブマスタ以外
20×2　１台	４０本1段 又は ２０本2段	６０本1段 又は ３０本2段
30×2　１台	６０本1段 又は ３０本2段	８０本1段 又は ４０本2段
20×2　２台	８０本1段 又は ４０本2段	１００本1段 又は ５０本2段
20×2　＋　30×2	１００本1段 又は ５０本2段	１２０本1段 又は ６０本2段
20×3　２台	１２０本1段 又は ６０本2段	１４０本1段 又は ７０本2段

（３）3段ＰＦユニット（ＰＦユニット２０×３、３０×３）を接続した場合

①ＴＯＬＳＴＡＲⅢの２０本フェーダの設定（フェーダ切替）

ＴＯＬＳＴＡＲⅢのフェーダ切替は、上段、下段ともに「サブマスタ」の固定設定になります。

プリセットフェーダの１段、３段の切り換えは、ＰＦユニットの 一段切替 でおこないます。

②プリセットフェーダの本数

ＰＦユニットの構成	フェーダ切替の設定
20×3　１台	６０本1段 又は ２０本3段
30×3　１台	９０本1段 又は ３０本3段
20×3　２台	１２０本1段 又は ４０本3段
20×3　＋　30×3	１５０本1段 又は ５０本3段

③プリセットフェーダのクロス再生

ＴＯＬＳＴＡＲⅢのクロスモード切替を「ＰＦ１－ＰＦ２」に設定することで、ＰＦ１、ＰＦ２、ＰＦ３の任意の段をクロスフェーダに割りつけて灯りを出すことができます。

（４）客調ユニットを接続した場合

①ユーザーパネルの設定

ユーザーパネルの設定は、「ワンタッチシーン」固定となります。

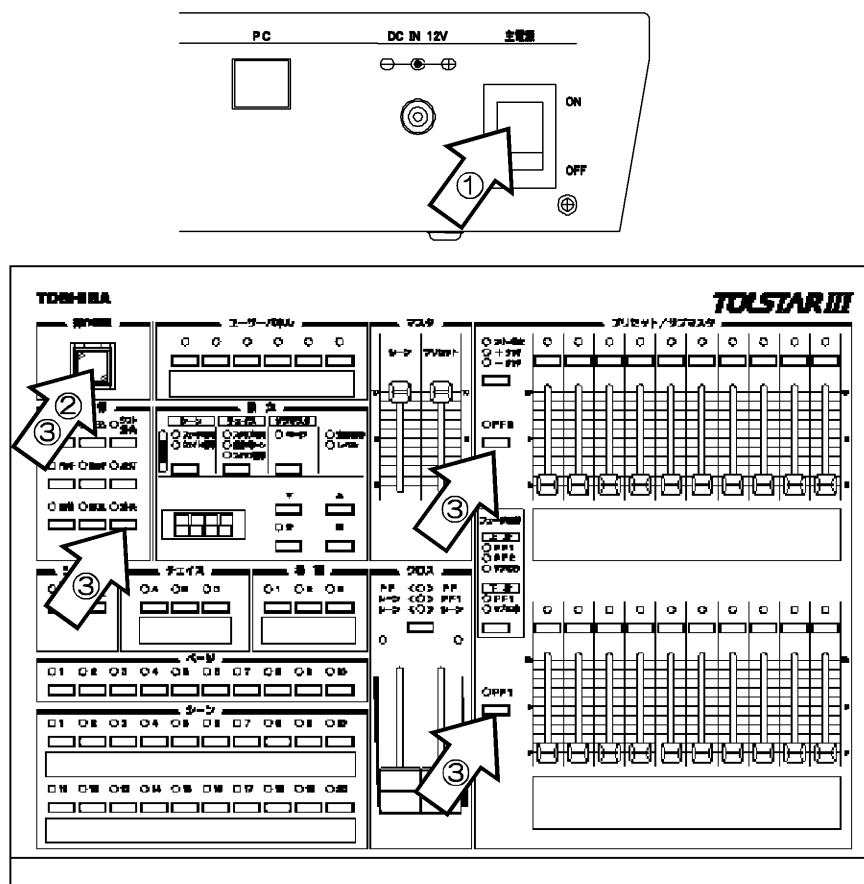
客席調光とＯＮ／ＯＦＦスイッチの操作は、客席調光ユニットでおこないます。

各ユニットの操作方法については、各ユニット付属の取扱説明書をご参照ください。

拡張ユニットの操作を有効にする

拡張ユニットの操作を有効にする

拡張ユニットを使用する前に、以下の操作をおこなってください。

注意：以下の操作を実施すると保存したデータはすべて消去されます。
　　　ＴＯＬＳＡＴＲⅢは、開封時、拡張ユニットが動作しないモード（ＴＯＬＳＴＡＲⅢが単体で動作するモード）に設定されています。拡張ユニットを接続する前に必ず以下の操作をおこない、拡張ユニットが動作するモードに設定してください。

① 背面スイッチの主電源をONにする。

② 操作電源　操作電源スイッチＬＥＤが消灯している場合は、③へ
　　　操作電源スイッチＬＥＤが点灯している場合は操作電源スイッチを押す
　　　操作電源スイッチＬＥＤ　　　　　　消灯

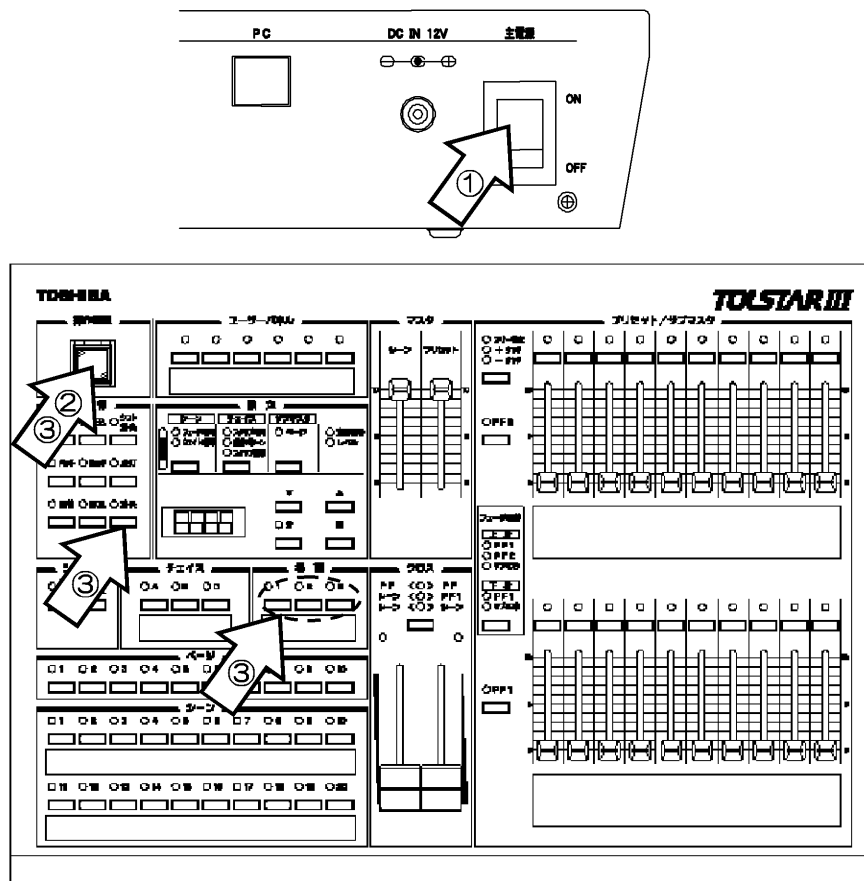
③ 拡張ユニットを有効にする

ﾌﾟﾘｾｯﾄ/ｻﾌﾞﾏｽﾀ	ＰＦ１、ＰＦ２　と	
記憶	消去　の３つのボタンを押しながら、	
操作電源	操作電源スイッチを押す	
操作電源	操作電源スイッチＬＥＤ	消灯
設定	７セグ表示	OPOn を表示（１秒）

２３３２４８Ｄ

拡張ユニットの操作を無効にする

拡張ユニットが動作しないモード（ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体が単体で動作するモード）に戻す場合は、以下の操作をおこなってください。

注意：以下の操作を実施すると保存したデータはすべて消去されます。
ＴＯＬＳＡＴＲⅢは、開封時、拡張ユニットが動作しないモード（ＴＯＬＳＴＡＲⅢが単体で動作するモード）に設定されています。拡張ユニットの操作を有効にした後（←Ｐ97）、開封時の状態に戻したいときに以下の操作を実施してください。

① 背面スイッチの主電源をONにする。

② 操作電源　操作電源スイッチＬＥＤが消灯している場合は、③へ
操作電源スイッチＬＥＤが点灯している場合は操作電源スイッチを押す
操作電源スイッチ　ＬＥＤ　　消灯

③ 拡張ユニットを無効にする
場面　1、2、3と
記憶　消去　の４つのボタンを押しながら、操作電源スイッチを押す
設定　７セグ表示　　　OPOF を表示（１秒）

233248D

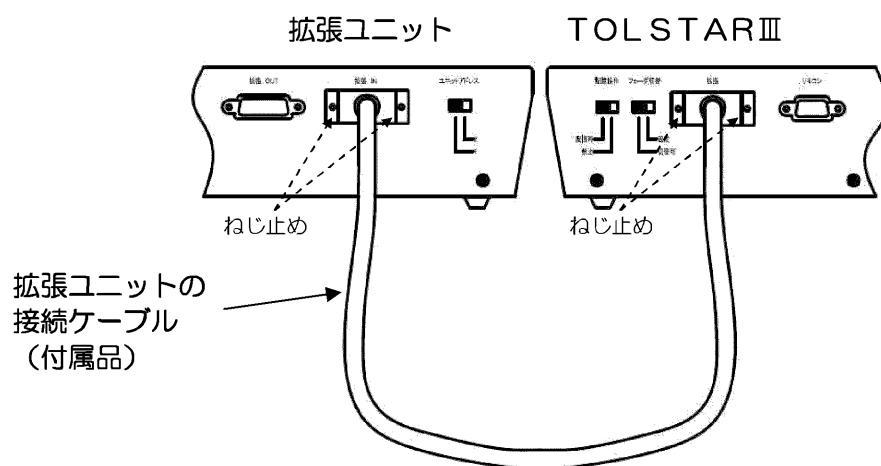
拡張ユニットをつなぐ

警　　告

・配線を接続するときは、ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体の主電源をＯＦＦし、電源ケーブルをコンセント（ＡＣ１００Ｖ）につながないでください。
感電・故障の恐れがあります。

ＴＯＬＳＴＡＲⅢと拡張ユニット１台をつなぐ場合

ＴＯＬＳＴＡＲⅢの拡張コネクタと拡張ユニットの拡張ＩＮコネクタ間を接続ケーブルでつなぎます。
接続ケーブルは本体にねじ止めしてください。

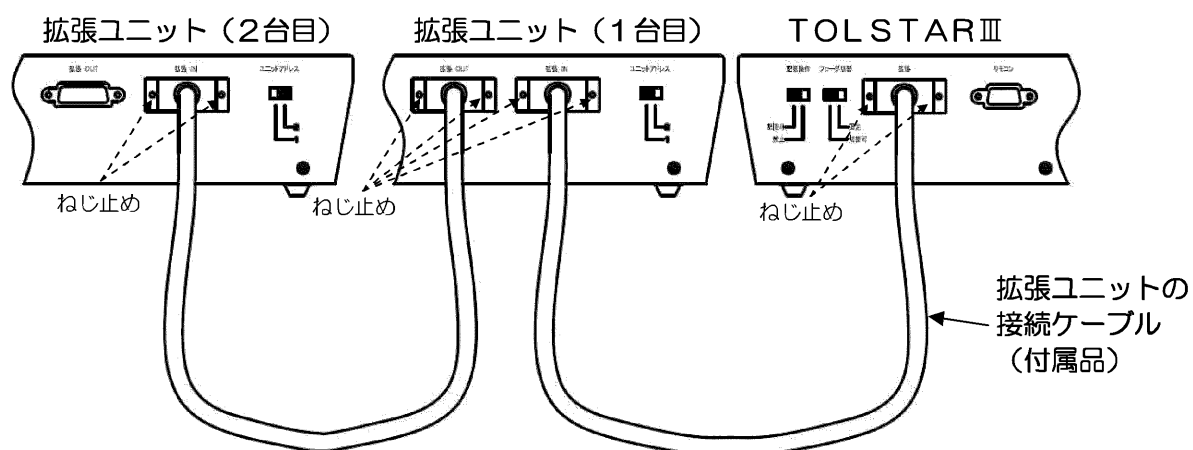
２３３２４８Ｄ

拡張ユニットを複数台つなぐ場合

ＴＯＬＳＴＡＲⅢには、最大３台の拡張ユニットを接続できます。
ＰＦユニットは、２台まで接続することができます。ただし、２段タイプと３段タイプを併用することはできません。客席調光ユニットは、ＰＦユニットの有無に関係なく、１台接続することができます。

⚠ 警　告

・配線を接続するときは、ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体の主電源をＯＦＦし、電源ケーブルをコンセント（ＡＣ１００Ｖ）につながないでください。
感電・故障の恐れがあります。

ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体の拡張コネクタと１台目の拡張ユニットの拡張ＩＮコネクタをつなぎ、順次、１台目の拡張ＯＵＴコネクタと２台目の拡張ＩＮコネクタ、２台目の拡張ＯＵＴコネクタと３台目の拡張ＩＮコネクタをつなぎます。

ＰＦユニットを２台接続して使用する場合、ユニットアドレスの設定が必要となります。
１台目のＰＦユニットはユニットアドレススイッチを【1】に、２台目のＰＦユニットは【2】に設定してください。
2段ＰＦユニット使用時は、ＰＦ２０×２又はＰＦ３０×２の組み合わせで接続してください。
3段ＰＦユニット使用時は、ＰＦ２０×３又はＰＦ３０×３の組み合わせで接続してください。2段ＰＦユニット（ＰＦ２０×２、ＰＦ３０×２）と3段ＰＦユニット（ＰＦ２０×３、ＰＦ３０×３）は接続できません。

注意：ユニットアドレススイッチの操作はＴＯＬＳＴＡＲⅢの主電源をＯＦＦにして行ってください。

２３３２４８Ｄ

ＰＦユニットのチャンネル割り付け

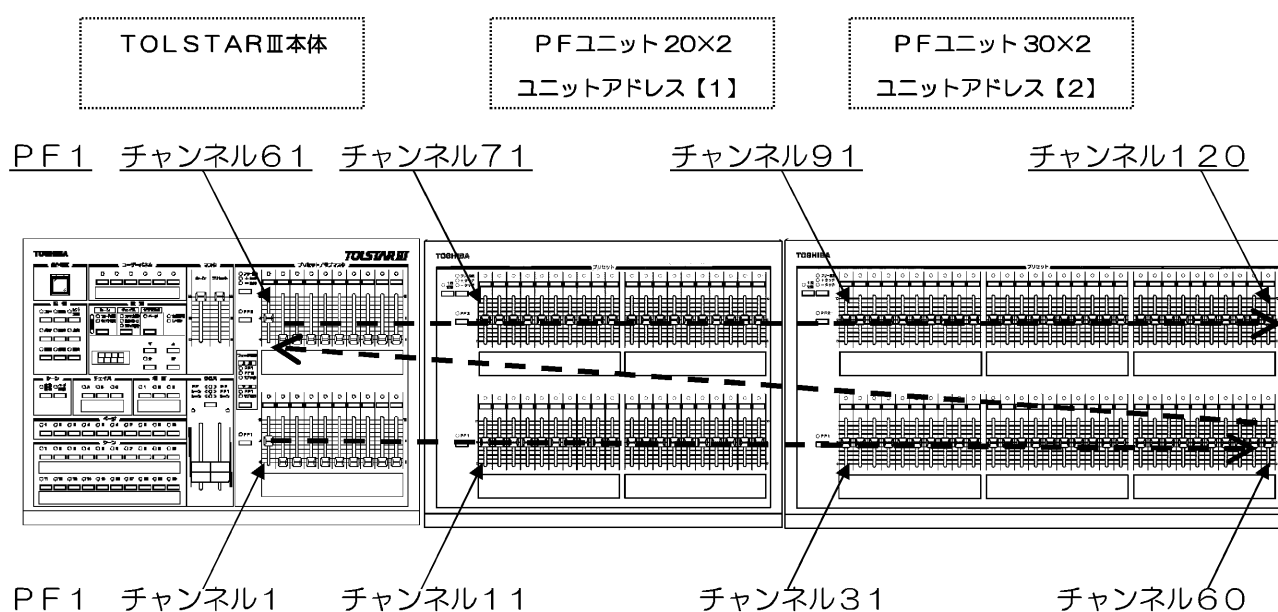
ＰＦユニットのフェーダとチャンネルの関係は、ＴＯＬＳＴＡＲⅢのフェーダ切替とＰＦユニットの１段切替のボタン操作により切り換えます。

PF２段ユニットの場合（例：ＰＦユニット20×２と30×２の組み合わせ）

（1） ＴＯＬＳＴＡＲⅢ　フェーダ切替が上段「ＰＦ１」、下段「ＰＦ１」の時

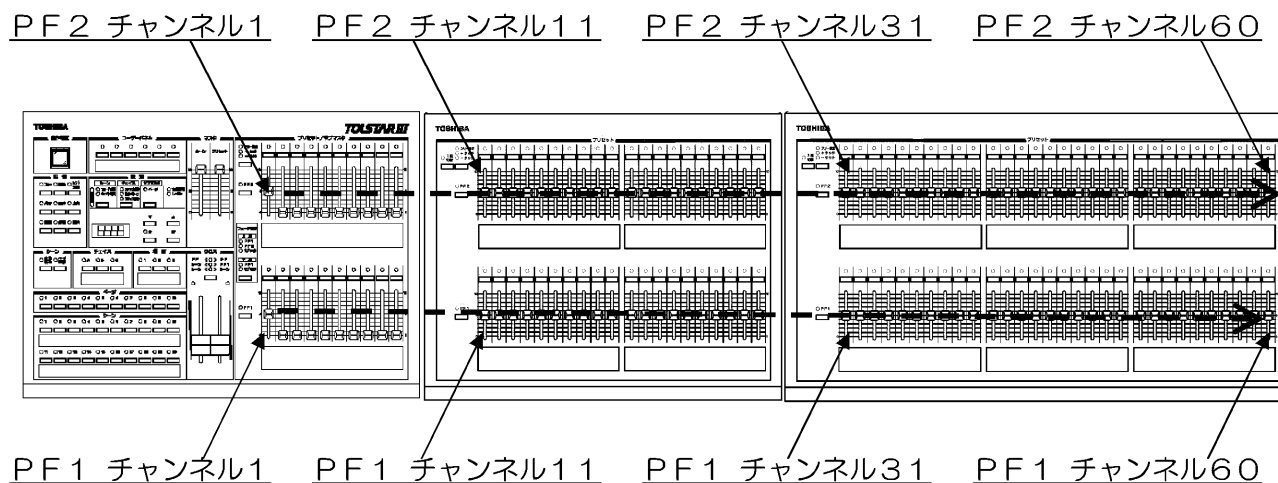
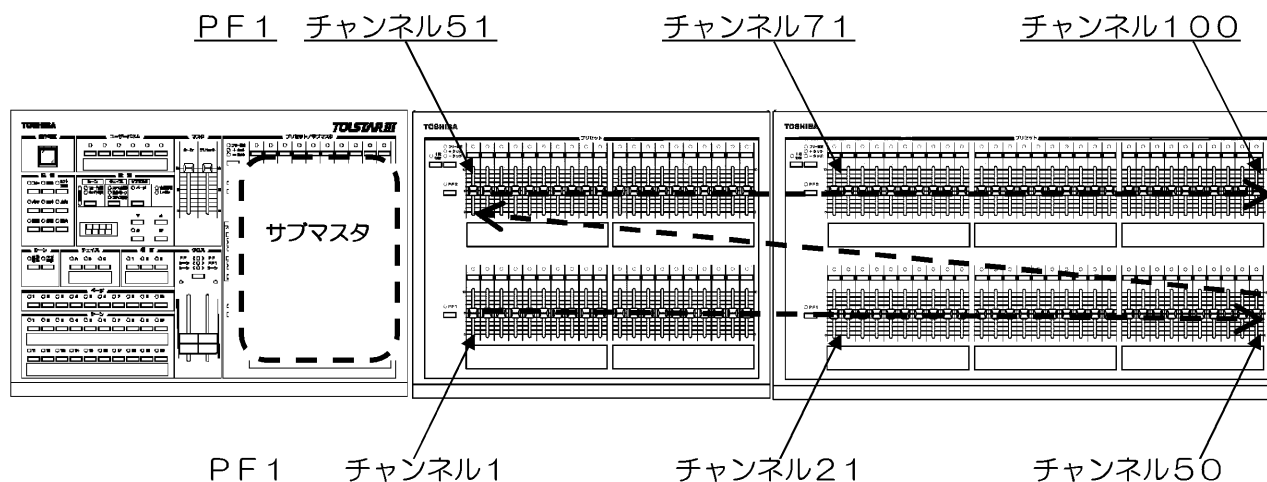
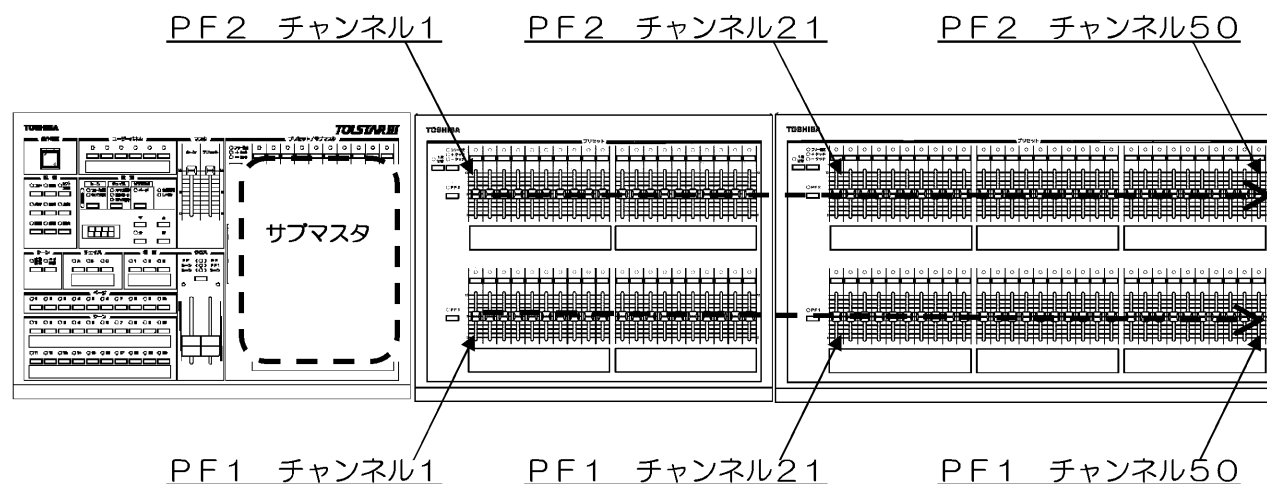
１２０本×１段（ＰＦ１）のプリセットフェーダとなります。

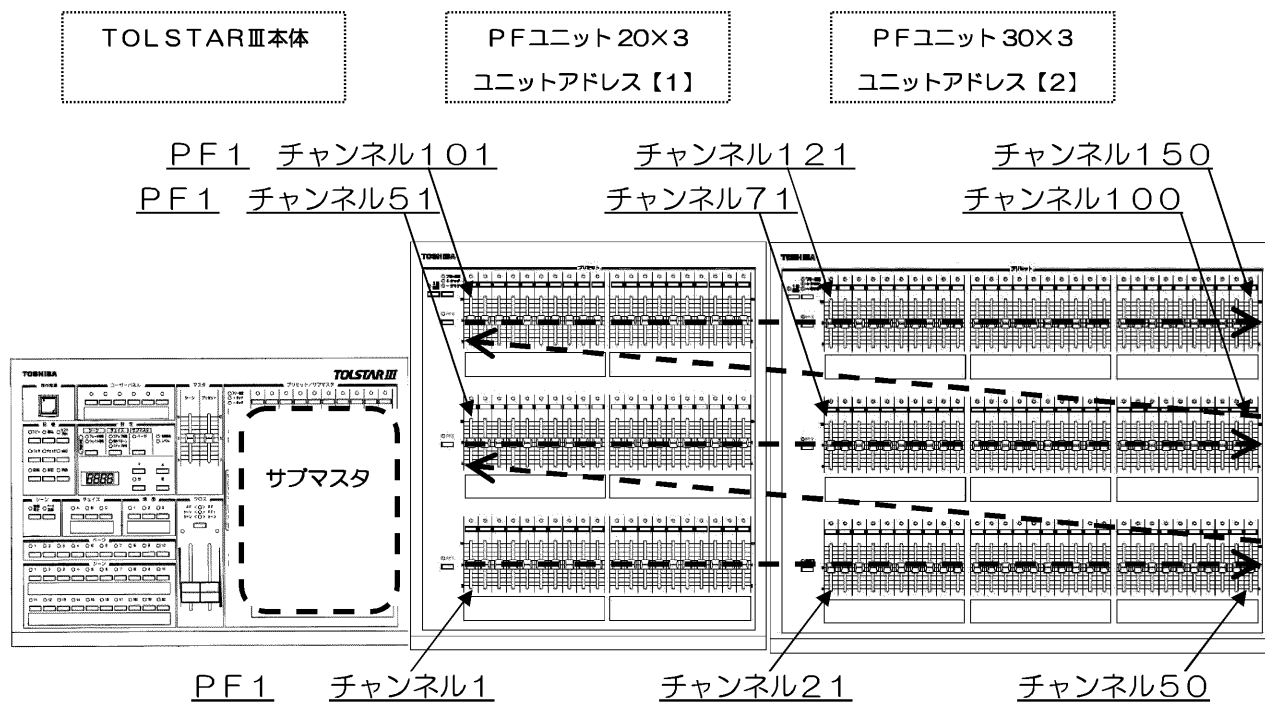
下段左端がチャンネル１　→　下段右端→　上段左端　→　上段右端　の順に割り付きます。

このとき、ＰＦユニットの１段切替ＬＥＤは点灯しています。

（2） ＴＯＬＳＴＡＲⅢ　フェーダ切替が上段「ＰＦ２」、下段「ＰＦ１」の時

６０本×２段（上段ＰＦ１、下段ＰＦ２）のプリセットフェーダになります。

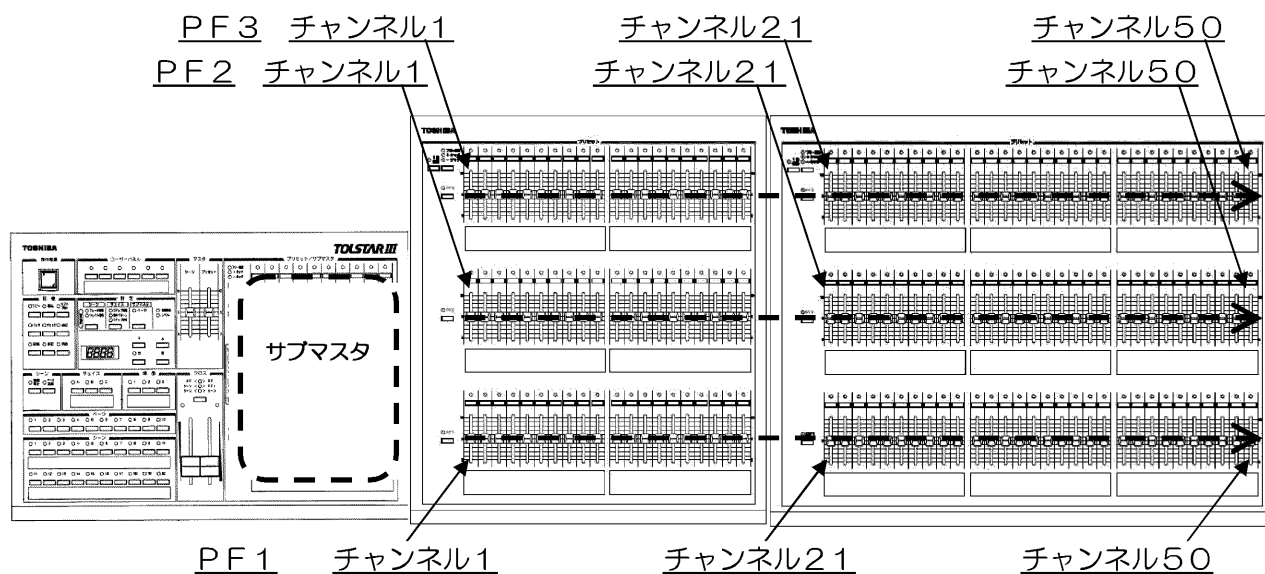
このとき、ＰＦユニットの１段切替ＬＥＤは消灯しています。

２３３２４８Ｄ

（３）　ＴＯＬＳＴＡＲⅢ　フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、ＰＦユニット　１段切替が１段（ＬＥＤ点灯）の時
２０本のサブマスタ　と　１００本×１段（ＰＦ１）のプリセットフェーダになります。

（４）　ＴＯＬＳＴＡＲⅢ　フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、ＰＦユニット１段切替が設定無し（ＬＥＤ消灯）の時
２０本のサブマスタ　と　５０本×２段のプリセットフェーダになります。

PF３段ユニットの場合（例：ＰＦユニット20×３と30×３の組み合わせ）
注意：PF３段ユニット接続時、ＴＯＬＳＴＡＲⅢのフェーダはサブマスタ固定となります。

（1） ＴＯＬＳＴＡＲⅢ　フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、ＰＦユニット　１段切替が1段（ＬＥＤ点灯）の時
２０本のサブマスタと１５０本×１段（ＰＦ１）のプリセットフェーダになります。

（2） ＴＯＬＳＴＡＲⅢ　フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、ＰＦユニット　１段切替が設定なし（ＬＥＤ消灯）の時
２０本のサブマスタと５０本×３段のプリセットでフェーダになります。

２３３２４８Ｄ

点検、仕様について

233248D

故障かなと思ったら

・トルスター３が動かない

確認１　ＡＣアダプタのＬＥＤ（緑）は点灯していますか

⇒　コンセントにＡＣ１００Ｖが供給されていること確認し、ＡＣアダプタをコンセントに差してください。

確認２　ＡＣアダプタと本体は接続されていますか。

⇒　ＡＣアダプタを本体に接続してください。

確認３　主電源スイッチはＯＮになっていますか。

⇒　主電源をＯＮしてください。

確認４　操作電源のＬＥＤは点灯していますか。

⇒　操作電源をＯＮしてください。

・灯りがでない

確認１　調光出力コネクタにケーブルは差さっていますか

⇒　ＤＭＸ規格のケーブルで本体と調光装置を接続してください。

確認２　場面は正しいですか

⇒　使用する場面を選択してください

確認３　プリセットマスタ、シーンマスタが０％（一番手前）になっていませんか

⇒　プリセットマスタ、シーンマスタを上げてください

確認４　パッチはされていますか

⇒　プリセットフェーダに負荷をパッチしてください

・プリセットフェーダで灯りがでない

確認１　場面は正しいですか

⇒　使用する場面を選択してください

確認２　プリセットマスタが０％（一番手前）になっていませんか

⇒　プリセットマスタを上げてください

確認３　クロスフェーダが０％（一番手前）になっていませんか

⇒　クロスフェーダを操作してください

確認４　フェーダ切替の設定は正しいですか

⇒　フェーダ切替を上段「ＰＦ１」　下段「ＰＦ１」又は上段「ＰＦ２」　下段「ＰＦ１」「上段サブマスタ　下段ＰＦ１」に設定してください。

確認５　クロスフェーダのモードは正しいですか

⇒　クロスフェーダのモードを「ＰＦ－ＰＦ」または「シーン－ＰＦ１」に設定して、クロスフェーダを動かしてください。

確認６　パッチはされていますか

⇒　フェーダに負荷をパッチしてください

・シーンのクロス再生ができない

確認１　シーンマスタが０％（一番手前）になっていませんか

⇒　シーンマスタを上げてください

確認２　クロスフェーダのモード、クロスフェーダの位置は正しいですか

⇒　クロスフェーダのモードを「シーン－ＰＦ１」､「シーン－シーン」設定し、クロスフェーダを操作してください

・シーンのボタン再生ができない

確認１　シーンマスタが０％（一番手前）になっていませんか

⇒　シーンマスタを上げてください

確認２　クロスフェーダのモードは正しいですか

⇒　クロスフェーダのモードを「ＰＦ－ＰＦ」設定し、シーン番号ボタンを押してください。

確認３　シーンは記憶されていますか（記憶済みシーンのシーン番号ＬＥＤは橙点灯）

⇒　シーンを記憶してから再生してください。

・シーンの自動差再生ができない

確認１　シーンマスタが０％（一番手前）になっていませんか

⇒　シーンマスタを上げてください

確認２　クロスフェーダのモードは正しいですか

⇒　クロスフェーダのモードを「ＰＦ－ＰＦ」設定し、シーン番号ボタンを押してください。

・パッチができない

確認１　場面がデフォルト場面になっていませんか。（場面　１，２，３ＬＥＤが消灯）

⇒　場面１～３を選択してください（→P27）

確認２　本体　背面パネルの記憶操作スイッチが**「禁止」**になっていませんか

⇒　記憶操作スイッチを**「記憶可」**に設定してください。

・記憶、消去、修正、割込、シフト消去、コピーができない

確認１　本体　背面パネルの記憶操作スイッチが**「禁止」**になっていませんか

⇒　記憶操作スイッチを**「記憶可」**に設定してください。

・プリセットフェーダがフリー設定にできない

確認１　本体　背面パネルの記憶操作スイッチが**「禁止」**になっていませんか

⇒　記憶操作スイッチを**「記憶可」**に設定してください。

確認２　フェーダ切替がサブマスタになっていませんか

⇒　フェーダ切替を上段「ＰＦ１」下段「ＰＦ１」又は上段「ＰＦ２」下段「ＰＦ１」
上段「サブマスタ」下段「ＰＦ１」に設定してください。（→P22）

・フェーダ切替ができない

確認１　本体　背面パネルのフェーダ切替スイッチが「**固定**」になっていませんか

　⇒　フェーダ切替スイッチを「**切替可**」に設定してください。

確認２　状態が変わるが側の段　１０本のフェーダがすべて０％（手前側）になっていますか

　⇒　すべて０％にしてください。

・ＯＮ／ＯＦＦの操作ができない

確認１　ユーザーパネルの設定は正しいですか

　⇒　ユーザーパネルを設定してください。（→Ｐ81）

確認１　場面１～３を使用している場合、ボタンに負荷をパッチはしましたか

　⇒　ボタンに負荷をパッチしてください。（→Ｐ83）

・ハウスライト（客席灯り）の操作ができない

確認１　ユーザーパネルの設定は正しいですか

　⇒　ユーザーパネルを設定してください。（→Ｐ81）

・ワンタッチシーンの操作ができない

確認１　ユーザーパネルの設定は正しいですか

　⇒　ユーザーパネルを設定してください。（→Ｐ81）

・ブザー音（ボタン音）がしない

確認１　ブザー音がしない設定になっていませんか

　⇒　ブザー音を設定してください。（→Ｐ94）

日常点検

日常点検

ＴＯＬＳＴＡＲⅢを安全にご使用いただくために日常点検をおこなってください。

確認部位	確認内容	処置
ＡＣアダプタ 電源ケーブル	ＡＣアダプタと電源ケーブルが確実に接続されているか	コンセントから電源ケーブルを抜いた後、接続してください
ＡＣアダプタ ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体	ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体とＡＣアダプタのコネクタが確実に接続されているか	コンセントから電源ケーブルを抜いた後、接続してください
電源ケーブル	電源ケーブルに変形、亀裂がないか	交換をお勧めします お買い上げ販売店（工事店）へご相談ください
ＡＣアダプタ	ＡＣアダプタ、ＡＣアダプタのケーブルに変形、亀裂はないか	
ＡＣアダプタ	異常な発熱はないか	
ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体	ＬＥＤ、ボタン、スイッチに破損はないか 動作に異常はないか	お買い上げ販売店（工事店）へご相談ください
ＴＯＬＳＴＡＲⅢ本体 ＡＣアダプタ 電源ケーブル	汚れていないか	清掃してください

定期点検のお勧め

使用期間における経年変化またはご使用の状況によって、消耗、劣化する部品または絶縁の低下が懸念されます。専門技術者による定期点検をお勧めします。

定期点検は弊社との保守点検契約をお勧めします。

概略仕様

基本仕様

型名	TRDM3−20M
本体質量（kg）	4．5kg（ACアダプタ含まず）
本体入力電源	DC12V±10% （ACアダプタにより供給）
消費電流	（DC12V）1A以下
動作環境	屋内、結露しないこと
周囲温度	0〜40℃
制御調光回路数	DMX512／1990　1系統
パッチ場面数	3場面＋固定　1場面
マスターフェーダ	プリセットマスタ　1本 シーンマスター　1本
プリセットフェーダ	20本（サブマスタと切替） 20本×1段、10本×2段
クロスフェーダ	1組
シーン再生方式	シーンボタン再生、クロス再生／自動再生
シーンフェード時間	0.0〜999.9秒
シーン自動再生時間 （1シーン毎）	フェード時間、ステップ時間 0.1秒〜9時間59分59.9秒

サブマスタ再生	20本×15ページ　／場面
チェイス再生	3パターン×25ステップ／場面 ステップ時間0．1〜99．9秒
客席調光　*1	自動調光　明、暗 手動レベル設定（▼▲ボタン）
ON／OFF　*1	6個
ワンタッチシーン*1	6シーン
付属品	ACアダプタ 　入力容量　最大143VA 　入力電源 AC100V50/60HZ 仕込み記入板　一式 抜け止め金具

＊1　ユーザーパネルの設定により客席調光、ON／OFF、ワンタッチシーンのうち1つを使用できます。

233248D

添付資料

「添付　ＴＯＬＳＴＡＲ３で使われるソフトウェアのライセンス情報」

　ＴＯＬＳＴＡＲ３で使用されているソフトウェアの一部に第三者が著作権を持つフリーソフトウェア「μＩＰ」を含んでいます。本フリーソフトウェアの動作に関して、保障は第三者には無く弊社によって保障されます。

　なお、本フリーソフトウェアのライセンスではソフトウェアコードの開示は行いません。

　ＴＯＬＳＴＡＲ３で使用されているフリーソフトウェアのライセンスは、弊社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

「ＴＯＬＳＴＡＲ３で使用されているフリーソフトウェアのライセンス原文（英文）」

Copyright (c) 2001-2006, Adam Dunkels and the Swedish Institute of Computer Science
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote
   products derived from this software without specific prior
   written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR `AS IS' AND ANY EXPRESS
OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY
DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証について

・保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。
取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償修理させていただきます。
・ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
・製品の保障について別途、品質保証契約が結ばれている場合には、品質保証契約書の内容をご確認ください。

保証の免責事項

１． 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（１）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（２）お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（３）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（４）車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
（５）施工上の不備に起因する故障や不具合
（６）法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
（７）日本国内以外での使用による故障及び損傷
２．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げ販売店（工事店）までお申し出ください。
・保証期間を過ぎている時は、お買上げ販売店（工事店）にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買上げ販売店（工事店）にお問い合わせください。その際は器具の形名、お買上げ時期をお忘れなくお知らせください。

日本国内専用
Use only in Japan

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）
受付時間：365日　9:00~20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX　0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社　システム事業部　〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34
TEL (044) 331-7547　FAX (044) 548-9608

お読みになったあとも必ず保存してください　　233248D